

# 市民意見リーダー

## 調査結果報告書

( 2021 年度 )



# 郡山市



# < 目 次 >

## I 調 査 概 要

1. 調査の目的	1
2. 調査の項目	1
3. 調査の設計	1
4. 集計・分析にあたって	2
5. グラフの種類	2
6. 回収率	2
7. 回答者の属性	3
(1) 性別	3
(2) 年代別	3
(3) 職業別	3
(4) 居住年数別	3
(5) 居住形態別	3
(6) 地域別	4
(7) 現住所の直前の居住地別	5
(8) 現居住地の選定理由別《転入・転居者》(複数回答)	5
8. 回答者の属性《地域別集計》	6

## II 調 査 結 果

1. 郡山市の住みやすさなどについて	13
(1) 住みやすさへの評価	13
(2) 今後の居留意向	16
2. 郡山市まちづくり基本指針施策の満足度重要度	19
(1) まちづくりへの満足度結果一覧	19
(2) これからの取り組み重要度結果一覧	23
(3) 施策の優先度《満足度と重要度の関係》	26
(4) 分野別属性別満足度結果	28
(5) 分野別属性別重要度結果(複数回答)	44
3. 「新しい生活様式」の実現について	46
(1) 新型コロナウイルス感染症への不安感	46
(2) 新型コロナウイルス感染防止対策(複数回答)	48
(3) 取り組んでいる「働き方の新しいスタイル」	54
(4) 飲食場面での感染を減少させる取り組み	56
(5) 新型コロナウイルス感染症の影響(複数回答)	58
(6) 必要だと思う行政サービス(複数回答)	62
(7) 安心して行政サービスを受けるために重要な対策(複数回答)	66
(8) 「新しい生活様式」の実現についての意見や提案	70

4. 市への意見や要望など .....	72
【分野Ⅰ】 産業・仕事の未来 .....	72
【分野Ⅱ】 交流・観光の未来 .....	72
【分野Ⅲ】 学び育む子どもたちの未来 .....	73
【分野Ⅳ】 誰もが地域で輝く未来 .....	74
【分野Ⅴ】 暮らしやすいまちの未来 .....	75
【分野Ⅵ】 横断的取組 .....	76
【分野Ⅶ】 基盤的取組 .....	76
(付) 調査票様式	
調査票 .....	79

# I 調 査 概 要



## 1. 調査の目的

時代とともに変化する市民意見の動向と現在の多様なニーズを把握し、今後の本市施策、事業の検討、推進、評価等の基礎データとして活用するために実施しました。

## 2. 調査の項目

- (1) 住みやすさについて…質問2問
- (2) まちづくりについて（郡山市まちづくり基本指針に掲げる施策を基本とした7分野44項目についての満足度）…質問44問
- (3) これからの取組について（郡山市まちづくり基本指針に掲げる施策を基本とした7分野44項目についての重要度）…質問1問
- (4) 「新しい生活様式」の実現について…質問8問 自由記載1問
- (5) 対象者の基本属性について…質問8問
- (6) 市への意見や要望など（自由記載）…質問1問

## 3. 調査の設計

- (1) 調査地域：郡山市全域
- (2) 調査対象：郡山市内に在住する満18歳以上の者
- (3) 標本数：1,500人（男性751人、女性749人）

<内訳>

	標本数	性別		年代別							
		男	女	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	
全体	1,500	751	749	37	199	234	279	253	263	235	
地区別	旧市内	563	278	285	15	77	85	103	102	97	84
	富田	123	62	61	4	18	22	25	19	19	16
	大槻	152	75	77	4	18	23	29	25	27	26
	安積	158	78	80	4	21	24	30	26	27	26
	三穂田	19	10	9	0	2	2	4	3	4	4
	逢瀬	18	10	8	0	2	2	3	3	4	4
	片平	29	15	14	0	4	5	5	4	6	5
	喜久田	57	28	29	2	8	10	12	8	9	8
	日和田	47	23	24	2	6	8	9	8	8	6
	富久山	174	87	87	4	27	33	33	28	27	22
	湖南	14	7	7	0	0	2	2	2	4	4
	熱海	24	12	12	0	2	2	4	4	6	6
	田村	82	44	38	2	10	11	14	13	16	16
	西田	20	11	9	0	2	3	3	4	4	4
	中田	20	11	9	0	2	2	3	4	5	4

- (4) 抽出方法：住民基本台帳(令和3年4月26日現在)からの年代、地域を考慮した無作為抽出。
- (5) 調査方法：郵送による調査票の配布・回収、インターネットでの返信
- (6) 調査期間：令和3年5月12日～令和3年5月27日(16日間)
- (7) その他：これまで「市民意識調査」として2009年度から実施。アンケートの回答は市民の皆さまの意見としていただくものであることから、2018年度から「市民意見レーダー」と名称を変更。

#### 4. 集計・分析にあたって

- (1) 図表中の「n」とは回答者総数(または該当者質問での該当者数)のことで、100%が何人の回答に相当するかを示す比率算出の基数です。
- (2) 数値(%)は単位未満を四捨五入しているため、総数と内訳の計が一致しないこともあります。  
例：回答者総数3人で、「はい」：1人(33.3%)、「いいえ」：1人(33.3%)、「無回答」：1人(33.3%)の場合等、合計しても必ずしも100%とはならない。
- (3) 図表中の数値(%)の合計と分析文中の数値(%)の合計は、数値(%)を単位未満四捨五入している影響により一致しないことがあります。
- (4) 複数回答の場合、回答者総数に対する割合を表示しているため、構成比の合計が100%を超えることがあります。
- (5) 本文及び図表中、意味をそこなわない範囲で簡略化した選択肢があります。

#### 5. グラフの種類

- (1) 棒グラフ：棒の長短で数量の大小を比較します。
- (2) 折れ線グラフ：時間経過を沿って数量の変化や傾向を示します。
- (3) 円グラフ：全体に対する各項目の構成比を示す際に使います。
- (4) 帯グラフ：全体に対する各項目の構成比を示す際に使います。異なる帯グラフを並べることで、項目の構成比の変化を捉えることができます。
- (5) 散布図：2つの変量の相関関係を示します。横軸と縦軸にそれぞれ別の量を取り、データが当てはまる場所に点を打って示すグラフです。

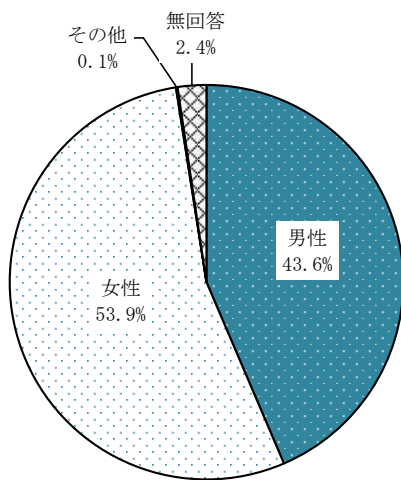
#### 6. 回収率

- (1) 有効回収数：723件
- (2) 有効回収率：48.2%(対前年比 -14.1ポイント)



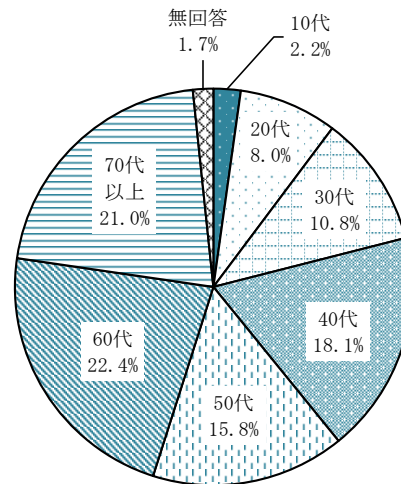
## 7. 回答者の属性

### (1) 性別



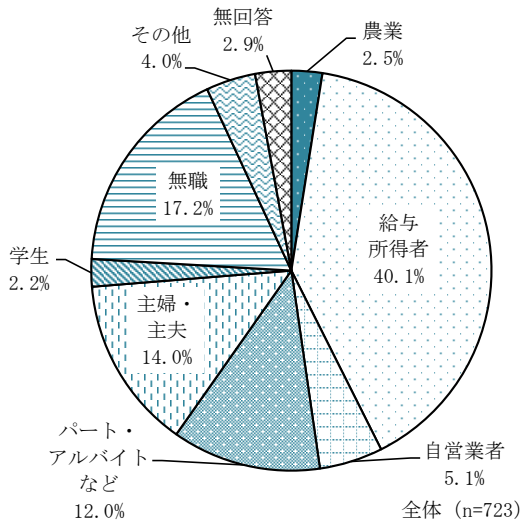
全体 (n=723)

### (2) 年代別



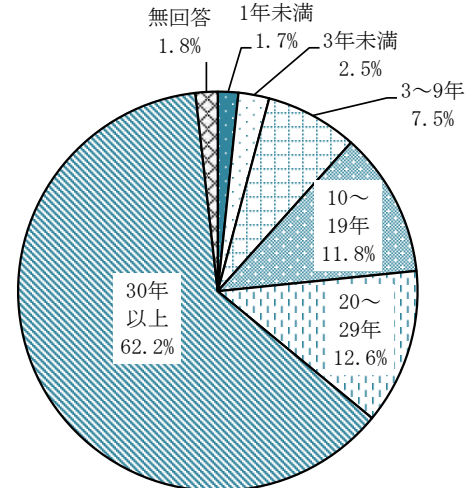
全体 (n=723)

### (3) 職業別



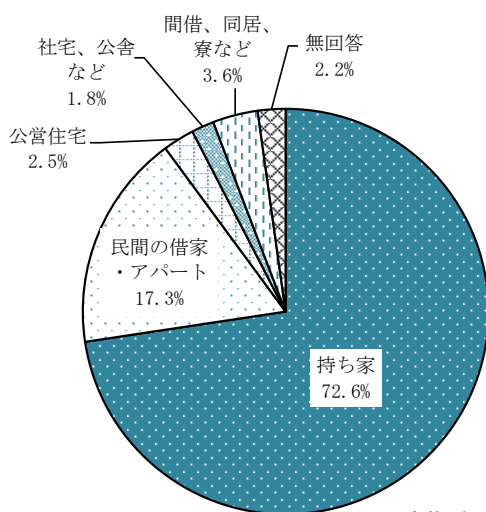
全体 (n=723)

### (4) 居住年数別



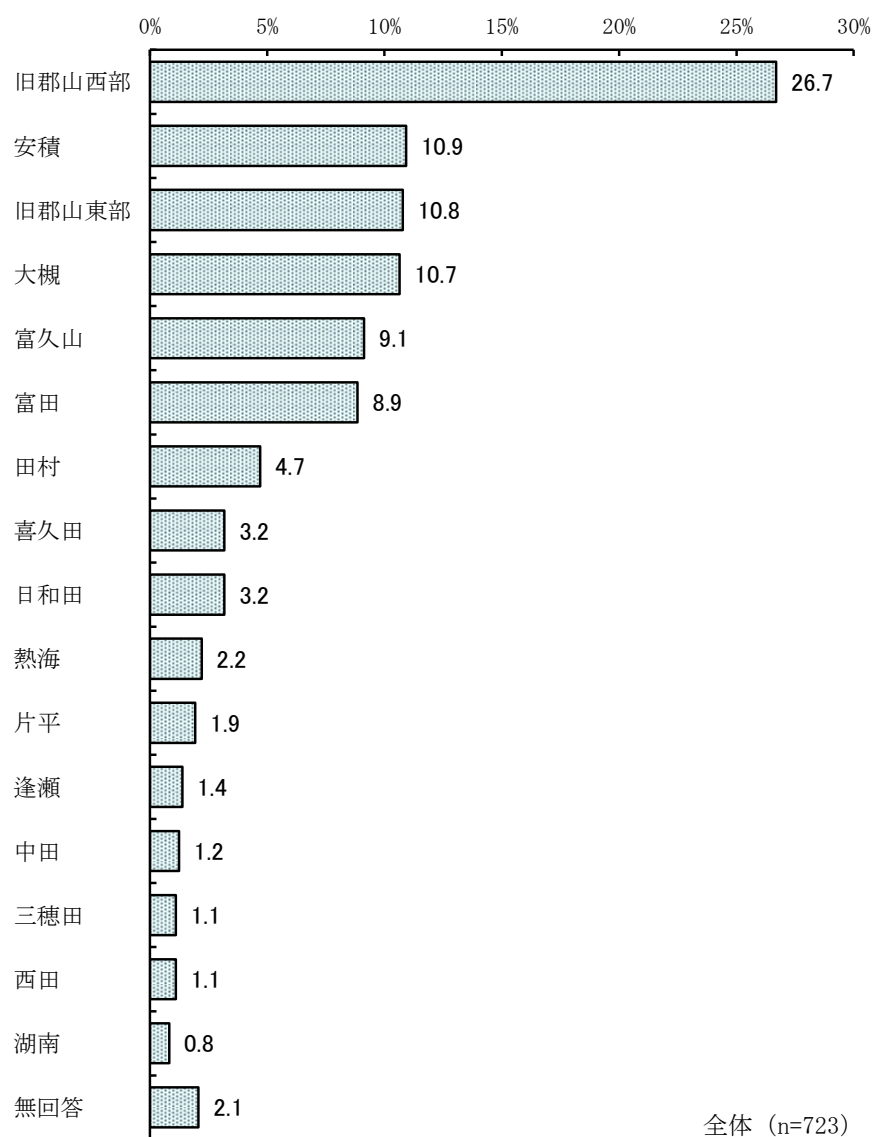
全体 (n=723)

### (5) 居住形態別



全体 (n=723)

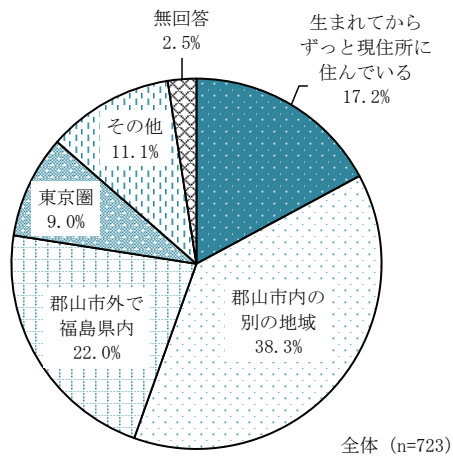
### (6) 地域別



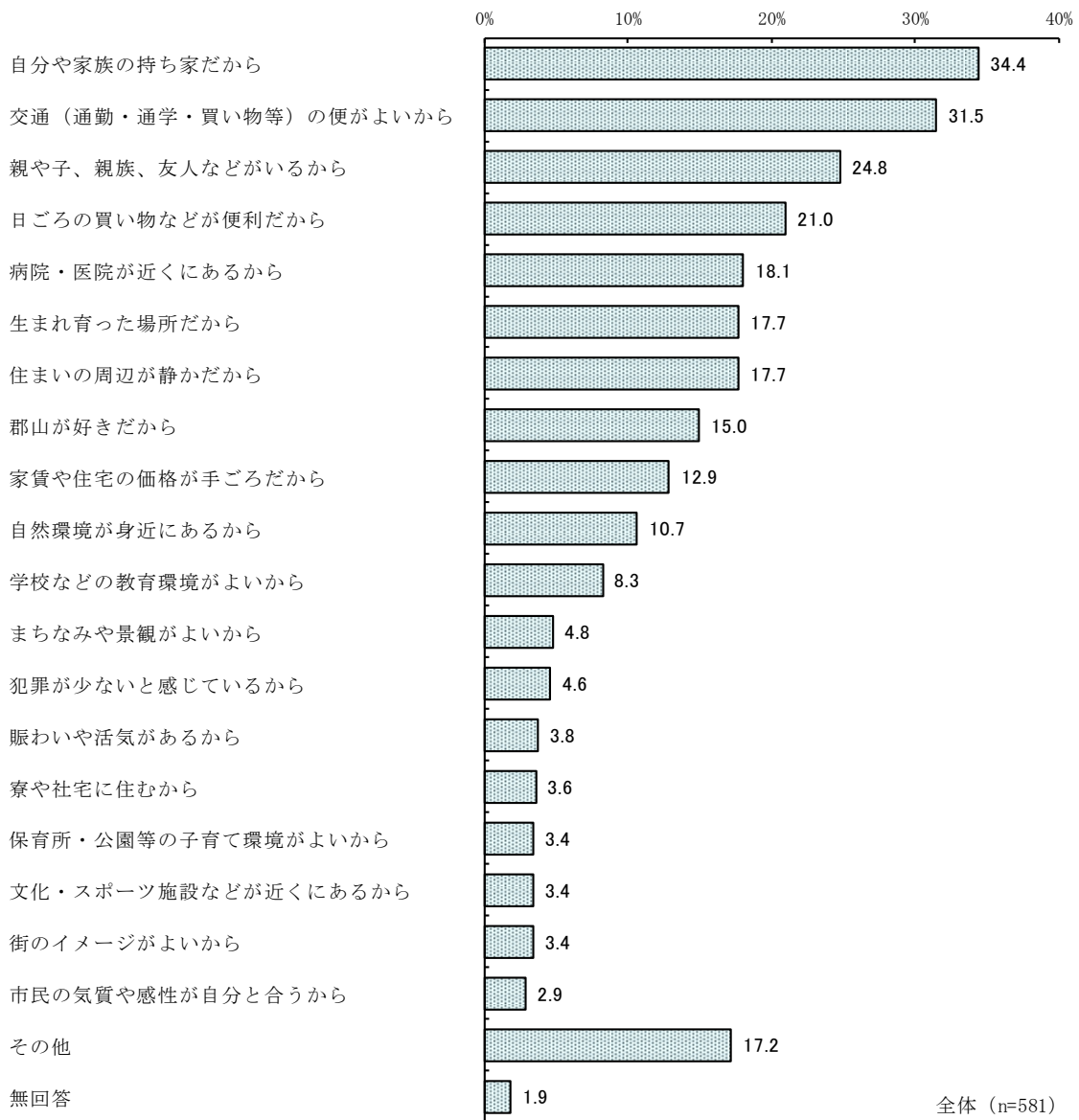
※ 旧郡山東部・・・芳賀・小原田・緑ヶ丘・東部地区など

※ 旧郡山西部・・・駅前・大島・久留米・菜根・開成・小山田地区など上記地区以外

### (7) 現住所の直前の居住地別

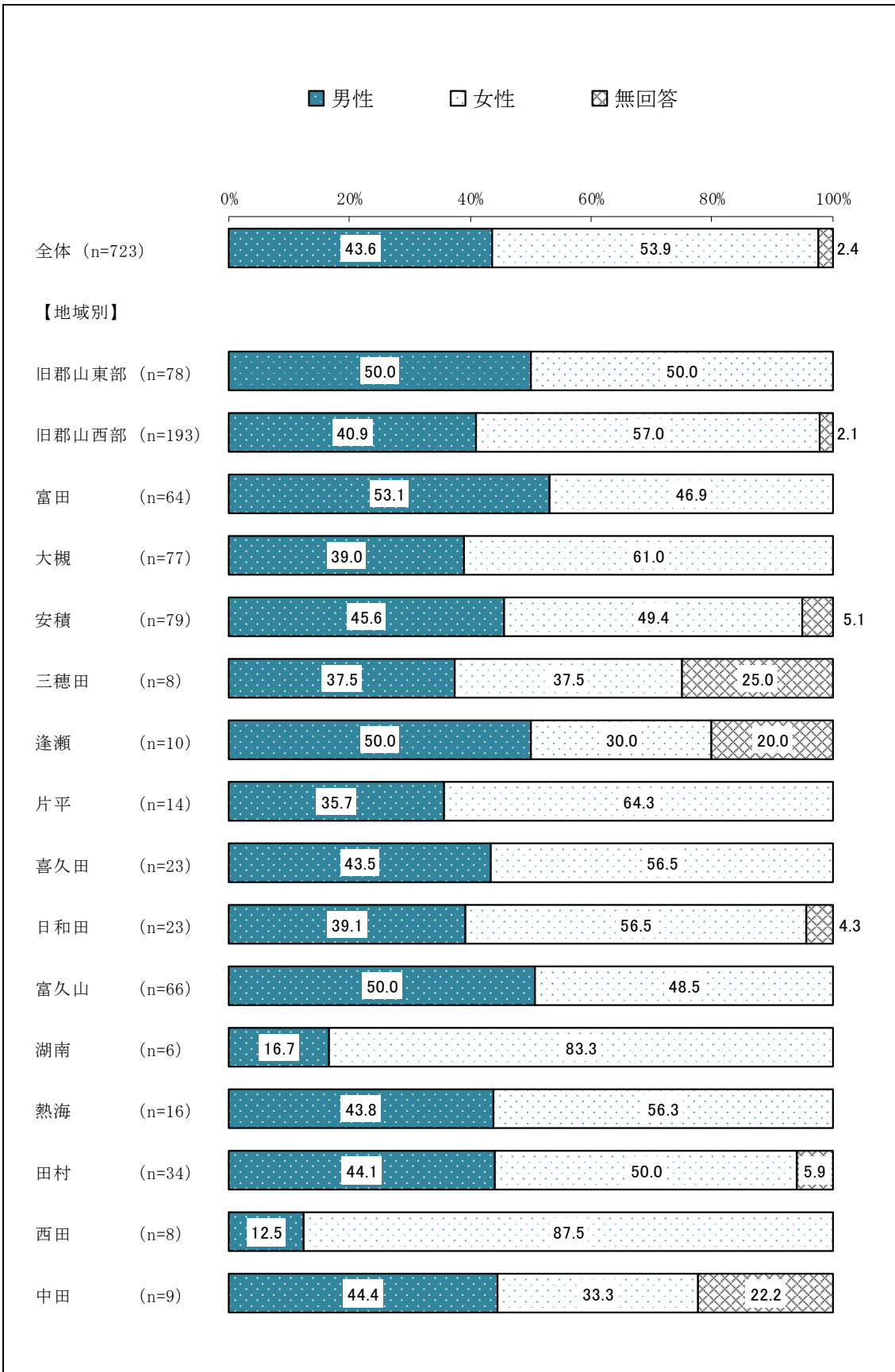


### (8) 現居住地の選定理由別《転入・転居者》(複数回答)

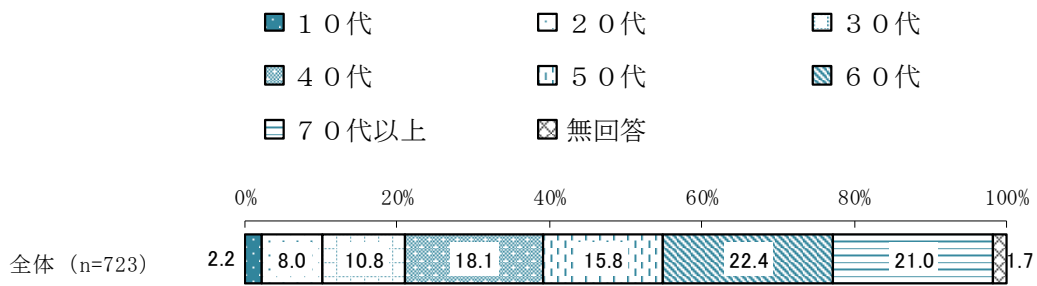


## 8. 回答者の属性《地域別集計》

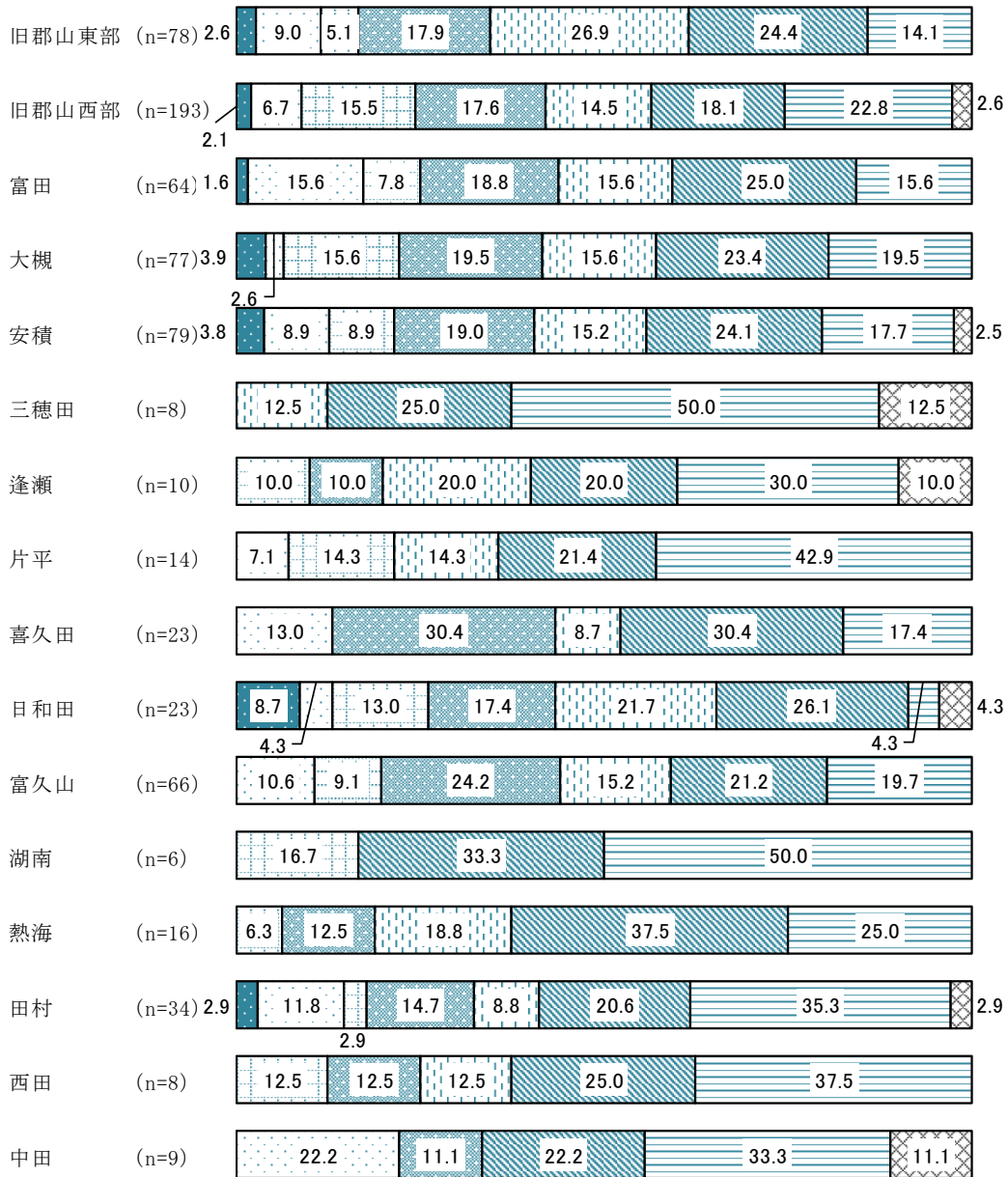
### 【性別】



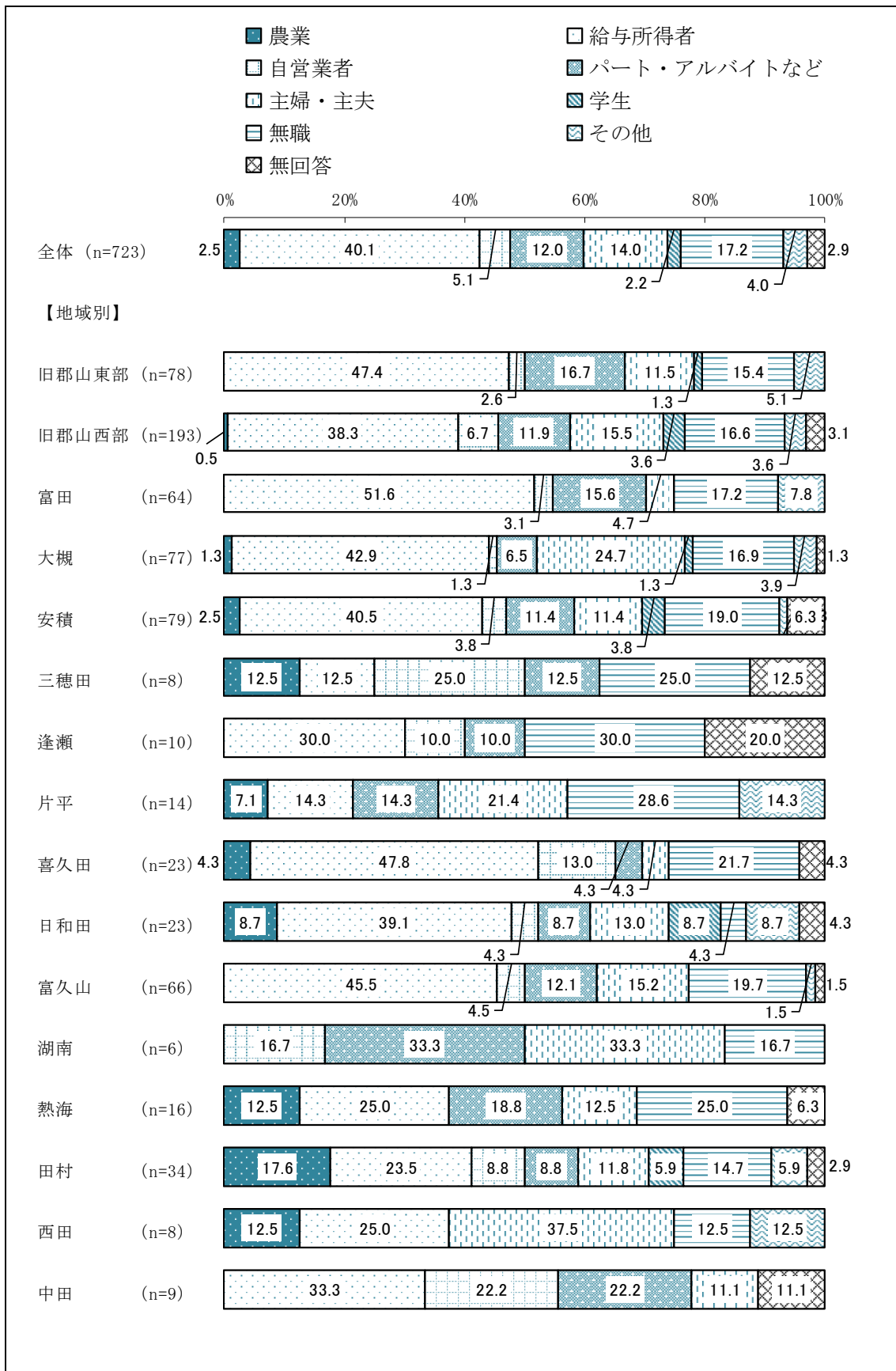
【年代別】



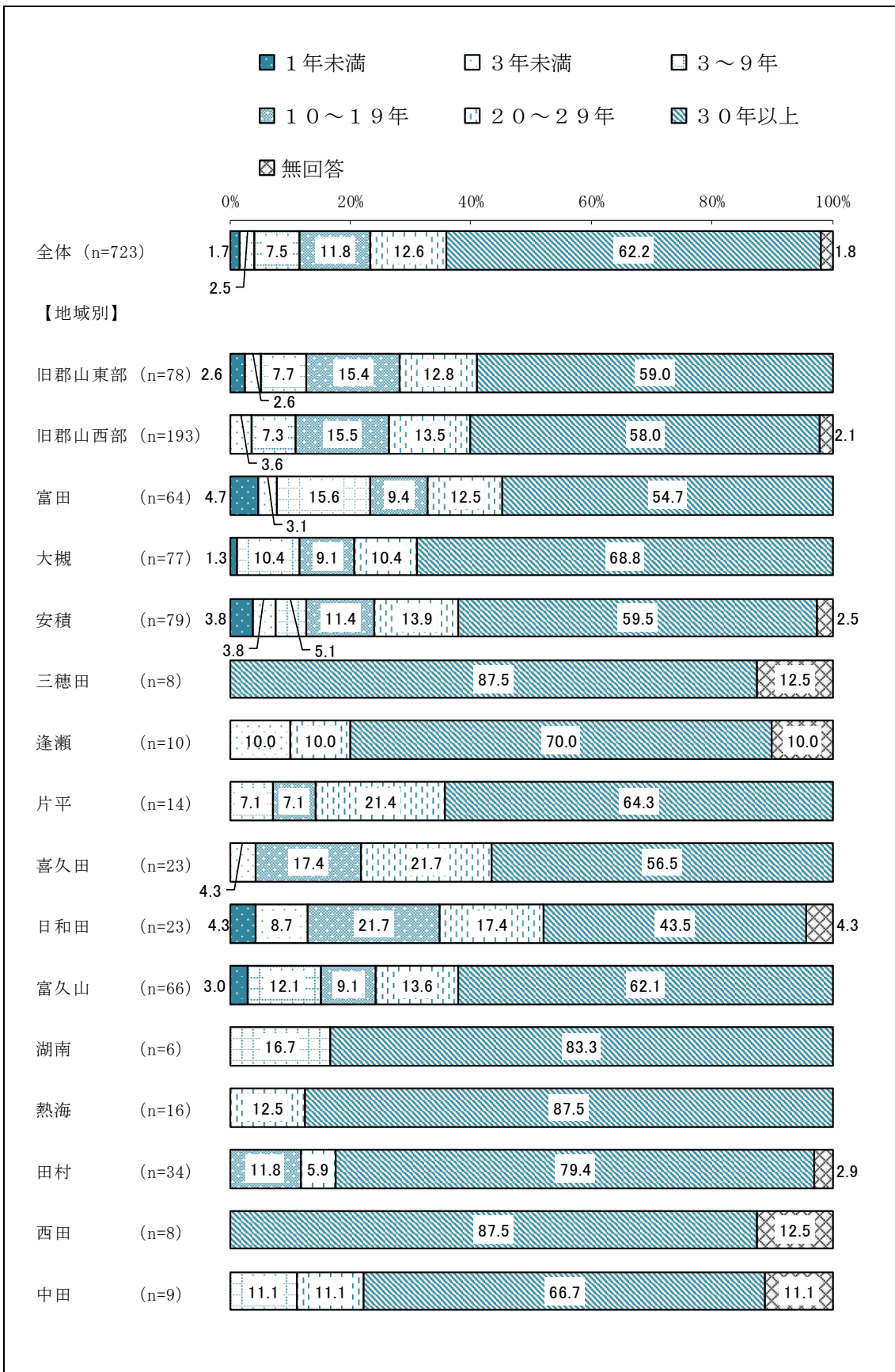
【地域別】



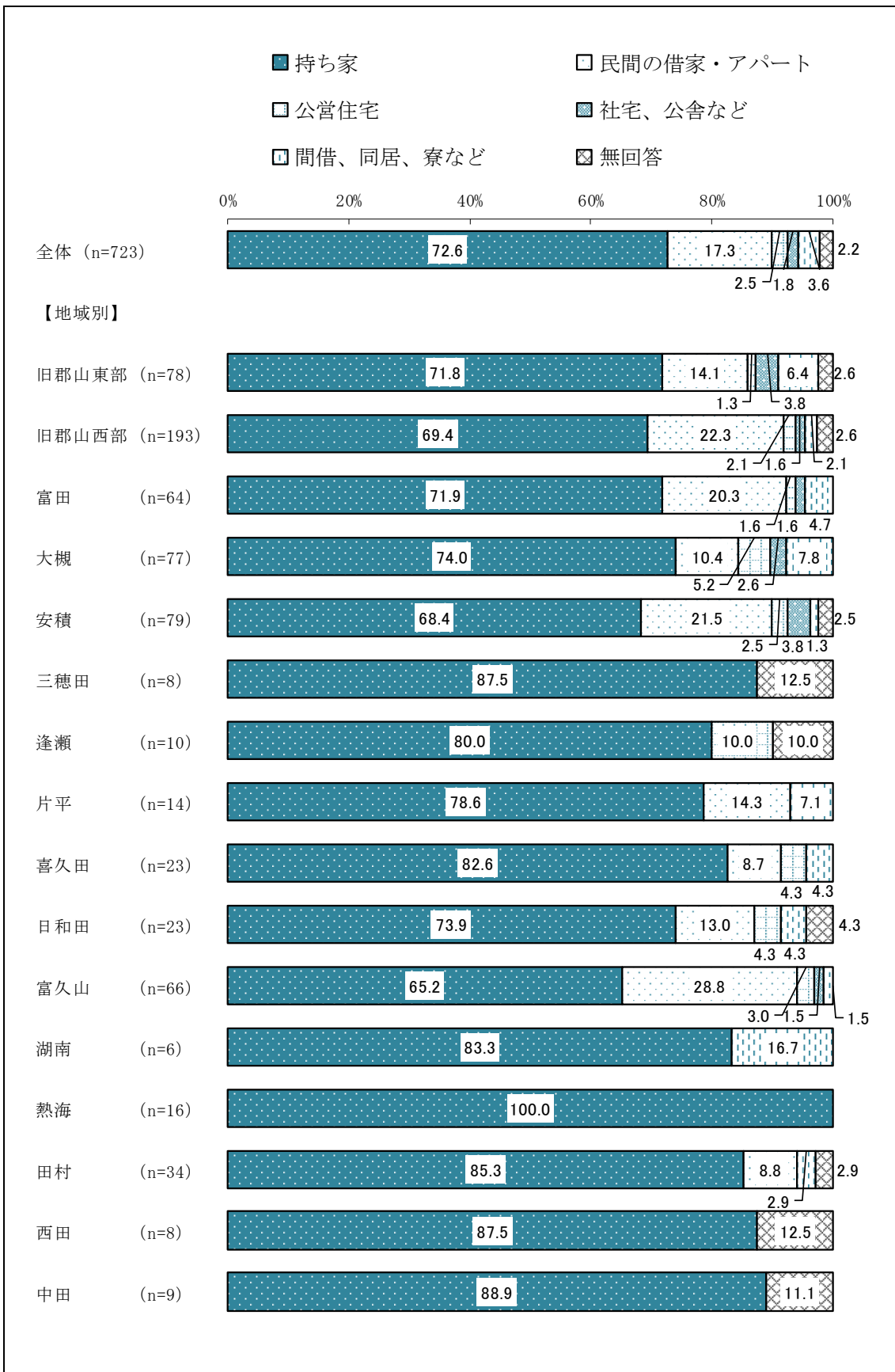
【職業別】



【居住年数別】

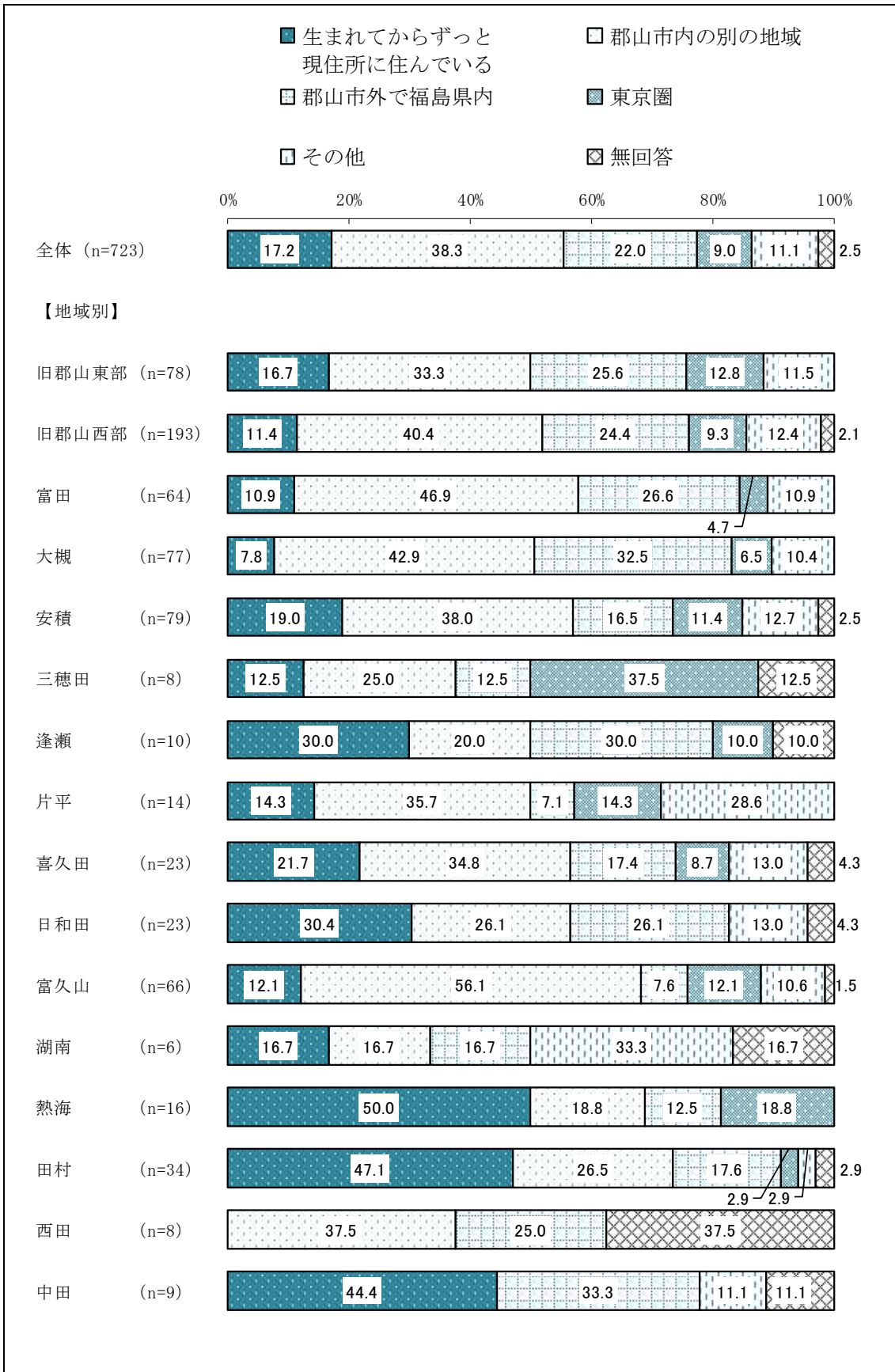


【居住形態別】





【直前の居住地別】



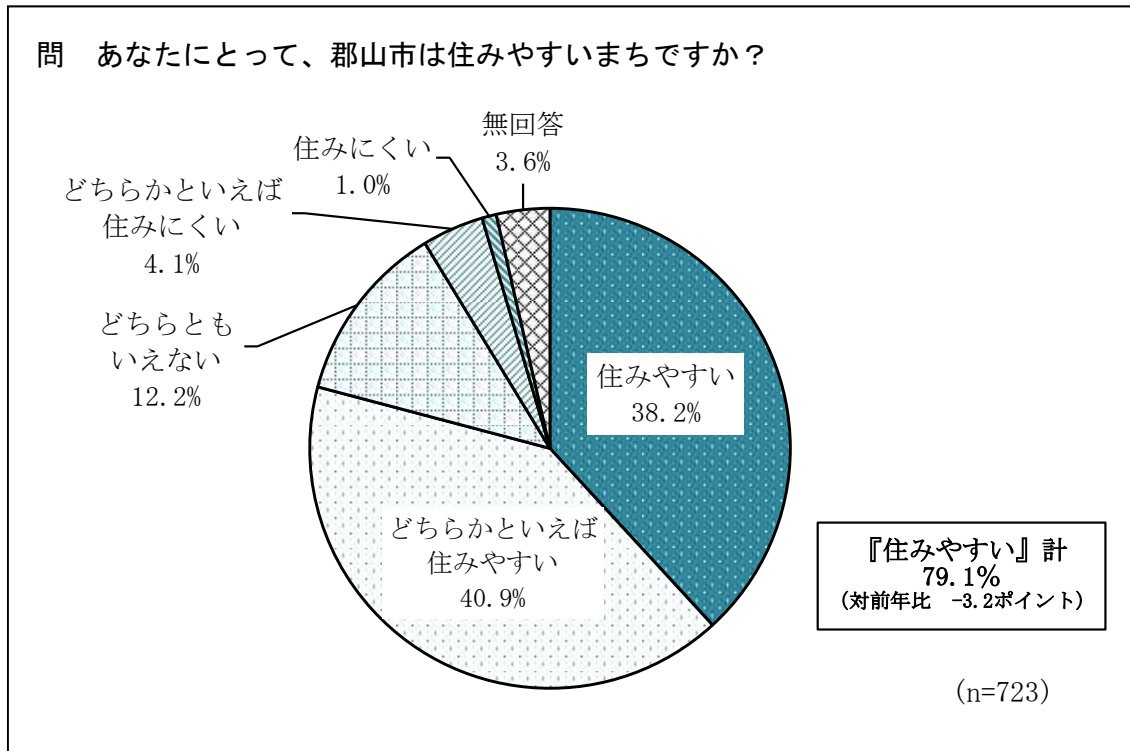


## II 調查結果

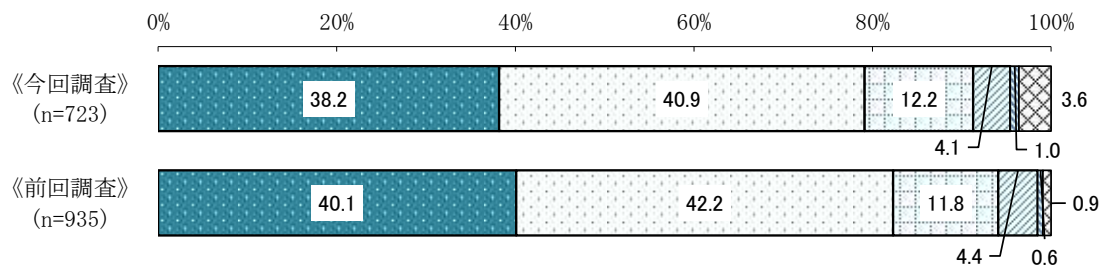


# 1. 郡山市の住みやすさなどについて

## (1) 住みやすさへの評価



■ 住みやすい □ どちらかといえば どちらとも どちらかといえば 住みにくい 無回答  
住みやすい いえない 住みにくい



8割の市民は郡山市を住みやすいまちと認識

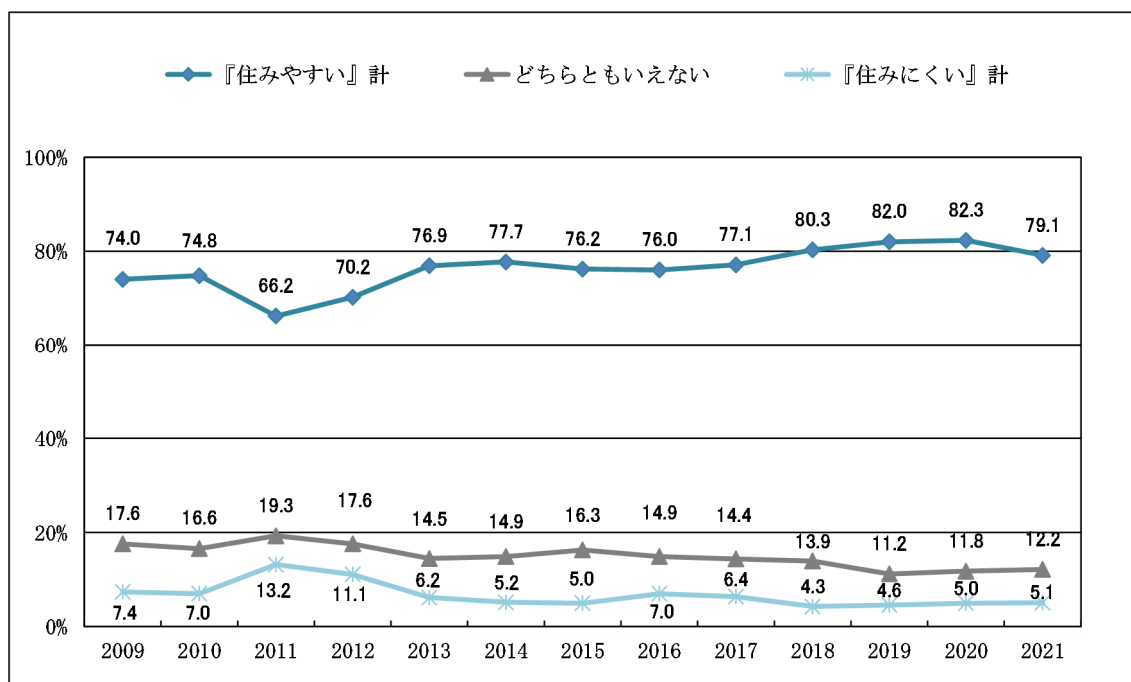
### 【全体結果】

郡山市が住みやすいまちであるかどうかについては、「住みやすい」(38.2%)と「どちらかといえば住みやすい」(40.9%)の両者を合計すると『住みやすい』(79.1%)となっています。

一方、「どちらかといえば住みにくい」(4.1%)と「住みにくい」(1.0%)を合計すると『住みにくい』(5.1%)となっています。

前年度調査に比べて、『住みやすい』の合計ポイントは3.2ポイント低下しています。また、過去の調査結果との比較では、東日本大震災直後『住みやすい』の合計は低下したものの、その後復興が進み2013年からは震災前を上回り、横ばいで推移しています(図1-1参照)。

図 1-1 住みやすさへの評価（過去調査結果との比較）



【属性別結果】（図 1-2 参照）

① 性別

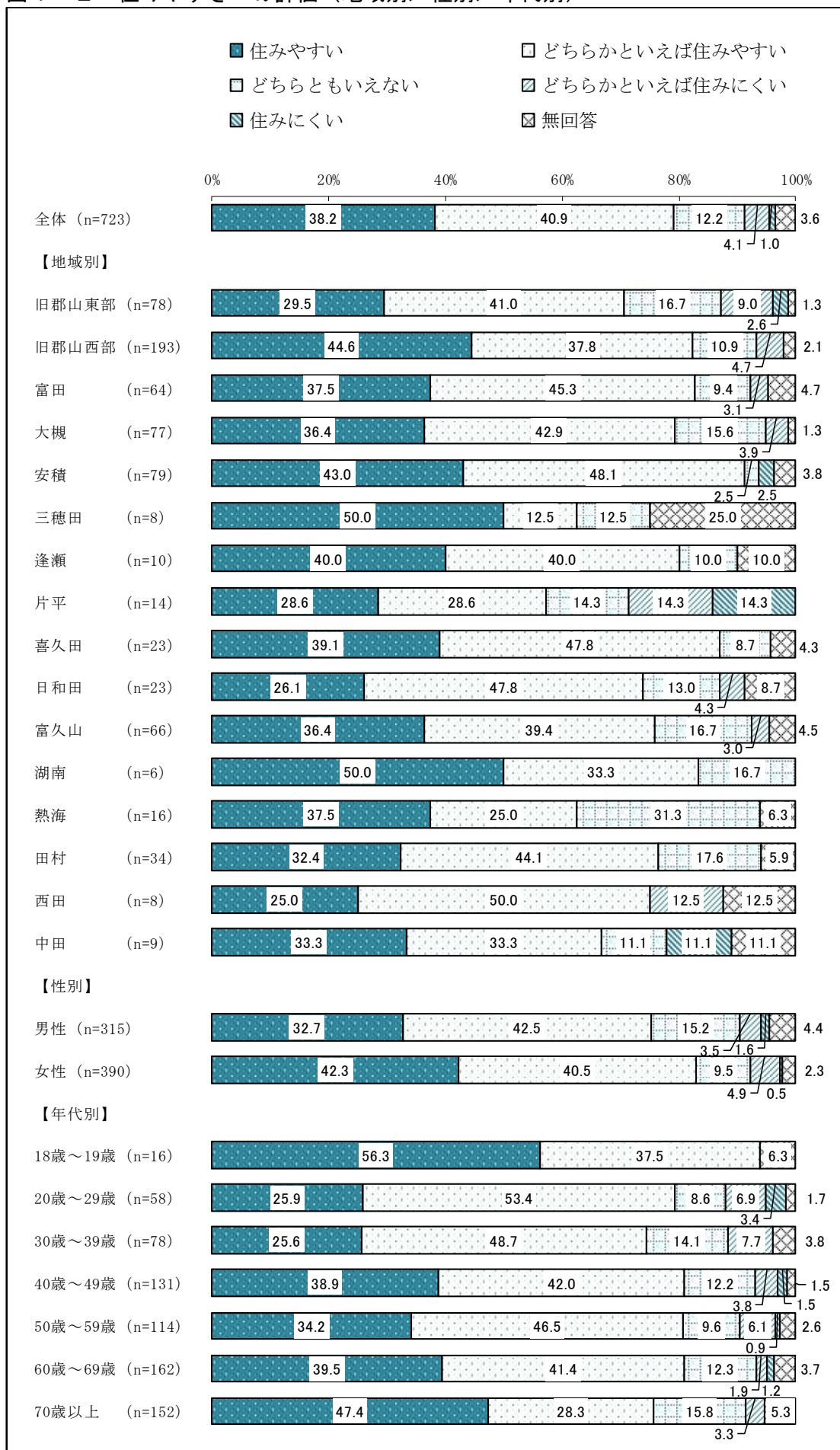
『住みやすい』の割合は、女性（82.8%）の方が男性（75.2%）よりも高くなっています。

② 年代別

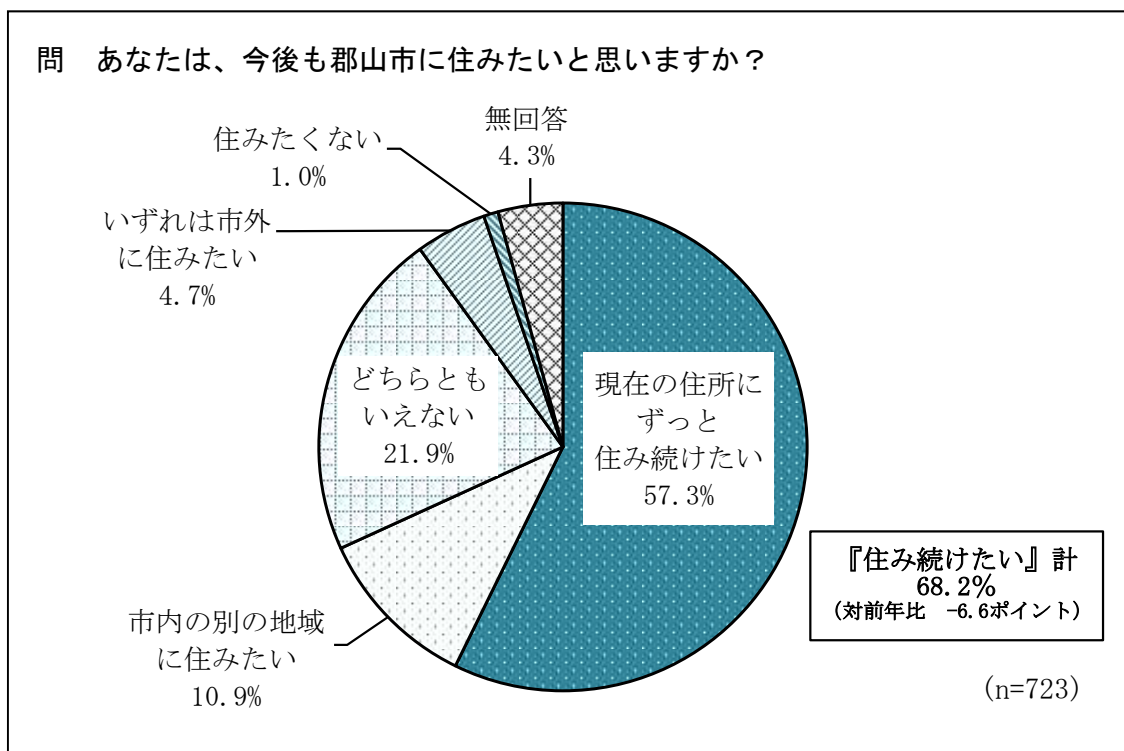
『住みやすい』の割合は、すべての年代で8割前後となっています。

なお、10代については回答数がかなり少ないため、参考として数値のみ掲載します（以降同様）。

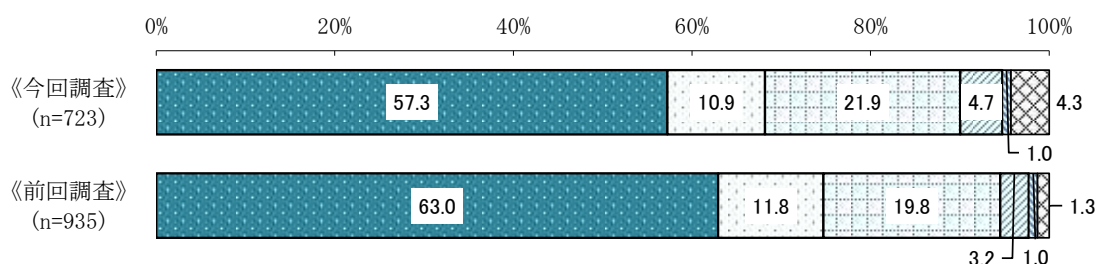
図 1-2 住みやすさへの評価（地域別／性別／年代別）



## (2) 今後の居留意向



■現在の住所にずっと住みたい □市内の別の地域に住みたい □どちらともいえない □いずれは市外に住みたい □住みたくない □無回答



### 7割の市民は今後も郡山市内に住み続けたいとしている

#### 【全体結果】

今後も郡山市に住み続けたいかどうかについては、「現在の住所にずっと住み続けたい」(57.3%)と「市内の別の地域に住みたい」(10.9%)の両者を合計すると『住み続けたい』(68.2%)となっています。

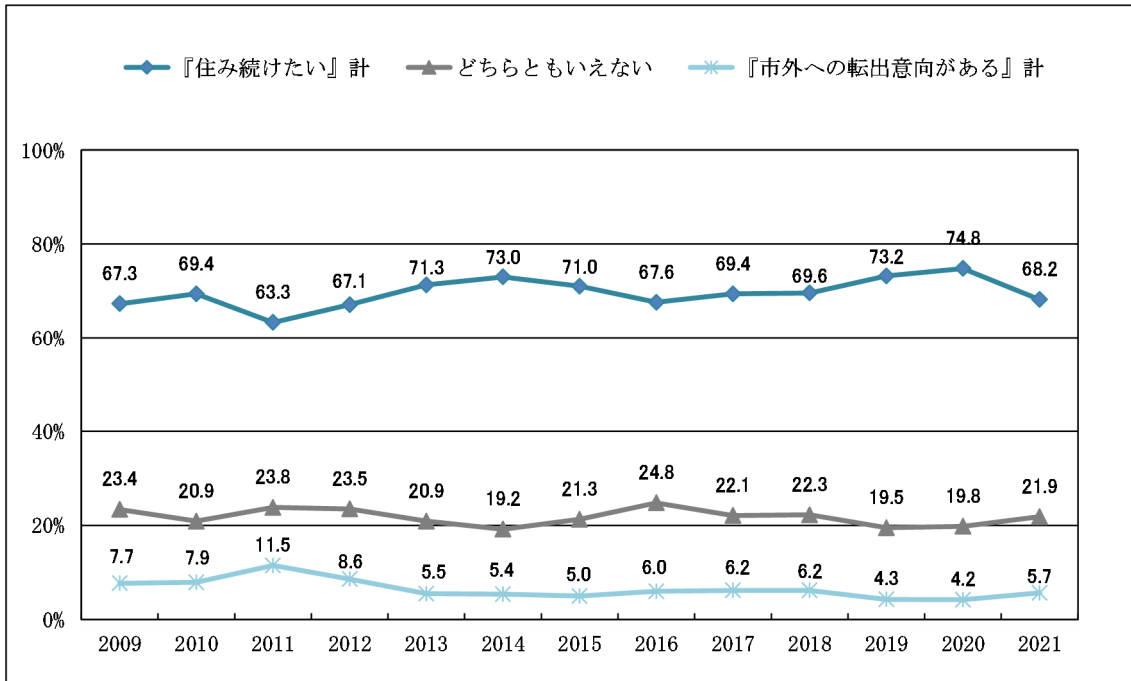
前項の『住みやすい』の合計と比較すると1割程度低く、「どちらともいえない」が1割程度増えています。

一方、「いずれは市外に住みたい」(4.7%)と「住みたくない」(1.0%)を合計すると『市外への転出意向がある』(5.7%)となっています。

なお、過去の調査結果との推移で比較すると、前項の〈住みやすさへの評価〉と同様、東日本大震災直後『住み続けたい』の合計は低下したものの、2013年以降、概ね7割前後で推移しています。また、『市外への転出意向がある』の合計は2011年をピークに減少し、2013年以降、横ばいで推移しています(図1-3参照)。



図 1-3 今後の居留意向（過去調査結果との比較）



【属性別結果】（図 1-4 参照）

① 性別

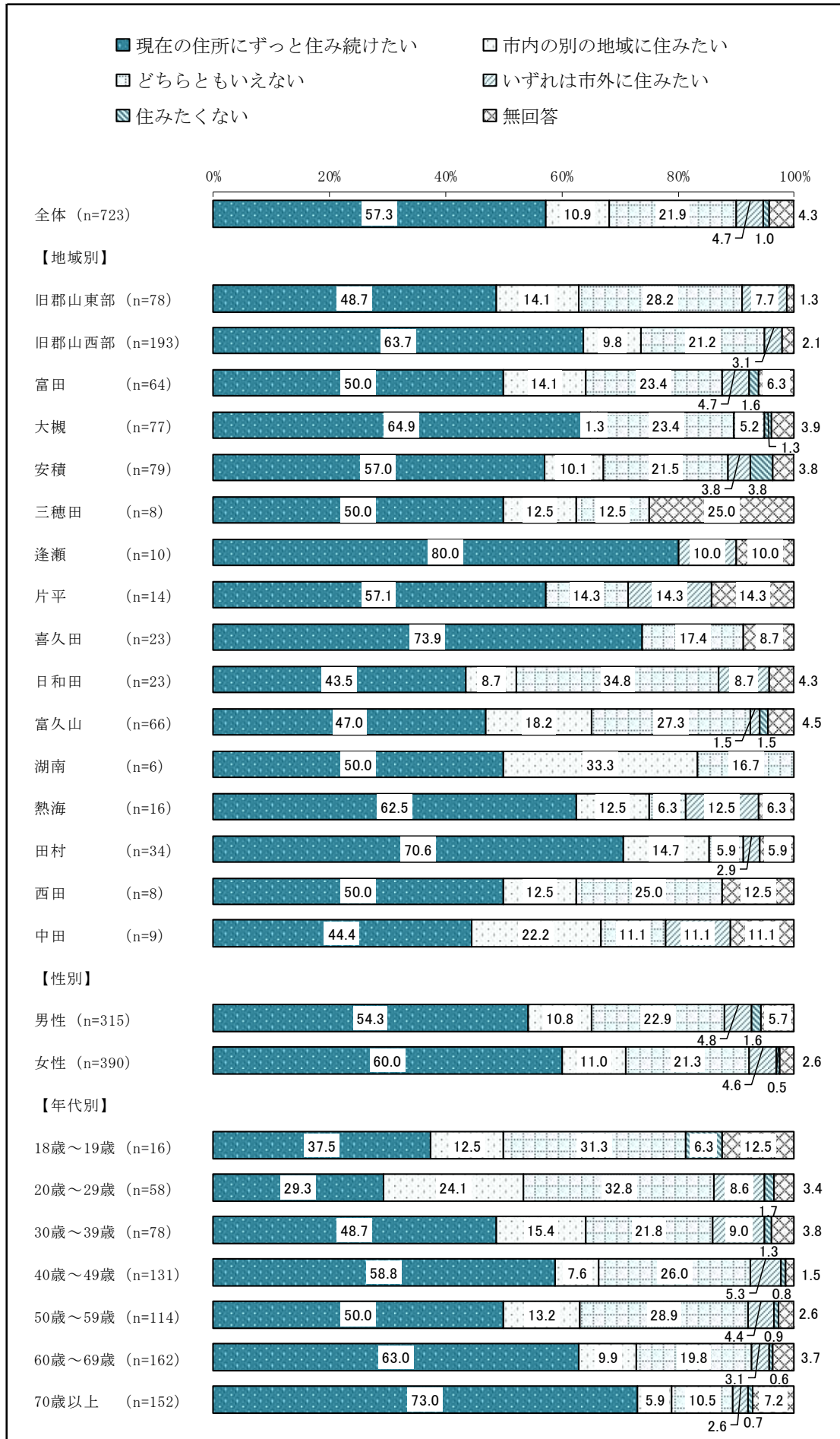
『住み続けたい』の割合は、女性（71.0%）の方が男性（65.1%）よりもやや高くなっています。

② 年代別

『住み続けたい』の割合は、70代以上（78.9%）で最も高く、次いで60代（72.8%）と高い年代で割合が高くなっています。

一方、『市外への転出意向がある』の割合は、20代、30代ともに10.3%と若い年代で割合が高くなっています。

図 1-4 今後の居住意向（地域別／性別／年代別）



## 2. 郡山市まちづくり基本指針施策の満足度重要度

### (1) まちづくりへの満足度結果一覧

まちづくり（取組み）における44項目（施策）の満足度平均得点をランキング化しました。

表2-1 44項目（施策）の満足度ランキング

平均得点69.6点

順位	前年度 順位	分野	項目	満足度	順位の変動	10位以上 の変動
1位	(1位)	IV. 誰もが地域で輝く未来	医療	78.0	→	
2位	(13位)	横断的取組	除去土壌等の搬出	77.2	↑	△
3位	(2位)	II. 交流・観光の未来	音楽のまちづくり	76.6	↘	
4位	(3位)	V. 暮らしやすいまちの未来	自然環境	76.0	↘	
5位	(5位)	III. 学び育む子どもたちの未来	子育て	74.8	→	
6位	(8位)	IV. 誰もが地域で輝く未来	健康づくり	74.5	→	
7位	(4位)	横断的取組	健康管理	73.8	↘	
8位	(11位)	III. 学び育む子どもたちの未来	青少年健全育成	73.0	→	
9位	(12位)	III. 学び育む子どもたちの未来	乳幼児教育・家庭教育	72.8	→	
10位	(7位)	IV. 誰もが地域で輝く未来	スポーツ・文化・芸術	72.1	↘	
11位	(10位)	V. 暮らしやすいまちの未来	住環境	71.8	↘	
11位	(16位)	II. 交流・観光の未来	歴史・文化遺産	71.8	→	
13位	(31位)	V. 暮らしやすいまちの未来	防災	71.3	↑	△
14位	(19位)	V. 暮らしやすいまちの未来	防犯・交通安全・消費者対策	71.2	→	
15位	(6位)	IV. 誰もが地域で輝く未来	広聴広報	70.8	↘	
16位	(9位)	V. 暮らしやすいまちの未来	3R（資源の有効利用）	70.6	↘	
17位	(13位)	IV. 誰もが地域で輝く未来	地域コミュニティ	70.5	↘	
17位	(13位)	IV. 誰もが地域で輝く未来	男女共同参画	70.5	↘	
19位	(25位)	III. 学び育む子どもたちの未来	地域学習	70.3	→	
20位	(23位)	I. 産業・仕事の未来	特産品ブランド化	70.0	→	
21位	(29位)	II. 交流・観光の未来	都市間交流・国際交流・関係人口	69.6	→	
22位	(17位)	IV. 誰もが地域で輝く未来	生涯学習	69.4	↘	
22位	(28位)	I. 産業・仕事の未来	産業創出・企業誘致	69.4	→	
24位	(31位)	I. 産業・仕事の未来	地域産業	69.2	→	
25位	(22位)	IV. 誰もが地域で輝く未来	高齢者福祉	69.0	↘	
25位	(25位)	基盤的取組	セーフコミュニティ	69.0	→	
27位	(21位)	IV. 誰もが地域で輝く未来	市民協働	68.7	↘	
28位	(36位)	III. 学び育む子どもたちの未来	学校教育	68.5	→	
28位	(35位)	I. 産業・仕事の未来	起業支援	68.5	→	
30位	(30位)	IV. 誰もが地域で輝く未来	障がい者福祉	68.4	→	
31位	(20位)	IV. 誰もが地域で輝く未来	地域福祉	68.3	↓	▼
32位	(18位)	横断的取組	風評の払しょく	67.9	↓	▼
33位	(25位)	V. 暮らしやすいまちの未来	交通・道路	67.5	↘	
34位	(24位)	V. 暮らしやすいまちの未来	エネルギー	67.0	↓	▼
34位	(33位)	V. 暮らしやすいまちの未来	ユニバーサルデザイン	67.0	↘	
36位	(37位)	基盤的取組	連携中枢都市圏構想	65.8	→	
37位	(39位)	I. 産業・仕事の未来	雇用・就労	65.6	→	
38位	(40位)	基盤的取組	行政経営	65.4	→	
39位	(42位)	基盤的取組	SDGs	65.2	→	
40位	(34位)	V. 暮らしやすいまちの未来	環境活動	64.6	↘	
41位	(38位)	V. 暮らしやすいまちの未来	計画的な都市づくり	63.8	↘	
42位	(40位)	II. 交流・観光の未来	観光	62.7	↘	
43位	(43位)	II. 交流・観光の未来	シティプロモーション	61.7	→	
44位	(44位)	I. 産業・仕事の未来	農林業	61.3	→	

平均より高い

平均より低い

【よい】の回答者に100点、【どちらかといえばよい】に80点、【どちらかといえば不満】に60点、【不満】に40点、【わからない】に0点を与え、各項目の平均得点を算出した結果を掲載しました（表2-1参照）。

平均得点が高いほど、「満足」との評価が高い施策・事業です。

平均得点の算出式、算出例を以下に掲載しました。

※1：平均得点の算出式

$$\begin{aligned} & (\text{【よい】} \times 100 + \text{【どちらかといえばよい】} \times 80 \\ & + \text{【どちらかといえば不満】} \times 60 + \text{【不満】} \times 40 + \text{【わからない】} \times 0) \\ & \div \text{「わからない」と無回答者を除いた} n \text{ 数} \end{aligned}$$

※2：平均得点の算出例

例えば、「よい」26人、「どちらかといえばよい」137人、  
「どちらかといえば不満」113人、「不満」43人、「わからない」393人ですと、

$$\frac{26 \text{ 人} \times 100 \text{ 点} + 137 \text{ 人} \times 80 \text{ 点} + 113 \text{ 人} \times 60 \text{ 点} + 43 \text{ 人} \times 40 \text{ 点} + 393 \text{ 人} \times 0 \text{ 点}}{319 \text{ 人}}$$

≒69.2

※平均得点=69.2点となります。

※2019年度から「普通」評価をなくした4段階評価とし、配点も変更しました。

## — 満足度の上位3つは、「医療」「除去土壌等の搬出」

「音楽のまちづくり」—

### 【全体結果】

現在のまちづくりに対する満足度については、「医療」「除去土壌等の搬出」「音楽のまちづくり」が上位となっています。

「10年間の満足度上位3項目」において、「医療」は2017年度以外、毎年度上位3項目に含まれ、また、「音楽のまちづくり」は「音楽都市こおりやま」（2017年度以前の項目名）を含めると2013年度以降は毎年上位3項目に含まれており、継続して満足度の上位にある施策です。

「医療」については、人口に対する病床数や医師等が全国平均を上回っていること、また、「音楽のまちづくり」については、「音楽都市宣言」から13年経過し、市民の認知度が高いことなどが、満足度につながっていると考えられます。

「除去土壌等の搬出」については、敷地内に保管されている除去土壌等を掘り起こし、袋詰めしたものを積込場へ集約する市の搬出作業と並行して、国が集約した積込場から中間貯蔵施設への輸送をしており、2021年度に作業が概ね完了する見込みであることが、高い満足度につながっていると考えられます。

また、上位の中で前年度調査に比べて順位を上げたのは、「健康づくり」「青少年健全育成」「乳幼児教育・家庭教育」です。

これらの項目に関連する本市の主な取組みは、次のとおりです。

「健康づくり」では、健康づくりに取り組んでポイントを貯めると、福島県内1,700店舗以上の協力店で、グルメやショッピングなどお得な特典が使える「ふくしま健民カード」を発行する「こおりやま生きいき健康ポイント事業」を実施し、気軽に、無理なく、楽しく継続できる健康づくりを推進しています。

「青少年健全育成」では、郡山市青少年健全育成推進大会を開催し、青少年を取り巻く現状等に対する認識を深め、家庭における親のあり方や地域社会における大人のあり方について考え、家庭、学校、地域社会が相互に連携しながら、青少年の健全育成活動に取り組む、青少年健全育成市民総ぐるみ運動を推進しています。

「乳幼児教育・家庭教育」では、『郡山市まちづくり基本指針』を基盤とし、SDGsやセーフコミュニティ、「郡山市子ども条例」や「連携中枢都市圏」など本市独自の視点等を取り入れた『第2期郡山市ニコニコ子ども・子育てプラン』を策定し、すべての子どもの健やかな育ちと子育て中の保護者等を支援できるよう、様々な子育て支援施策を総合的かつ計画的に推進しています。

また、7分野の満足度を比較すると、最も満足度が高かった分野は、「横断的取組」の73.0点、次いで「学び育む子どもたちの未来」の71.9点、「誰もが地域で輝く未来」の70.9点となっています。

表 2-2 7分野別の満足度ランキング

順位	分野	点数
1位	VI. 横断的取組 (復興・創生の更なる推進)	73.0
2位	III. 学び育む子どもたちの未来 (子育て・教育・地域学習分野)	71.9
3位	IV. 誰もが地域で輝く未来 (市民協働・生涯学習・保健福祉・男女共同参画分野)	70.9
4位	V. 暮らしやすいまちの未来 (環境・防災・市民安全・生活インフラ分野)	69.1
5位	II. 交流・観光の未来 (交流・文化・観光・シティプロモーション分野)	68.5
6位	I. 産業・仕事の未来 (商業・工業・雇用・農林業分野)	67.3
7位	VII. 基盤的取組 (行政経営・セーフコミュニティ・連携中枢都市圏・SDGs)	66.3

参考までに、過去 10 年間の満足度上位 3 つは下表のとおりです。

表 2-3 10年間の満足度上位 3 項目

年度 \ 順位	1 位	2 位	3 位
2021	医療	除去土壌等の搬出	音楽のまちづくり
2020	医療	音楽のまちづくり	自然環境
2019	音楽のまちづくり	自然環境	医療
2018	音楽のまちづくり	医療	自然環境
2017	広聴広報	音楽都市こおりやま	除染
2016	広聴広報	音楽都市こおりやま	医療
2015	音楽都市こおりやま	生涯学習	医療
2014	音楽都市こおりやま	医療	生涯学習
2013	生涯学習	医療	音楽都市こおりやま
2012	医療体制	生活衛生体制	保健予防体制

## (2) これからの取組み重要度結果一覧

まちづくり（取組み）における44項目（施策）の重要度の平均割合（回答率）をランキング化しました。

表2-4 44項目（施策）の重要度ランキング

平均割合12.0%

順位	前年度 順位	分野	項目	重要度	順位の 変動	10位以上 の変動
1位	(4位)	Ⅲ. 学び育む子どもたちの未来	子育て	34.7	➡	
2位	(1位)	Ⅰ. 産業・仕事の未来	雇用・就労	34.4	➡	
3位	(5位)	Ⅳ. 誰もが地域で輝く未来	高齢者福祉	32.4	➡	
4位	(2位)	Ⅴ. 暮らしやすいまちの未来	防災	26.6	➡	
5位	(7位)	Ⅳ. 誰もが地域で輝く未来	医療	24.9	➡	
6位	(3位)	Ⅲ. 学び育む子どもたちの未来	学校教育	23.7	➡	
7位	(8位)	Ⅴ. 暮らしやすいまちの未来	交通・道路	20.3	➡	
8位	(9位)	Ⅴ. 暮らしやすいまちの未来	計画的な都市づくり	17.6	➡	
9位	(6位)	Ⅰ. 産業・仕事の未来	産業創出・企業誘致	16.3	➡	
10位	(20位)	横断的取組	風評の払しょく	15.9	⬆	△
11位	(12位)	Ⅱ. 交流・観光の未来	観光	15.2	➡	
12位	(11位)	Ⅰ. 産業・仕事の未来	地域産業	14.7	➡	
13位	(10位)	Ⅴ. 暮らしやすいまちの未来	防犯・交通安全・消費者対策	14.1	➡	
14位	(14位)	横断的取組	健康管理	13.6	➡	
15位	(25位)	Ⅳ. 誰もが地域で輝く未来	障がい者福祉	12.3	⬆	△
16位	(16位)	Ⅱ. 交流・観光の未来	音楽のまちづくり	11.9	➡	
16位	(25位)	Ⅴ. 暮らしやすいまちの未来	自然環境	11.9	➡	
18位	(13位)	Ⅰ. 産業・仕事の未来	特産品ブランド化	11.6	➡	
19位	(34位)	基盤的取組	SDGs	11.3	⬆	△
20位	(25位)	Ⅴ. 暮らしやすいまちの未来	住環境	11.2	➡	
21位	(21位)	Ⅲ. 学び育む子どもたちの未来	乳幼児教育・家庭教育	10.5	➡	
22位	(19位)	Ⅳ. 誰もが地域で輝く未来	健康づくり	9.7	➡	
23位	(24位)	Ⅲ. 学び育む子どもたちの未来	青少年健全育成	9.3	➡	
24位	(22位)	Ⅳ. 誰もが地域で輝く未来	地域福祉	8.7	➡	
25位	(18位)	Ⅳ. 誰もが地域で輝く未来	スポーツ・文化・芸術	8.4	➡	
26位	(36位)	Ⅴ. 暮らしやすいまちの未来	3R(資源の有効利用)	8.2	⬆	△
27位	(16位)	基盤的取組	行政経営	7.7	⬆	▼
28位	(28位)	Ⅰ. 産業・仕事の未来	起業支援	7.6	➡	
28位	(29位)	Ⅰ. 産業・仕事の未来	農林業	7.6	➡	
30位	(35位)	Ⅱ. 交流・観光の未来	歴史・文化遺産	7.5	➡	
31位	(32位)	Ⅴ. 暮らしやすいまちの未来	環境活動	7.3	➡	
32位	(22位)	Ⅱ. 交流・観光の未来	都市間交流・国際交流・関係人口	7.2	➡	
33位	(31位)	Ⅳ. 誰もが地域で輝く未来	地域コミュニティ	7.1	➡	
34位	(15位)	横断的取組	除去土壌等の搬出	5.8	⬆	▼
35位	(30位)	基盤的取組	連携中枢都市圏構想	5.4	➡	
36位	(38位)	Ⅲ. 学び育む子どもたちの未来	地域学習	5.1	➡	
36位	(37位)	Ⅳ. 誰もが地域で輝く未来	生涯学習	5.1	➡	
36位	(39位)	Ⅴ. 暮らしやすいまちの未来	エネルギー	5.1	➡	
39位	(33位)	Ⅱ. 交流・観光の未来	シティプロモーション	4.6	➡	
40位	(41位)	Ⅳ. 誰もが地域で輝く未来	男女共同参画	3.5	➡	
41位	(43位)	基盤的取組	セーフコミュニティ	3.3	➡	
42位	(44位)	Ⅳ. 誰もが地域で輝く未来	市民協働	2.6	➡	
43位	(41位)	Ⅴ. 暮らしやすいまちの未来	ユニバーサルデザイン	2.4	➡	
44位	(40位)	Ⅳ. 誰もが地域で輝く未来	広聴広報	1.9	➡	

平均より高い

平均より低い

平均割合（回答率）が高いほど、「重要度」が高い施策・事業です。

平均割合（回答率）の算出式、算出例を以下に掲載しました。

**※1：平均割合（回答率）の算出式**

$(\text{回答数}) \div n \text{ 数} \times 100\%$

**※2：平均割合（回答率）の算出例**

例えば、「子育て」251人ですと、

$251 \text{ 人} \div 723 \text{ 人} \times 100\% \doteq 34.7$

**※平均割合（回答率）=34.7%となります。**

— 重要度の上位3つは、「子育て」「雇用・就労」「高齢者福祉」 —

**【全体結果】**

現在のまちづくりに対する重要度については、「子育て」「雇用・就労」「高齢者福祉」が上位となっています。

「雇用・就労」については、2019年から国が継続的に推進している「働き方改革」による社会構造への影響や近年の大雨等の自然災害や新型コロナウイルス感染症が及ぼす地域産業への影響から、昨年度に引き続き関心度及び重要度の高さが持続しているものと考えられます。

また、「10年間の重要度上位3項目」において、「高齢者福祉」は2013年度から、「子育て」は2014年度から、ほぼ毎年度上位3項目に含まれており、継続して重要度の高い施策です。

また、上位の中で前年度調査に比べて順位を上げたのは、「医療」「交通・道路」「計画的な都市づくり」「風評の払しょく」です。

「医療」については、新型コロナウイルス感染症の影響によって、医師不足、医療体制への不安など、医療分野への関心が高まったためと考えられます。

「交通・道路」「計画的な都市づくり」では、高齢者のための公共交通の充実や渋滞緩和や安全のための道路の整備、近年多発する水害被害等への懸念から、安全安心なまちづくりに向けた取組みへの期待が高まりつつあるものと考えられます。

「風評の払しょく」については、土壌の搬出等が進み、住環境は整ってきているが、未だ風評被害がなくなることから、風評への対応や郡山産品の安全性のPR、販路の拡大及び観光誘客等が求められていると考えられます。

また、7分野の重要度を比較すると、最も重要度が高かった分野は、「学び育む子どもたちの未来」の16.7%、次いで、満足度においては比較的低い分野の「産業・仕事の未来」の15.4%となっており、重点的に取り組むべき分野といえます。



表 2-5 7分野別の重要度ランキング

順位	分野	回答率(%)
1位	Ⅲ. 学び育む子どもたちの未来 (子育て・教育・地域学習分野)	16.7
2位	Ⅰ. 産業・仕事の未来 (商業・工業・雇用・農林業分野)	15.4
3位	Ⅴ. 暮らしやすいまちの未来 (環境・防災・市民安全・生活インフラ分野)	12.5
4位	Ⅵ. 横断的取組 (復興・創生の更なる推進)	11.8
5位	Ⅳ. 誰もが地域で輝く未来 (市民協働・生涯学習・保健福祉・男女共同参画分野)	10.6
6位	Ⅱ. 交流・観光の未来 (交流・文化・観光・シティプロモーション分野)	9.3
7位	Ⅶ. 基盤的取組 (行政経営・セーフコミュニティ・連携中枢都市圏・SDGs)	7.0

参考までに、過去10年間の重要度上位3つは下表のとおりです。

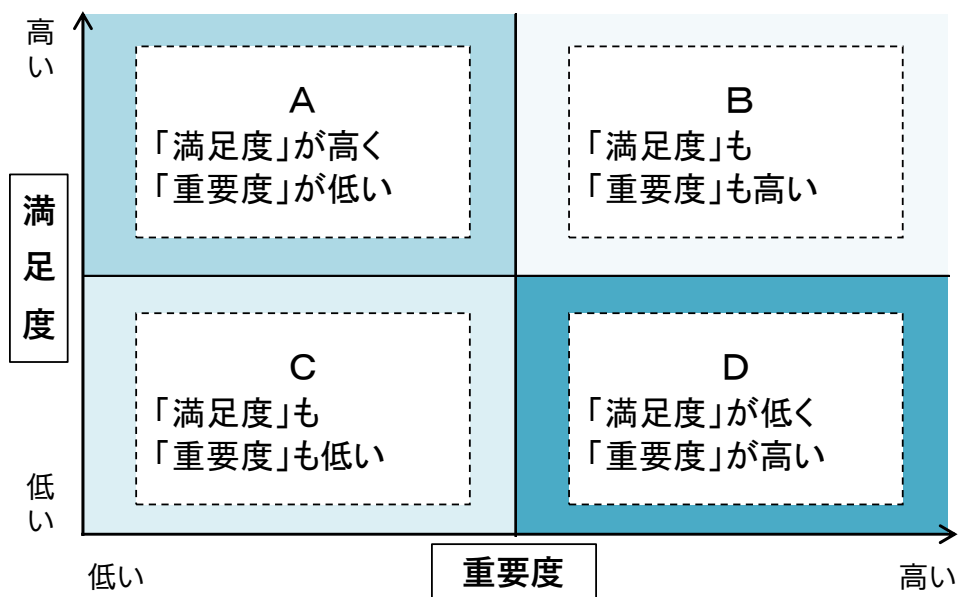
表 2-6 10年間の重要度上位3項目

年度 \ 順位	1位	2位	3位
2021	子育て	雇用・就労	高齢者福祉
2020	雇用・就労	防災	学校教育
2019	雇用・就労	子育て	高齢者福祉
2018	雇用・就労	子育て	高齢者福祉
2017	高齢者福祉	子育て	学校教育
2016	高齢者福祉	学校教育	子育て
2015	高齢者・障がい者福祉	学校教育	子育て
2014	高齢者・障がい者福祉	子育て	学校教育
2013	除染	高齢者・障がい者福祉	学校教育
2012	医療体制	生活環境	保健予防体制
2011	生活環境	医療体制	ごみ対策

### (3) 施策の優先度《満足度と重要度の関係》

まちづくり（取組み）における 44 項目（施策）の優先度を整理するため、「満足度」を縦軸、「重要度」を横軸にとり、各項目の「満足度」「重要度」の結果を散布図として示しました。満足度平均得点の算出方法につきましては前出 20 頁を、重要度平均割合の算出方法につきましては前出 24 頁を参照ください。

なお、「満足度」「重要度」の関係を表す領域線は、それぞれの平均値となります。



#### **A：維持領域**

重要度は低いが満足度が高い取組みは、現状を維持していく項目（施策）です。

#### **B：重要維持領域**

重要度が高く満足度も高いため、引き続き重点的に維持していく項目（施策）です。

#### **C：要検討領域**

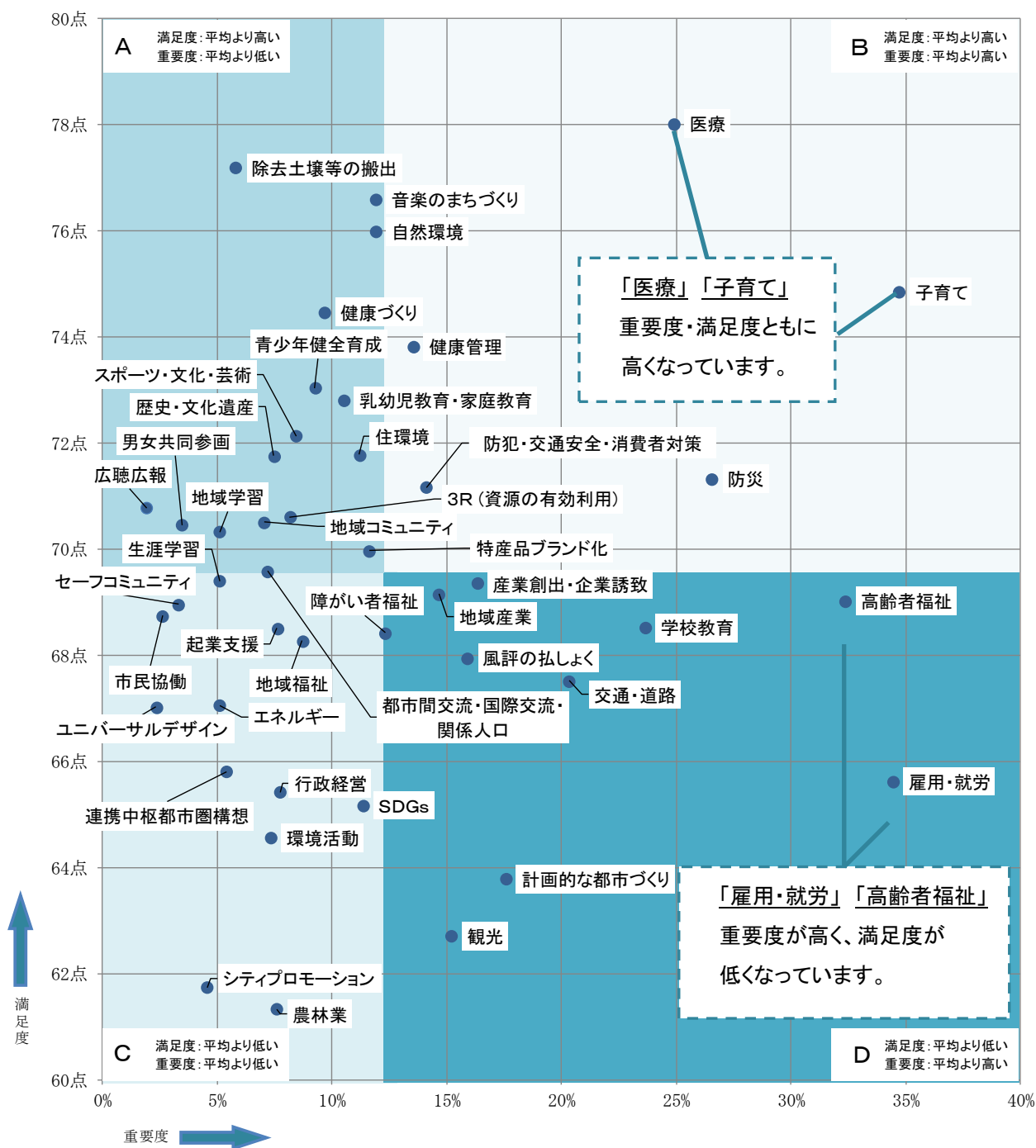
重要度も満足度も低い取組みは、市民ニーズを再認識し、必要があれば大きく改善する必要がある項目（施策）です。

#### **D：重要取組領域**

重要度が高いが満足度が低いため、重点的に取組みを進める必要がある項目（施策）です。

※上記のそれぞれの領域に該当した項目（施策）の満足度や重要度の高低については、全体の平均値と比較した相対的判断となっています。

図 2-1 施策の優先度（満足度と重要度の関係散布図）



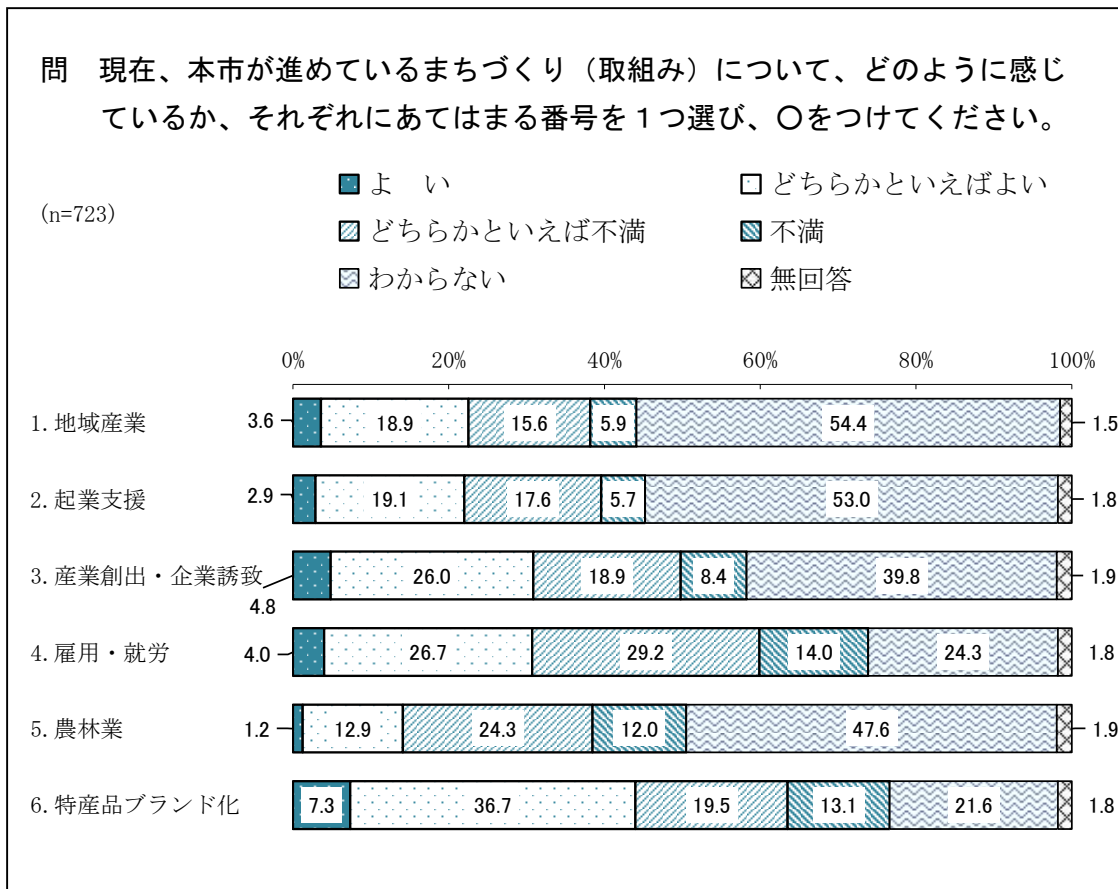
—— 「雇用・就労」「高齢者福祉」に関して

優先的な施策の改善が求められている ——

現在の満足度が低く、今後の重要性が高い領域「D」にある施策は市民ニーズが高いと考えられます。この領域は市民生活に密接な関係のある施策が多く、とりわけ「雇用・就労」「高齢者福祉」は市民ニーズの高いポイントとなっています。

#### (4) 分野別属性別満足度結果

##### ①産業・仕事の未来（商業・工業・雇用・農林業分野）への満足度



—— 産業・仕事の未来において「満足」と思う人が最も多いのは 『特産品ブランド化』 ——

#### 【全体結果】

『産業・仕事の未来』における、各項目に対する満足・不満をみると、「満足（「よい」と「どちらかといえばよい」の合計）」の割合が最も高いのは『6. 特産品ブランド化』（44.0%）でした。以下、『3. 産業創出・企業誘致』（30.8%）、『4. 雇用・就労』（30.7%）と続き、上位を構成しています。

一方で、「不満（「不満」と「どちらかといえば不満」の合計）」の割合が最も高いのは『4. 雇用・就労』（43.2%）でした。以下、『5. 農林業』（36.4%）、『6. 特産品ブランド化』（32.6%）がそれぞれ3割台となっており、『6. 特産品ブランド化』、『4. 雇用・就労』については評価が分かれる結果となっています。

また、「わからない」の割合が『1. 地域産業』（54.4%）と『2. 起業支援』（53.0%）で半数以上を占めています。事業、施策の推進など、今後もさらに周知していく必要があります。

市特産品の「鯉」や郡山産米「あさか舞」、果樹農業の6次産業化による郡山産ワインの誕生など、風評の払しょくに向けた取組みが評価される一方、市民への浸透や全国的な知名度の獲得を目指した、更なる施策の推進が求められています。

各項目の平均得点を算出した結果を次頁に掲載しました（図 2-2 参照）。

平均得点をみると、『6. 特産品ブランド化』が 70.0 点で最も高く、一方で、最も低かったのは『5. 農林業』（61.3 点）でした。

なお、性別、年代別平均得点の上位 3 つを以下に掲載しました。（表 2-7 参照）

図 2-2 産業・仕事の未来への満足度＜平均得点＞（全体）

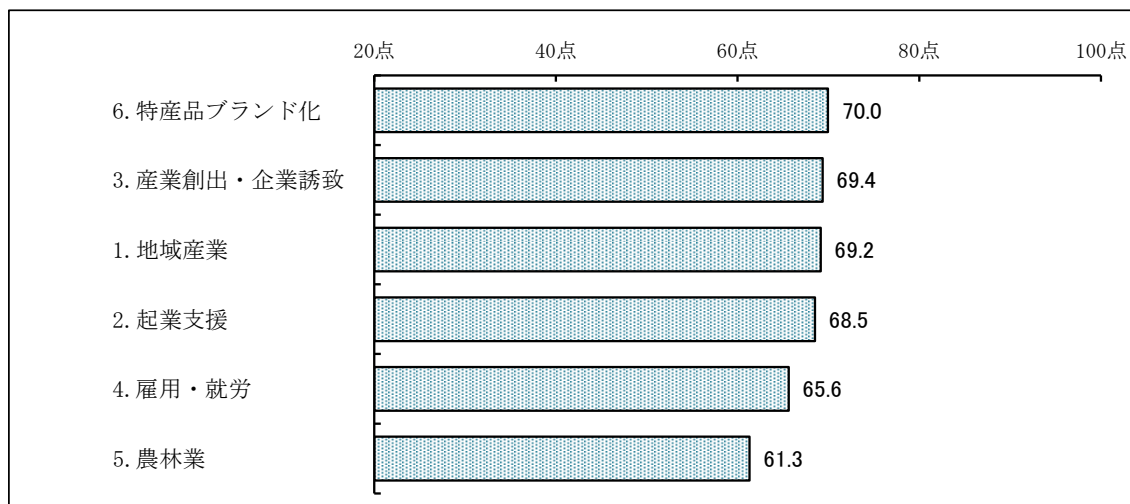
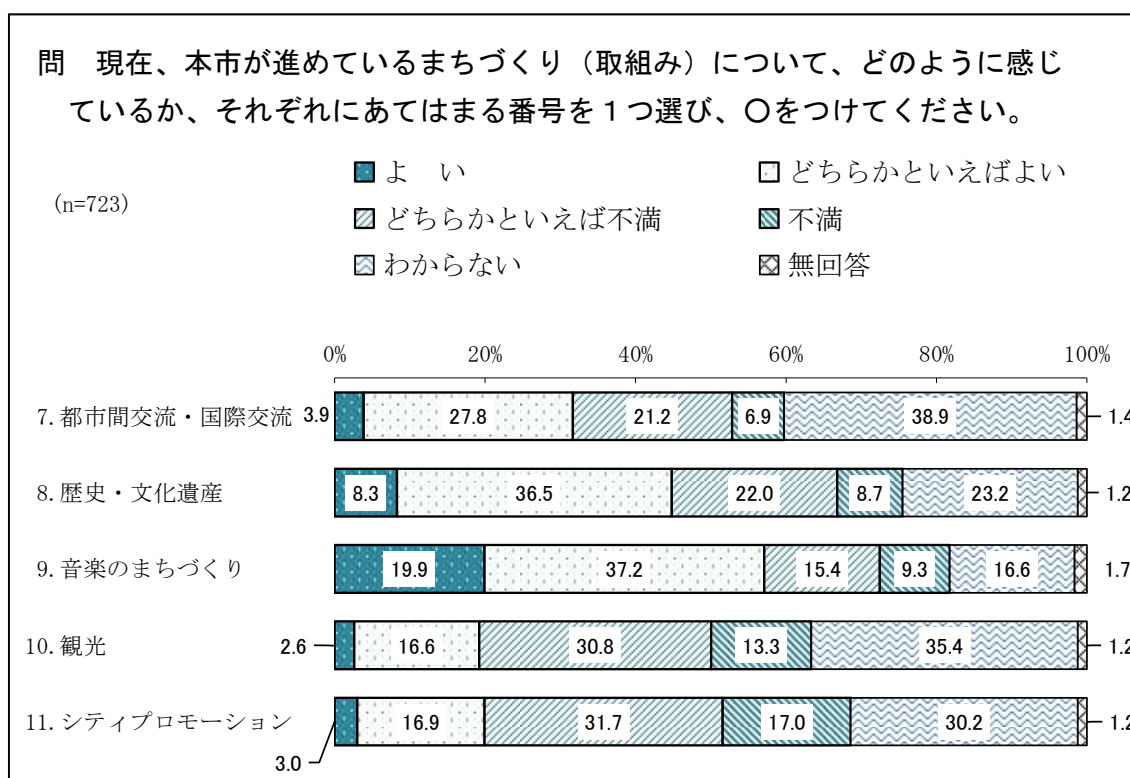


表 2-7 産業・仕事の未来への満足度＜性別、年代別平均得点の上位 3 つ＞

	男性	女性
1位	産業創出・ 企業誘致 (67.8点)	特産品 ブランド化 (73.5点)
2位	起業支援 (66.7点)	地域産業 (71.9点)
3位	地域産業 (66.3点)	産業創出・ 企業誘致 (70.9点)

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
1位	特産品 ブランド化 (83.1点)	特産品 ブランド化 (75.6点)	特産品 ブランド化 (73.1点)	起業支援 (69.6点)	産業創出・ 企業誘致 (70.1点)	産業創出・ 企業誘致 (70.2点)	地域産業 (74.4点)
2位	産業創出・ 企業誘致 (80.0点)	地域産業 (73.1点)	地域産業 (67.4点)	特産品 ブランド化 (69.1点)	起業支援 (69.1点)	地域産業 (67.8点)	起業支援 (72.1点)
3位	農林業 (77.1点)	産業創出・ 企業誘致 (69.0点)	起業支援 (64.8点)	産業創出・ 企業誘致 (68.4点)	特産品 ブランド化 (68.7点)	起業支援 (66.0点)	特産品 ブランド化 (71.0点)

②交流・観光の未来（交流・文化・観光・シティプロモーション分野）への満足度



—— 交流・観光の未来において「満足」と思う人が最も多いのは『音楽のまちづくり』 ——

【全体結果】

『交流・観光の未来』における、各項目に対する満足・不満をみると、「満足（「よい」と「どちらかといえばよい」の合計）」の割合が最も高いのは『9. 音楽のまちづくり』（57.1%）でした。以下、『8. 歴史・文化遺産』（44.8%）が続き、上位を構成しています。

一方で、「不満（「不満」と「どちらかといえば不満」の合計）」の割合が最も高いのは『11. シティプロモーション』（48.7%）となっています。

性別、年代別においては、全ての種別で「音楽のまちづくり」が1位となっています。

「音楽都市宣言」から13年経過し、学校音楽の全国大会での活躍により市民の認知度は高く、更に、様々なコンサートの開催を通じた鑑賞機会の提供や、東京藝術大学との連携(2016～)による人材育成事業など多様な取組みにより市民の満足の割合が高いと考えられます。

各項目の平均得点を算出した結果を次頁に掲載しました（図2-3参照）。

平均得点をみると、『9. 音楽のまちづくり』が76.6点で最も高くなっています。

一方で、最も低かったのは『11. シティプロモーション』（61.7点）でした。

なお、性別、年代別平均得点の上位3つを次頁に掲載しました（表2-8参照）。

図 2-3 交流・観光の未来への満足度＜平均得点＞（全体）

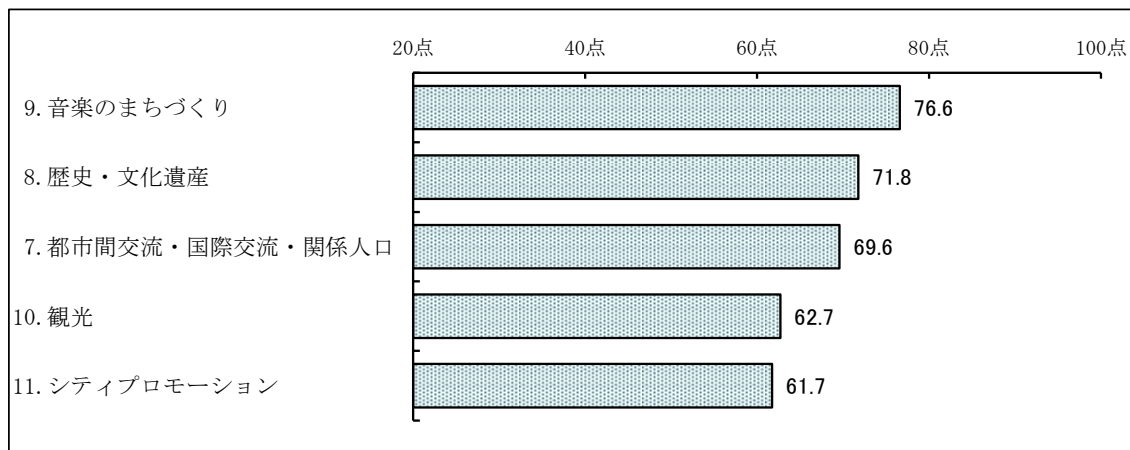
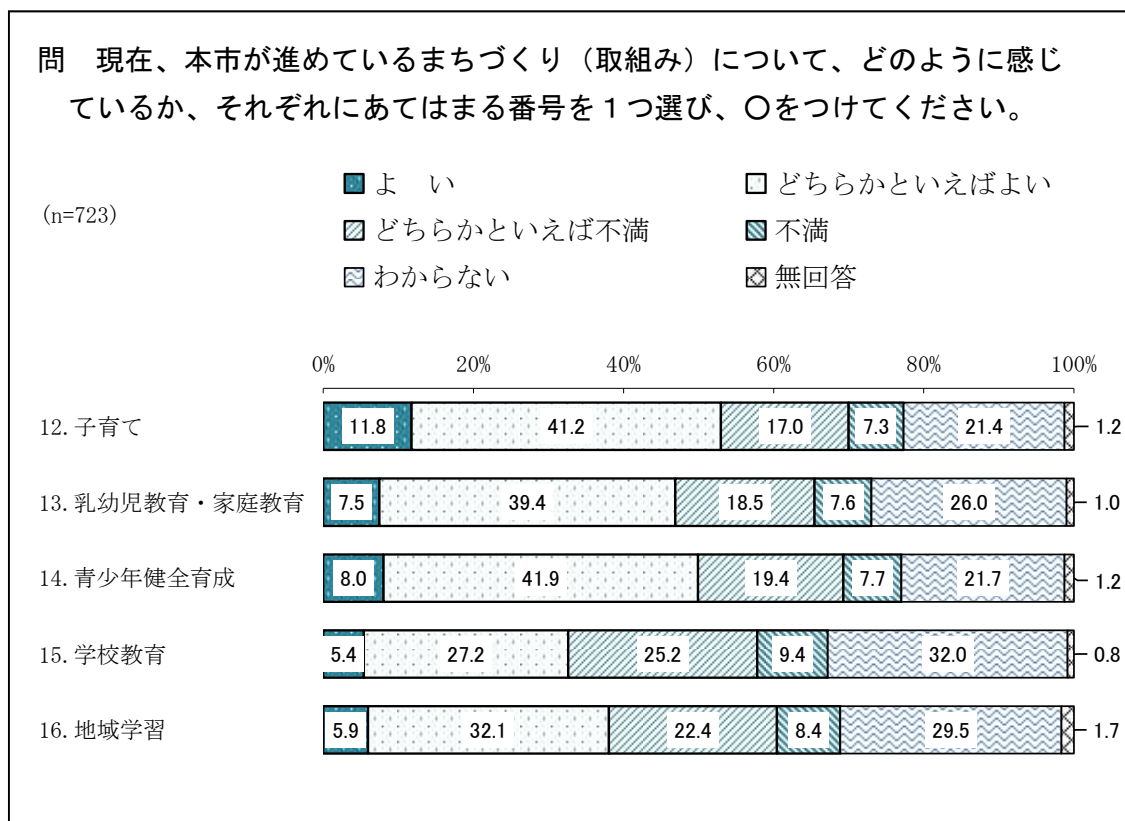


表 2-8 交流・観光の未来への満足度＜性別、年代別平均得点の上位3つ＞

	男性	女性
1位	音楽のまちづくり (74.7点)	音楽のまちづくり (78.0点)
2位	歴史・文化遺産 (69.6点)	歴史・文化遺産 (73.5点)
3位	都市間交流・国際交流・関係人口 (68.1点)	都市間交流・国際交流・関係人口 (71.0点)

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
1位	音楽のまちづくり (88.6点)	音楽のまちづくり (76.4点)	音楽のまちづくり (72.5点)	音楽のまちづくり (74.1点)	音楽のまちづくり (77.1点)	音楽のまちづくり (77.3点)	音楽のまちづくり (78.4点)
2位	歴史・文化遺産 (73.8点)	歴史・文化遺産 (75.0点)	歴史・文化遺産 (72.1点)	歴史・文化遺産 (71.2点)	歴史・文化遺産 (69.9点)	歴史・文化遺産 (72.1点)	歴史・文化遺産 (71.5点)
3位	都市間交流・国際交流・関係人口 (72.9点)	都市間交流・国際交流・関係人口 (74.9点)	都市間交流・国際交流・関係人口 (67.2点)	都市間交流・国際交流・関係人口 (70.9点)	都市間交流・国際交流・関係人口 (68.3点)	都市間交流・国際交流・関係人口 (67.9点)	都市間交流・国際交流・関係人口 (68.9点)

### ③ 学び育む子どもたちの未来（子育て・教育・地域学習分野）への満足度



#### —— 学び育む子どもたちの未来において

「満足」と思う人が最も多いのは『子育て』 ——

#### 【全体結果】

『学び育む子どもたちの未来』における、各項目に対する満足・不満をみると、「満足（「よい」と「どちらかといえばよい」の合計）」の割合が最も高いのは『12. 子育て』（53.0%）でした。以下、『14. 青少年健全育成』（49.9%）が続き、上位を構成しています。特に『12. 子育て』に関しては、安心して生み育てる環境において、子育てしやすい環境づくりに努めるなど、今後特に重点的な維持が期待されています。

一方で、「不満（「不満」と「どちらかといえば不満」の合計）」の割合が最も高いのは『15. 学校教育』（34.6%）となっています。

各項目の平均得点を算出した結果を次頁に掲載しました（図 2-4 参照）。

平均得点をみると、『12. 子育て』が 74.8 点で最も高くなっています。

一方で、最も低かったのは『15. 学校教育』（68.5 点）でした。

なお、性別、年代別平均得点の上位 3 つを次頁に掲載しました（表 2-9 参照）。



図 2-4 学び育む子どもたちの未来への満足度〈平均得点〉（全体）

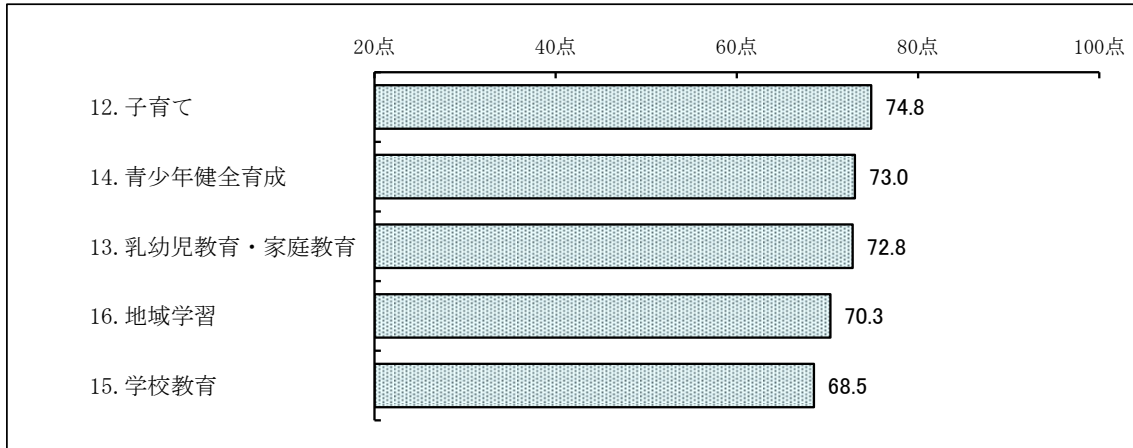


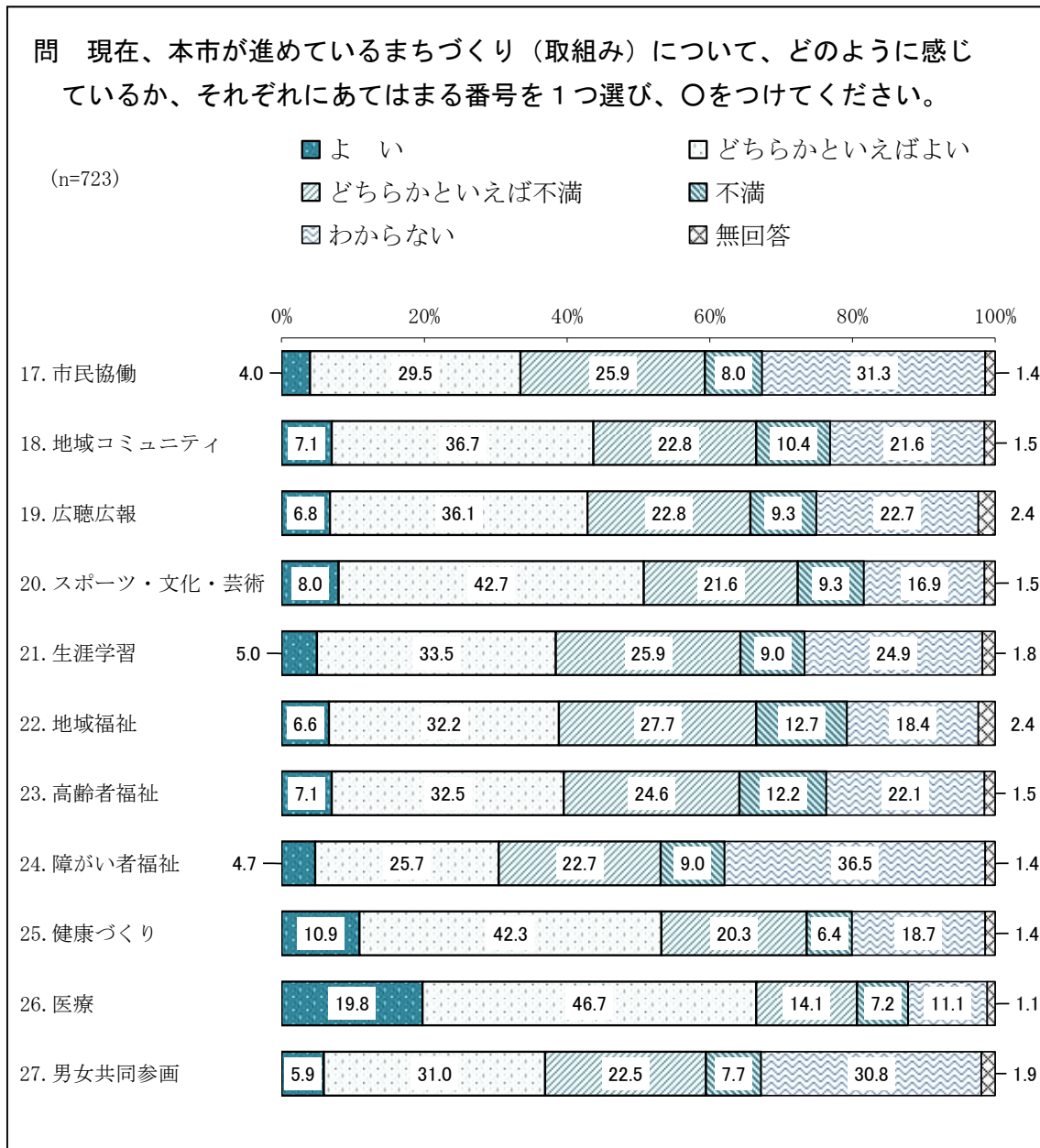
表 2-9 学び育む子どもたちの未来への満足度〈性別、年代別平均得点の上位3つ〉

	男性	女性
1位	子育て (74.0点)	子育て (75.5点)
2位	青少年健全育成 (71.5点)	乳幼児教育・家庭教育 (74.4点)
3位	乳幼児教育・家庭教育 (70.9点)	青少年健全育成 (74.2点)

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
1位	子育て (88.3点)	乳幼児教育・家庭教育 (77.1点)	子育て (73.1点)	子育て (74.8点)	子育て (74.9点)	子育て (72.6点)	子育て (76.8点)
2位	地域学習 (86.2点)	青少年健全育成 (76.3点)	地域学習 (72.5点)	乳幼児教育・家庭教育 (73.1点)	乳幼児教育・家庭教育 (71.3点)	青少年健全育成 (72.2点)	青少年健全育成 (75.2点)
3位	青少年健全育成 (85.7点)	子育て (74.9点)	青少年健全育成 (70.7点)	青少年健全育成 (72.6点)	青少年健全育成 (69.8点)	乳幼児教育・家庭教育 (70.8点)	乳幼児教育・家庭教育 (74.9点)

④誰もが地域で輝く未来

(市民協働・生涯学習・保健福祉・男女共同参画分野) への満足度



—— 誰もが地域で輝く未来において

「満足」と思う人が最も多いのは『医療』 ——

## 【全体結果】

『誰もが地域で輝く未来』における、各項目に対する満足・不満をみると、「満足（「よい」と「どちらかといえばよい」の合計）」の割合が最も高いのは『26. 医療』（66.5%）でした。以下、『25. 健康づくり』（53.3%）、『20. スポーツ・文化・芸術』（50.8%）が5割台で続き、上位を構成しています。

一方で、「不満（「不満」と「どちらかといえば不満」の合計）」の割合が最も高いのは『22. 地域福祉』（40.4%）となっています。

各項目の平均得点を算出した結果を以下に掲載しました（図 2-5 参照）。

平均得点をみると、『26. 医療』が 78.0 点で最も高くなっています。

一方で、最も低かったのは『22. 地域福祉』（68.3 点）でした。

中でも『26. 医療』に関しては、人口 10 万人に対する、郡山市の病床数と医師・歯科医師がそれぞれ全国平均を大きく上回っており（参考「厚生労働省統計調査」）、必要なときに安心かつ適切な医療を受けられる体制の充実への認識が高いと思われます。

なお、性別、年代別平均得点の上位 3 つを次頁に掲載しました（表 2-10 参照）。

図 2-5 誰もが地域で輝く未来への満足度＜平均得点＞（全体）

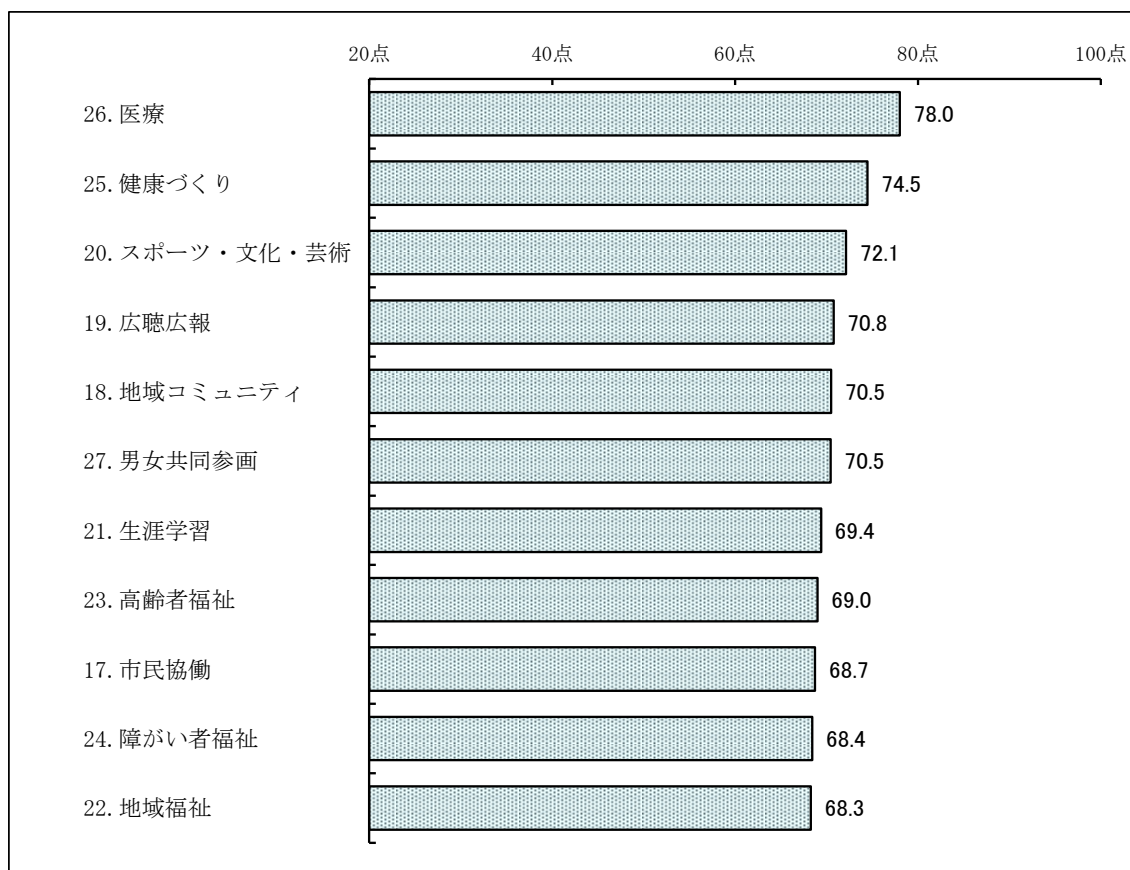


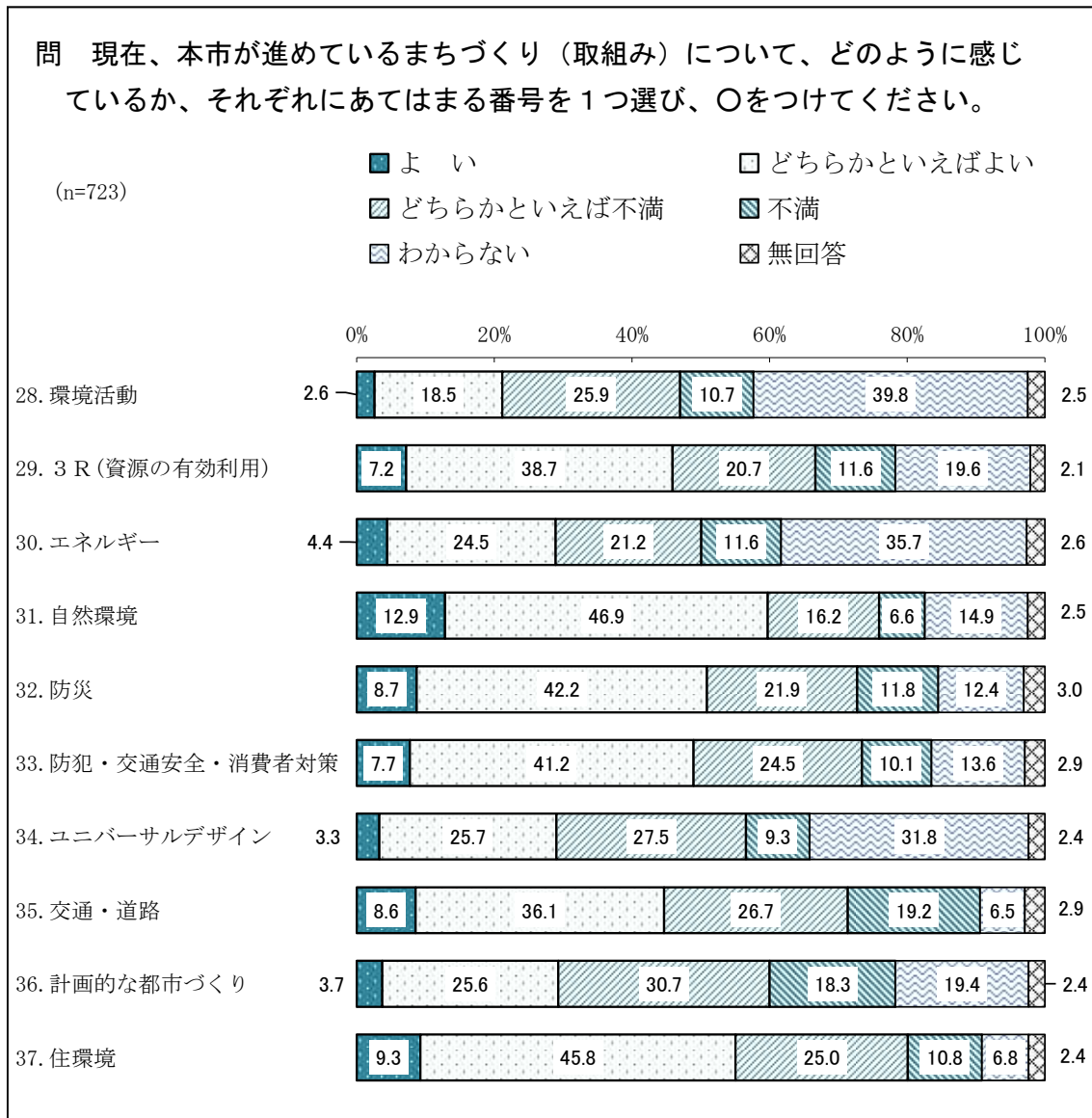
表 2 - 1 0 誰もが地域で輝く未来への満足度＜性別、年代別平均得点の上位 3 つ＞

	男 性	女 性
1位	医療 (77.6点)	医療 (78.4点)
2位	健康づくり (73.1点)	健康づくり (75.6点)
3位	男女共同参画 (70.9点)	スポーツ・ 文化・芸術 (74.8点)

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
1位	生涯学習 (86.7点)	医療 (79.2点)	医療 (73.6点)	医療 (76.7点)	医療 (77.2点)	医療 (77.0点)	医療 (82.0点)
2位	スポーツ・ 文化・芸術 (83.1点)	スポーツ・ 文化・芸術 (77.1点)	地域 コミュニティ (70.7点)	健康づくり (72.5点)	健康づくり (74.9点)	健康づくり (73.7点)	健康づくり (78.7点)
3位	広聴広報 (81.7点)	障がい者福祉 (76.1点)	スポーツ・ 文化・芸術 (69.8点)	地域 コミュニティ (71.3点)	スポーツ・ 文化・芸術 (72.5点)	スポーツ・ 文化・芸術 (69.7点)	スポーツ・ 文化・芸術 (74.0点)

### ⑤暮らしやすいまちの未来

(環境・防災・市民安全・生活インフラ分野) への満足度



#### —— 暮らしやすいまちの未来において

「満足」と思う人が最も多いのは『自然環境』 ——

#### 【全体結果】

『暮らしやすいまちの未来』における、各項目に対する満足・不満をみると、「満足(「よい」と「どちらかといえばよい」の合計)」の割合が高いのは『31. 自然環境』(59.8%)、『37. 住環境』(55.0%)、『32. 防災』(50.9%)がそれぞれ5割台で、上位を構成しています。

一方で、「不満(「不満」と「どちらかといえば不満」の合計)」の割合が最も高いのは『36. 計画的な都市づくり』(49.0%)となっています。

各項目の平均得点を算出した結果を以下に掲載しました(図2-6参照)。

平均得点をみると、『31. 自然環境』が76.0点で最も高くなっています。

一方で、最も低かったのは『36. 計画的な都市づくり』(63.8点)でした。

『31. 自然環境』に関しては、満足度は前年度と変わらず上位を維持していますが、重要度の順位が前年度調査に比べて上がっています。更なる推進が求められていると考えられます。

なお、性別、年代別平均得点の上位3つを次頁に掲載しました(表2-11参照)。

図2-6 暮らしやすいまちの未来への満足度<平均得点>(全体)

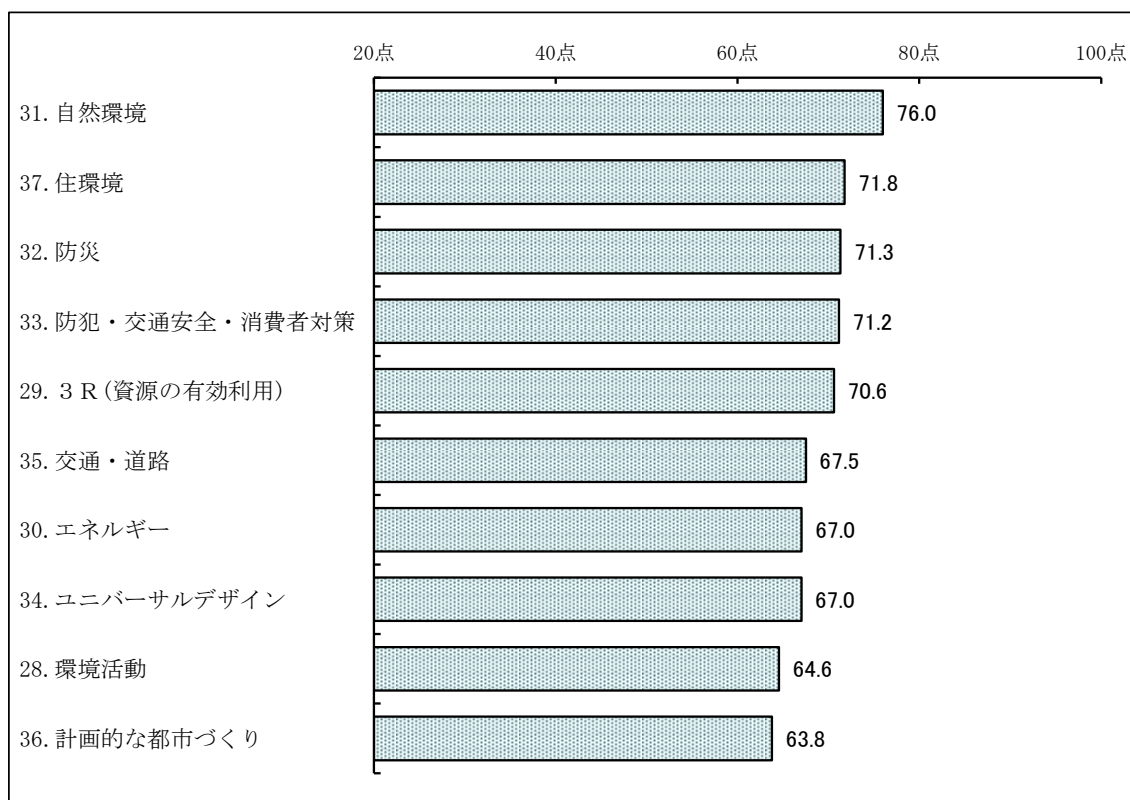
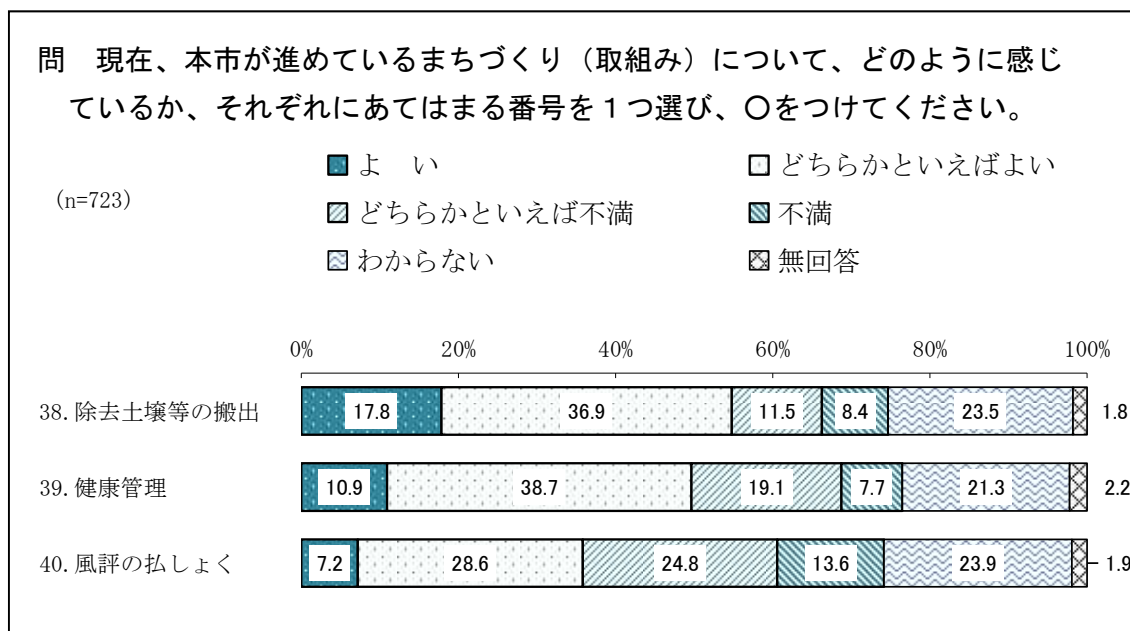


表2-11 暮らしやすいまちの未来への満足度＜性別、年代別平均得点の上位3つ＞

	男性	女性
1位	自然環境 (74.3点)	自然環境 (77.6点)
2位	住環境 (70.1点)	住環境 (73.2点)
3位	防災 (69.1点)	防災 (72.9点)

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
1位	自然環境 (84.6点)	自然環境 (81.7点)	自然環境 (75.4点)	自然環境 (76.2点)	自然環境 (75.6点)	自然環境 (72.8点)	防犯・ 交通安全・ 消費者対策 (77.1点)
2位	防犯・ 交通安全・ 消費者対策 (83.3点)	住環境 (78.1点)	防災 (72.6点)	住環境 (70.2点)	住環境 (70.6点)	防犯・ 交通安全・ 消費者対策 (70.5点)	自然環境 (76.9点)
3位	防災 (80.0点) 住環境 (80.0点)	防災 (73.8点)	3R(資源の 有効利用) (70.7点)	防犯・ 交通安全・ 消費者対策 (69.8点)	3R(資源の 有効利用) (68.4点)	防災 (70.4点)	住環境 (74.7点)

## ⑥ 横断的取組（復興・創生の更なる推進）への満足度



### 横断的取組において

「満足」と思う人が最も多いのは『除去土壌等の搬出』

#### 【全体結果】

『横断的取組』における、各項目に対する満足・不満をみると、「満足（「よい」と「どちらかといえばよい」の合計）」の割合が最も高いのは『38. 除去土壌等の搬出』（54.8%）です。

一方で、「不満（「不満」と「どちらかといえば不満」の合計）」の割合が最も高いのは『40. 風評の払しょく』（38.3%）となっています。

各項目の平均得点を算出した結果を次頁に掲載しました（図 2-7 参照）。

平均得点をみると、『38. 除去土壌等の搬出』が 77.2 点で最も高くなっています。東日本大震災から約 10 年経過し、土壌の搬出等の作業が進み、住環境は整ってきていると考えられます。

一方で、最も低かったのは『40. 風評の払しょく』（67.9 点）でした。郡山製品の安全性の PR、販路の拡大及び観光誘客等が求められていると考えられます。

なお、性別、年代別平均得点の上位 3 つを次頁に掲載しました（表 2-12 参照）。



図 2-7 横断的取組への満足度〈平均得点〉（全体）

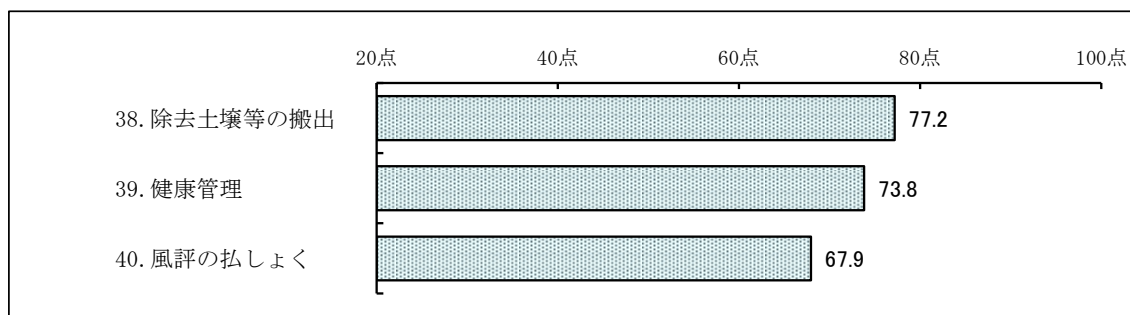


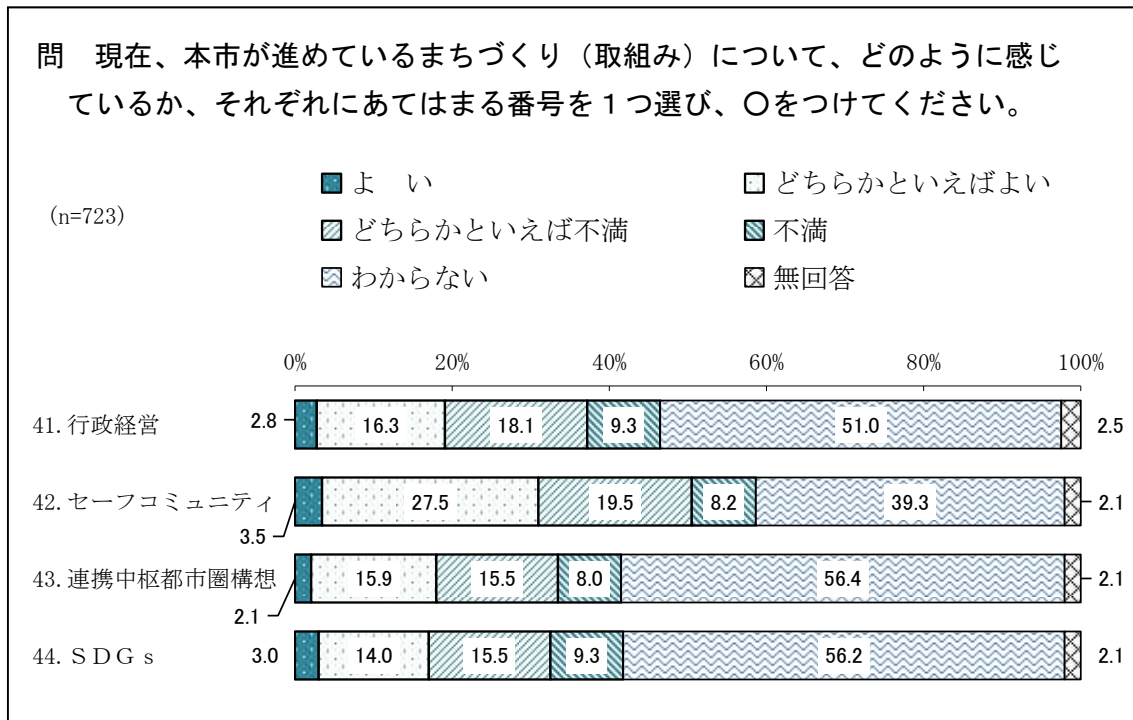
表 2-12 横断的取組への満足度〈性別、年代別平均得点の上位3つ〉

	男性	女性
1位	除去土壌等の搬出 (78.8点)	除去土壌等の搬出 (75.8点)
2位	健康管理 (72.6点)	健康管理 (74.8点)
3位	風評の払しょく (64.5点)	風評の払しょく (70.9点)

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
1位	健康管理 (82.9点)	健康管理 (76.7点)	除去土壌等の搬出 (73.3点)	除去土壌等の搬出 (76.6点)	除去土壌等の搬出 (75.9点)	除去土壌等の搬出 (75.7点)	除去土壌等の搬出 (82.9点)
2位	除去土壌等の搬出 (82.0点)	除去土壌等の搬出 (74.5点)	健康管理 (70.7点)	健康管理 (74.5点)	健康管理 (73.2点)	健康管理 (71.5点)	健康管理 (75.7点)
3位	風評の払しょく (80.0点)	風評の払しょく (71.3点)	風評の払しょく (68.5点)	風評の払しょく (68.8点)	風評の払しょく (68.2点)	風評の払しょく (64.6点)	風評の払しょく (68.0点)

## ⑦基盤的取組

(行政経営・セーフコミュニティ・連携中枢都市圏・SDGs) への満足度



—— 基盤的取組において「満足」と思う人が最も多いのは

『セーフコミュニティ』 ——

### 【全体結果】

『基盤的取組』における、各項目に対する満足・不満をみると、「満足（「よい」と「どちらかといえばよい」の合計）」の割合が最も高いのは『42. セーフコミュニティ』（31.0%）です。

一方で、「不満（「不満」と「どちらかといえば不満」の合計）」の割合が最も高いのも『42. セーフコミュニティ』（27.7%）となっています。

また、『42. セーフコミュニティ』以外すべての項目において「わからない」の割合が5割以上を占めています。事業、施策の推進など、今後もさらに周知していく必要があります。

セーフコミュニティ、連携中枢都市圏構想、SDGsについては、本市が近年取り組んでいる施策ですが、実施時期が早いほど「わからない」の割合が少なくなっています。そのため、具体的な事業推進により市民の認知度を高めることが重要と思われます。

各項目の平均得点を算出した結果を次頁に掲載しました（図 2-8 参照）。

平均得点をみると、『42. セーフコミュニティ』が69.0点で最も高くなっています。

一方で、最も低かったのは『44. SDGs』（65.2点）でした。

なお、性別、年代別平均得点の上位3つを次頁に掲載しました（表 2-13 参照）。

図 2-8 基盤的取組への満足度〈平均得点〉（全体）

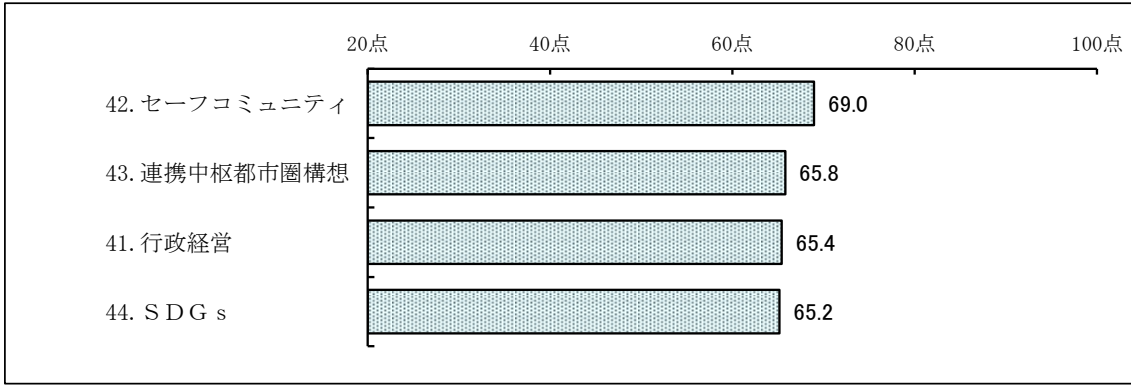


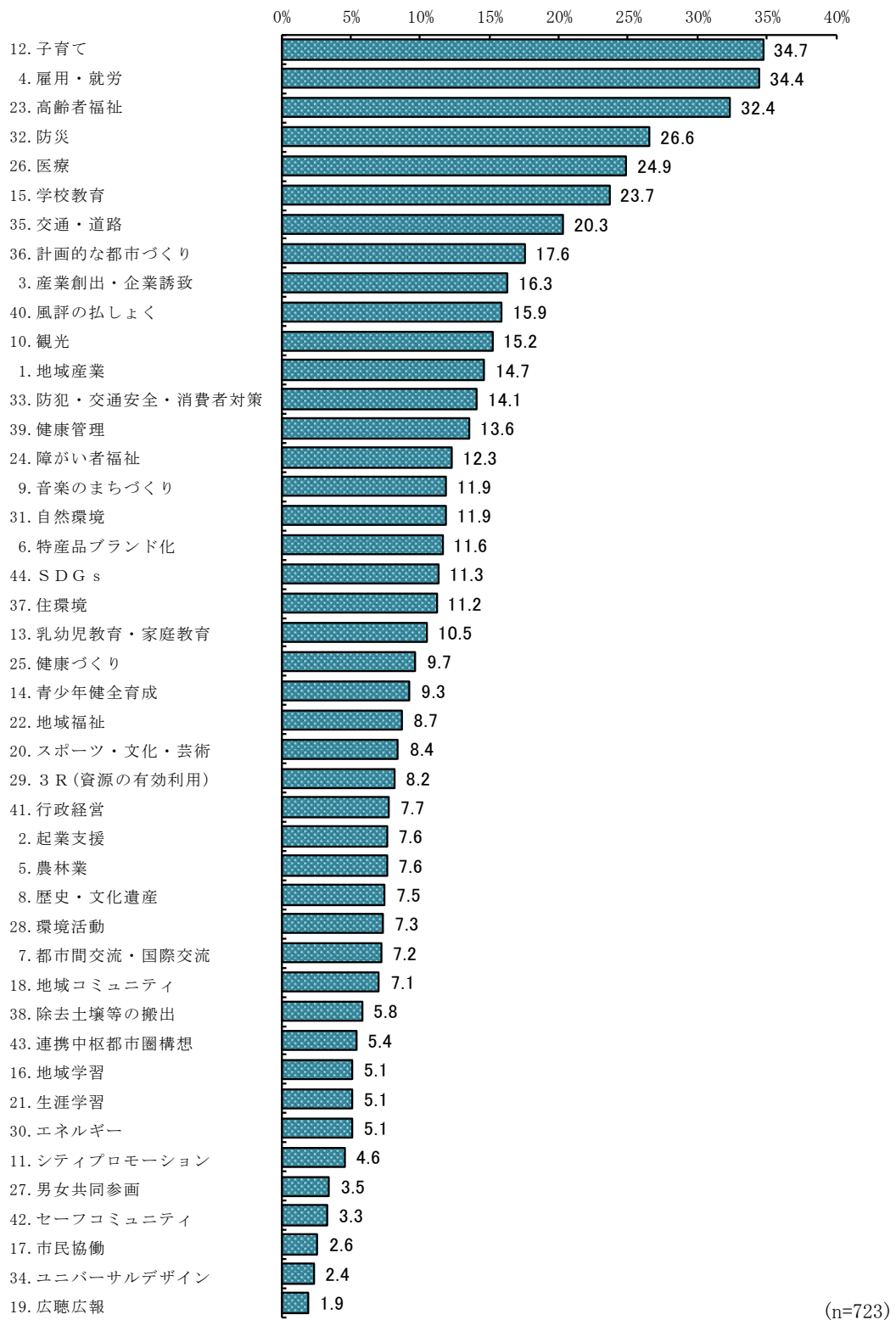
表 2-13 基盤的取組への満足度〈性別、年代別平均得点の上位3つ〉

	男性	女性
1位	セーフコミュニティ (66.9点)	セーフコミュニティ (70.9点)
2位	連携中枢都市圏構想 (64.4点)	SDGs (68.1点)
3位	行政経営 (63.6点)	行政経営 (67.7点)

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
1位	SDGs (82.5点)	セーフコミュニティ (71.7点)	セーフコミュニティ (66.4点)	セーフコミュニティ (69.3点)	セーフコミュニティ (70.6点)	行政経営 (66.4点)	セーフコミュニティ (69.4点)
2位	セーフコミュニティ (78.2点)	SDGs (69.2点)	SDGs (65.1点)	SDGs (66.6点)	行政経営 (65.6点)	セーフコミュニティ (66.2点)	連携中枢都市圏構想 (68.1点)
3位	行政経営 (77.8点)	連携中枢都市圏構想 (67.3点)	行政経営 (62.9点)	連携中枢都市圏構想 (66.1点)	連携中枢都市圏構想 (64.2点)	連携中枢都市圏構想 (65.2点)	行政経営 (66.4点)

(5) 分野別属性別重要度結果 (複数回答)

問 現在、本市が進めているまちづくり (取組み) について、特に重要と思われるものの番号を1~44から5つ選び、その番号に○印をつけてください。



最も重要視されている施策・事業は「子育て」

【全体結果】

『12. 子育て』(34.7%)の割合が最も高くなっています。以下、『4. 雇用・就労』(34.4%)、『23. 高齢者福祉』(32.4%)、『32. 防災』(26.6%)、『26. 医療』(24.9%)の順で続いています。

なお、性別、年代別の上位5つを以下に掲載しました(表2-14参照)。

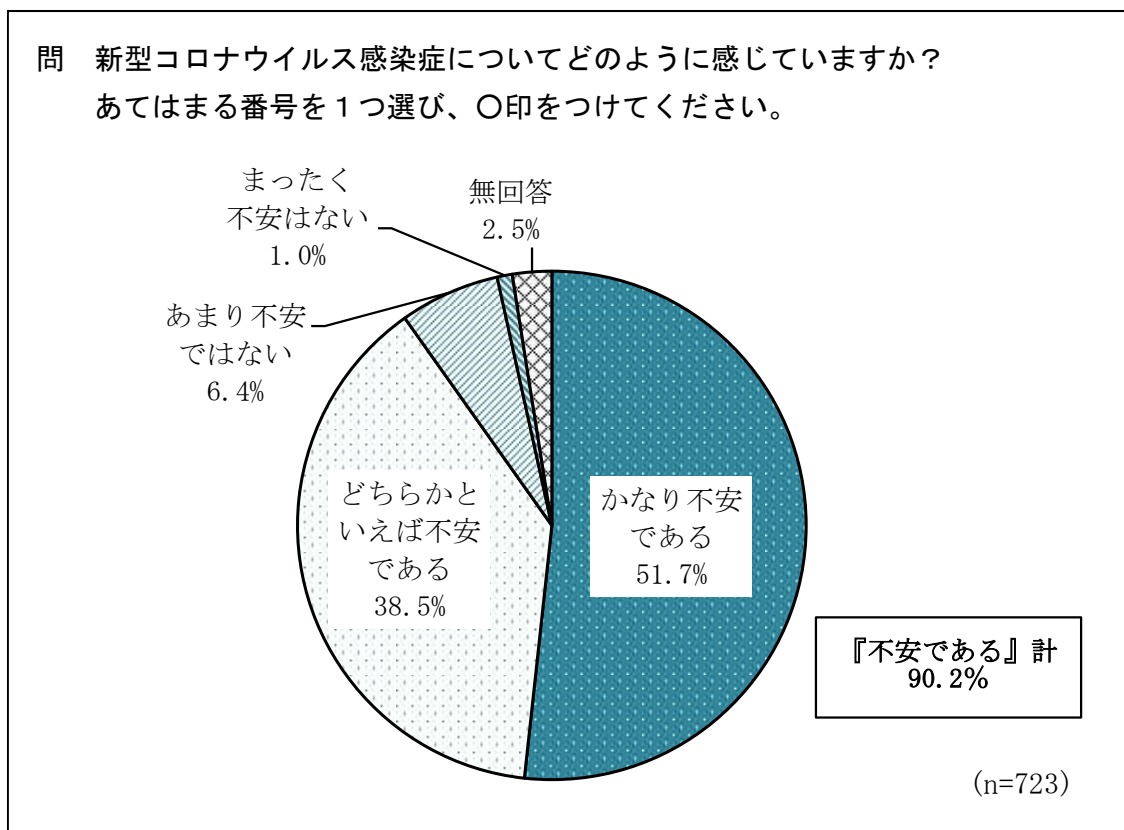
表2-14 これからの取組についての重要度<性別、年代別の上位5つ>

	男性	女性
1位	子育て (34.3%)	雇用・就労 (38.2%)
2位	雇用・就労 (30.8%)	子育て (36.4%)
3位	高齢者福祉 (28.6%)	高齢者福祉 (35.1%)
4位	防災 (28.6%)	医療 (29.0%)
5位	産業創出・ 企業誘致 (23.8%)	防災 (25.6%)

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
1位	雇用・就労 (43.8%)	子育て (55.2%)	子育て (57.7%)	雇用・就労 (44.3%)	雇用・就労 (45.6%)	高齢者福祉 (36.4%)	高齢者福祉 (40.1%)
2位	地域産業 (37.5%)	雇用・就労 (41.4%)	雇用・就労 (35.9%)	子育て (39.7%)	子育て (35.1%)	子育て (27.8%)	医療 (23.0%)
3位	子育て (37.5%)	防災 (32.8%)	学校教育 (33.3%)	防災 (32.8%)	防災 (32.5%)	雇用・就労 (27.2%)	雇用・就労 (22.4%)
4位	スポーツ・ 文化・芸術 (31.3%) 高齢者福祉 (31.3%)	観光 (25.9%) 高齢者福祉 (25.9%) 医療 (25.9%)	医療 (32.1%)	医療 (30.5%)	高齢者福祉 (31.6%)	防災 (22.8%)	健康管理 (21.1%)
5位	医療 (31.3%) 交通・道路 (31.3%)	風評の払しょく (25.9%)	防災 (30.8%)	学校教育 (28.2%)	医療 (28.9%)	産業創出・ 企業誘致 (22.2%)	学校教育 (20.4%)

### 3. 「新しい生活様式」の実現について

#### (1) 新型コロナウイルス感染症への不安感



—— 9割の市民が新型コロナウイルス感染症への不安を感じている ——

#### 【全体結果】

新型コロナウイルス感染症への不安感については、「かなり不安である」(51.7%)と「どちらかといえば不安である」(38.5%)の両者を合計すると『不安である』(90.2%)となっています。

一方、「まったく不安はない」(1.0%)と「あまり不安ではない」(6.4%)を合計すると『不安はない』(7.3%)となっています。

#### 【属性別結果】(図 3-1 参照)

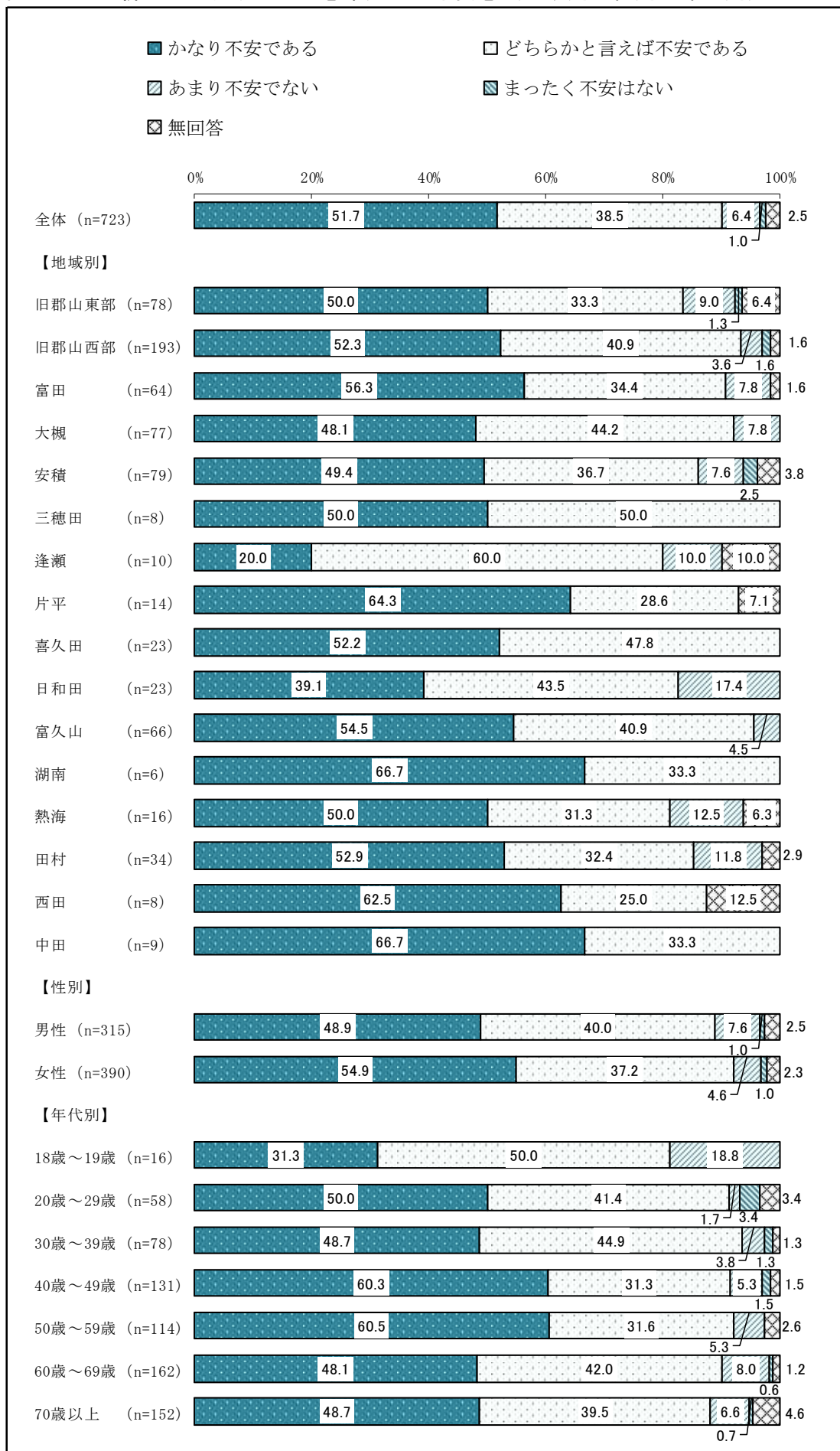
##### ① 性別

『不安である』の割合は、女性(92.1%)の方が男性(88.9%)よりも高くなっています。

##### ② 年代別

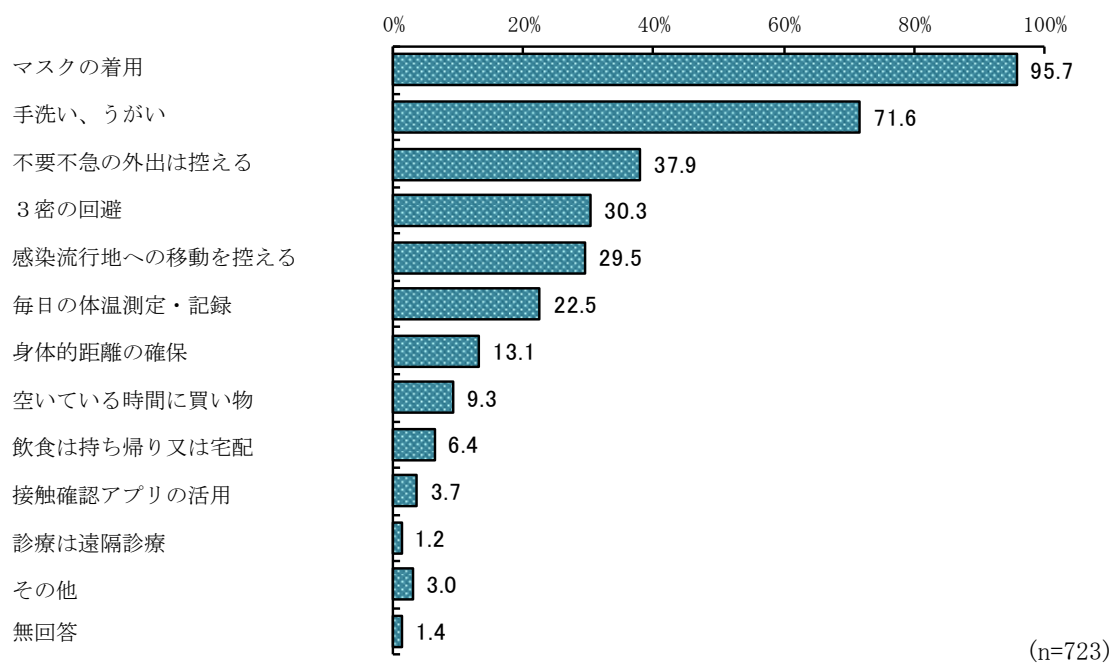
『不安である』の割合は、すべての年代で高く、約9割となっています。最も高いのは30代(93.6%)でした。

図3-1 新型コロナウイルス感染症への不安感（地域別／性別／年代別）



## (2) 新型コロナウイルス感染防止対策（複数回答）

問 新型コロナウイルス感染症の拡大を防ぐために、「新しい生活様式」の中での生活が求められていますが、あなたが日常生活で具体的に実践していることにあてはまる番号を3つ選び、○印をつけてください。



— 実践している対策は1位「マスクの着用」、2位「手洗い、うがい」 —

### 【全体結果】

日常生活で実践していることとして最も多かったのは「マスクの着用」(95.7%)で、次いで、「手洗い、うがい」(71.6%)となっています。

### 【属性別結果】(図 3-2 参照)

#### ① 性別

男性、女性ともに「マスクの着用」が最も多く9割以上となっています。「手洗い、うがい」では、女性(75.4%)の方が男性(67.6%)よりも割合が高くなっています。

#### ② 年代別

すべての年代において「マスクの着用」が9割以上となっています。

また、20代から40代の若い年代ほど「手洗い、うがい」を実施している割合が高くなっています。

一方、60代以上では、「不要不急の外出を控える」の割合が高く、4割以上となっています。

### 【その他意見】

- ・正しい情報、知識の入手。(無回答)
- ・免疫力がある食事をする。(男性・40代)



図3-2 新型コロナウイルス感染防止対策～1/5～（地域別／性別／年代別）

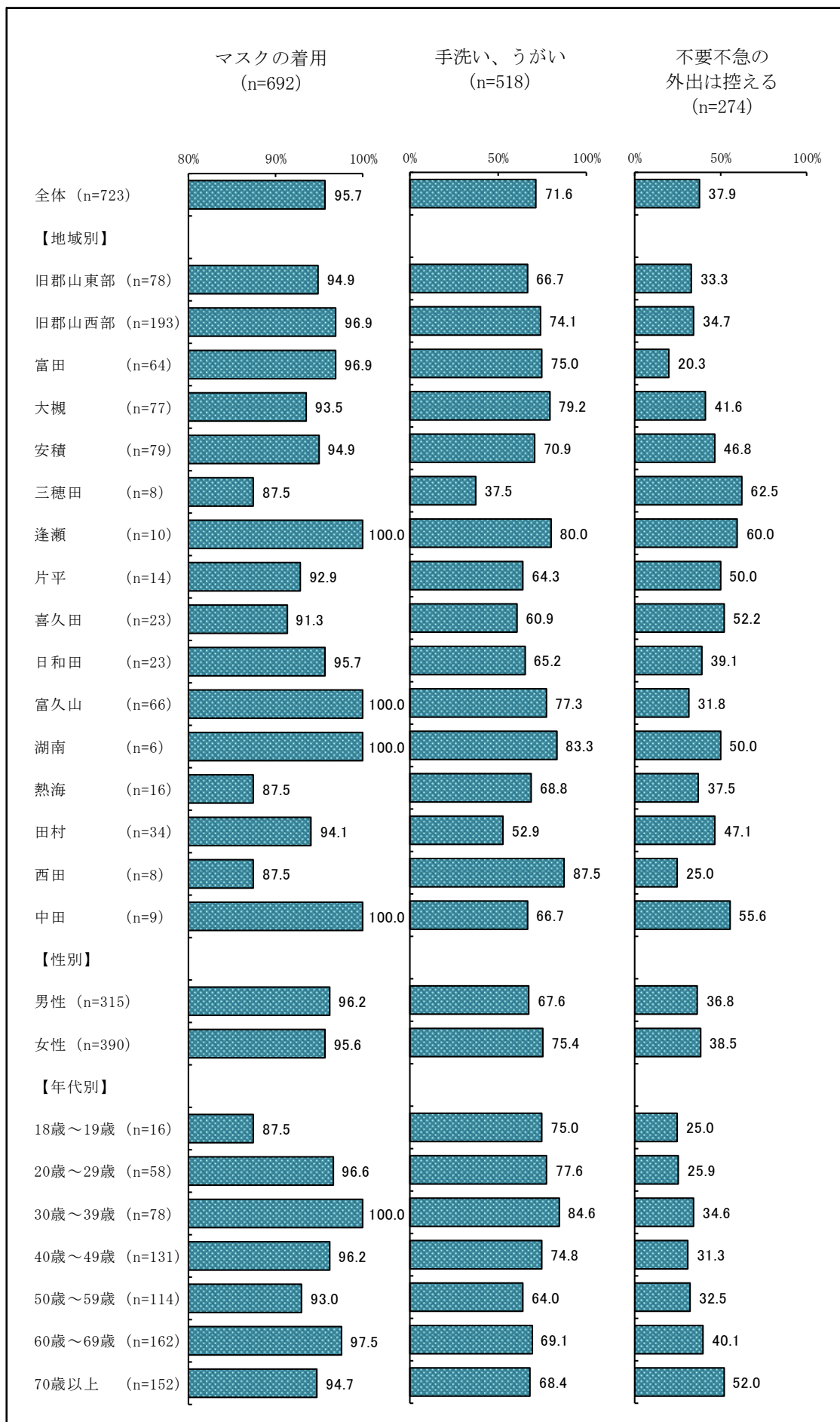


図3-2 新型コロナウイルス感染防止対策～2/5～（地域別／性別／年代別）



図3-2 新型コロナウイルス感染防止対策～3/5～（地域別／性別／年代別）

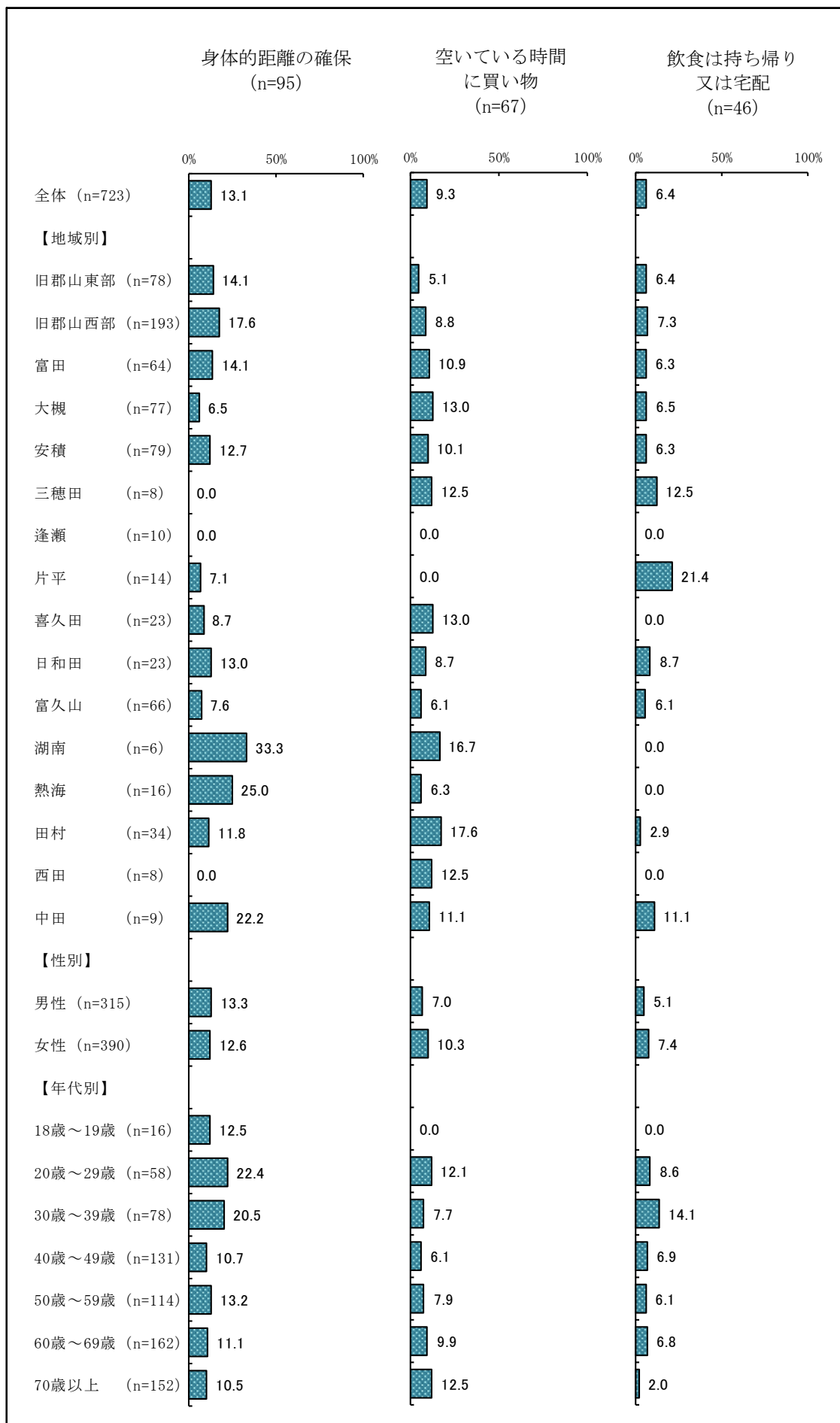


図3-2 新型コロナウイルス感染防止対策～4/5～（地域別／性別／年代別）

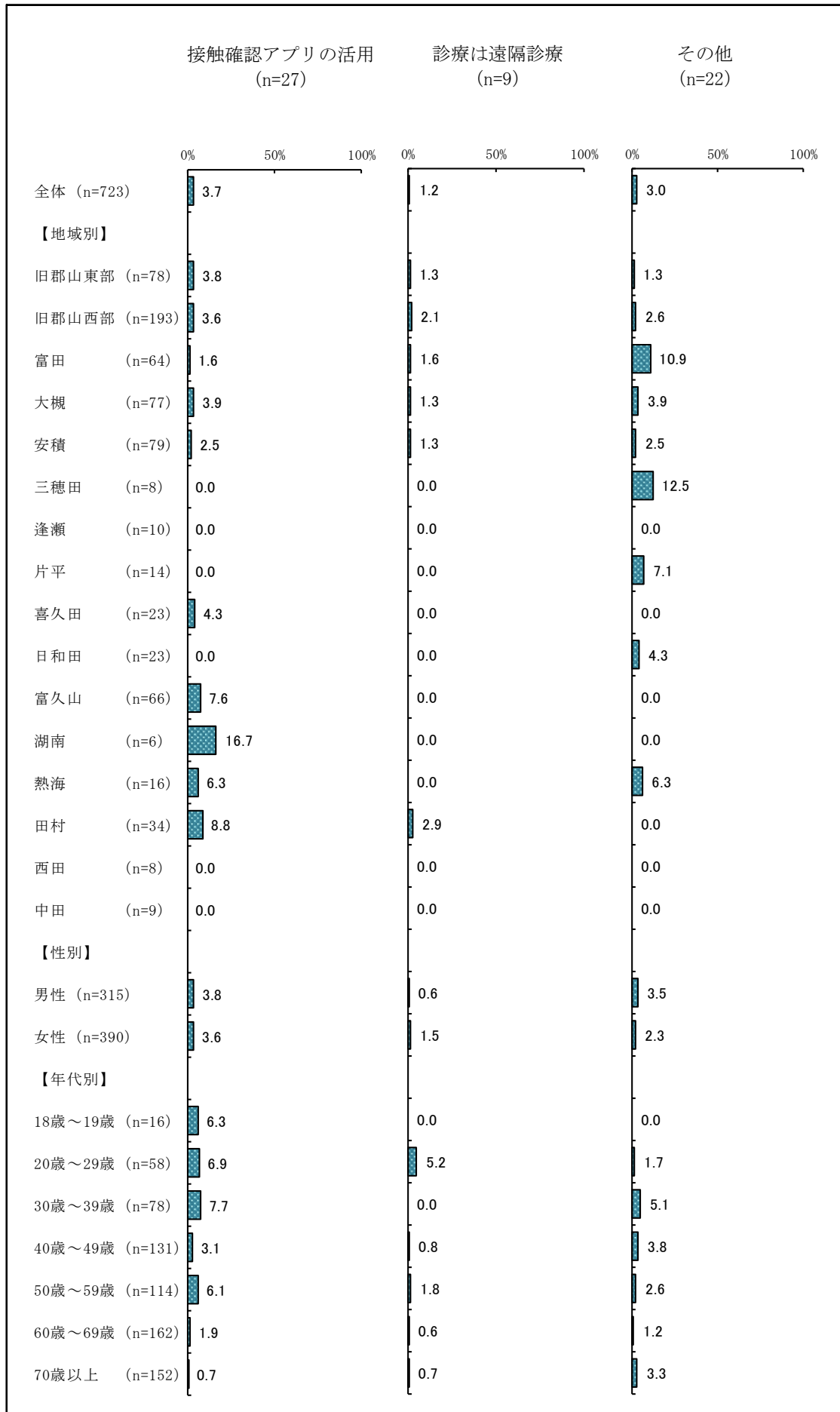
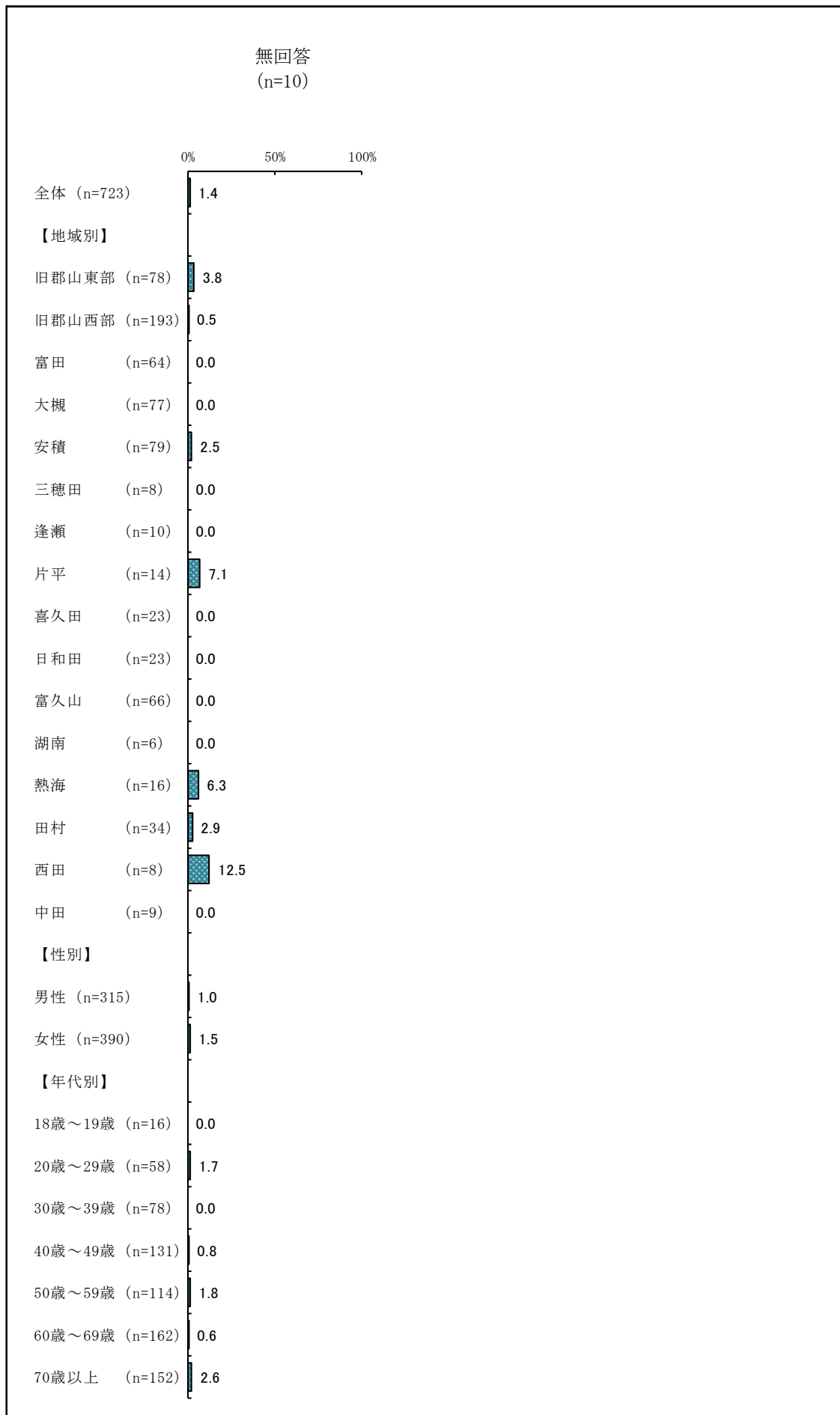
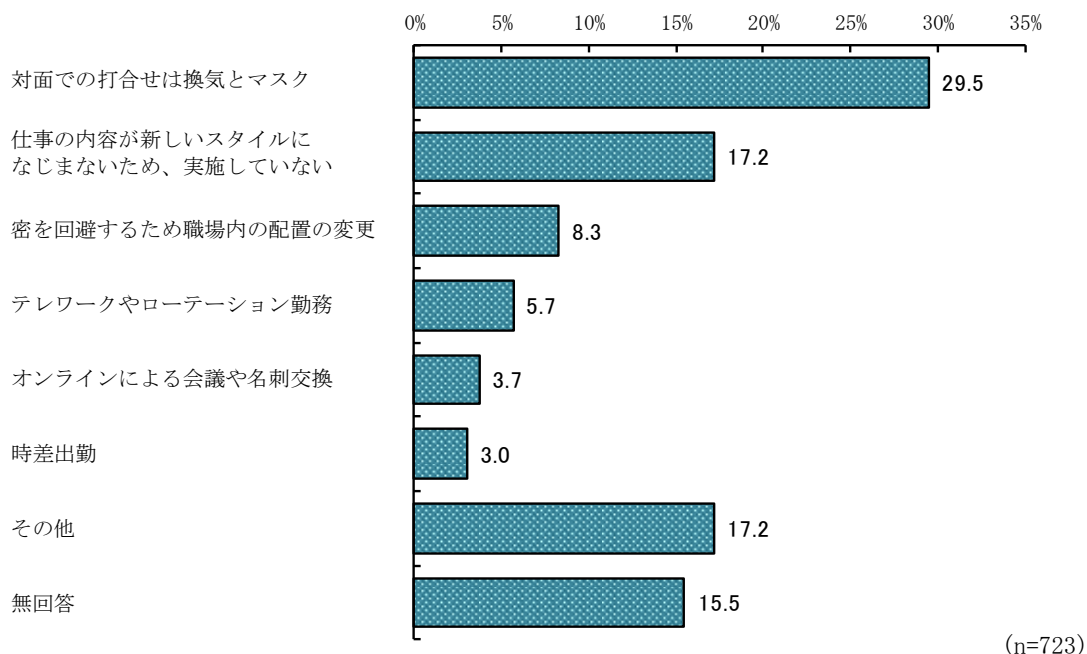


図3-2 新型コロナウイルス感染防止対策～5/5～（地域別／性別／年代別）



### (3) 取り組んでいる「働き方の新しいスタイル」

問 「新しい生活様式」のうち、社会人の方は「働き方の新しいスタイル」を求められていますが、あなたはどのような働き方に取り組んでいますか。  
あてはまる番号を1つ選び、○印をつけてください。



— 3割の市民が「対面での打合せは換気とマスク」と回答—

#### 【全体結果】

働き方の新しいスタイルとして「対面での打合せは換気とマスク」(29.5%)の割合が最も高く、67.4%が働き方の新しいスタイルに取り組んでいる一方、「仕事の内容が新しいスタイルになじまないため、実施していない」が17.2%となっています。

#### 【属性別結果】(図 3-3 参照)

##### ① 性別

男性、女性ともに「対面での打合せは換気とマスク」の割合が最も高くなっています。

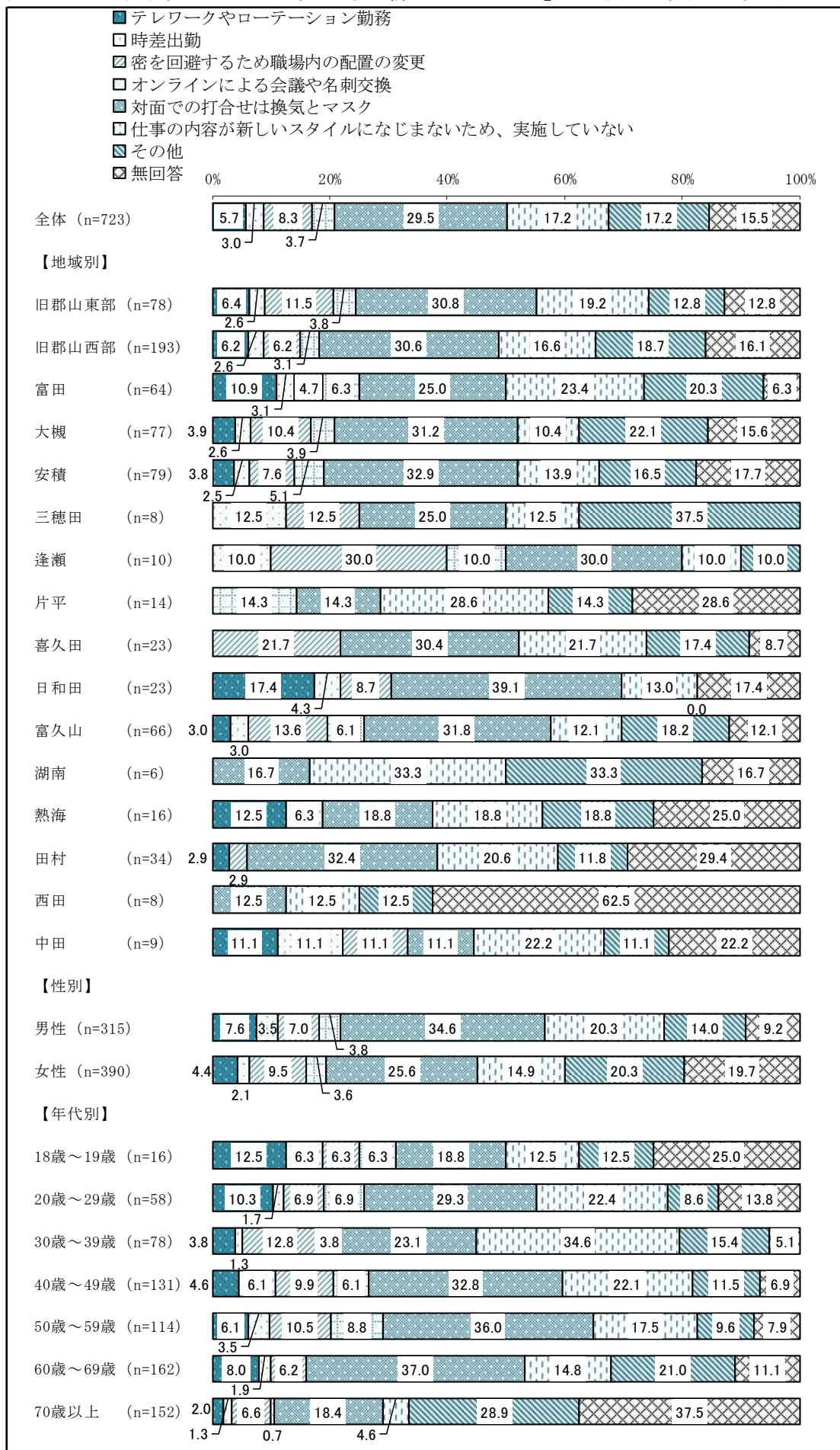
##### ② 年代別

「対面での打合せは換気とマスク」は、20代及び40代から60代で3割前後と高くなっています。30代では「仕事の内容が新しいスタイルになじまないため、実施していない」が3割以上と最も高くなっています。

#### 【その他意見】

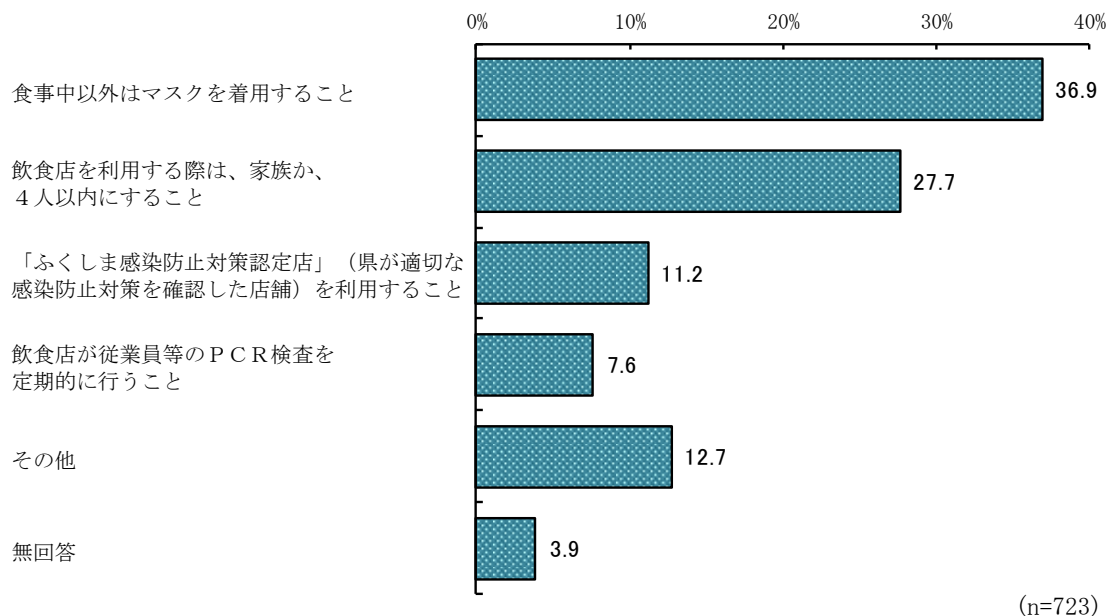
- ・医療関係の仕事のため、感染の疑いがあっても回避できないが、防護服の着用などで予防を徹底している。(女性・40代)
- ・農作業。(女性・60代)
- ・個人事業、基本一人。(男性・40代)

図3-3 取り組んでいる「働き方の新しいスタイル」(地域別/性別/年代別)



#### (4) 飲食場面での感染を減少させる取組み

問 最近の新型コロナウイルスの感染状況は、飲食の場面における感染が増えているとも指摘されています。どのような取組みを行うと飲食の場面の感染が減少すると思いますか。あてはまる番号を1つ選び、○印をつけてください。



— 3割半ばの市民が「食事中以外はマスクを着用すること」と回答 —

#### 【全体結果】

感染を減少させるとされている取組みとしては、「食事中以外はマスクを着用すること」(36.9%)が最も割合が高く、次いで「飲食店を利用する際は、家族か、4人以内にする」(27.7%)が高くなっています。

#### 【属性別結果】(図 3-4 参照)

##### ① 性別

男性、女性ともに「食事中以外はマスクを着用すること」の割合が最も高くなっています。「飲食店を利用する際は、家族か、4人以内にする」は女性(30.0%)の方が男性(25.1%)よりも高くなっています。

##### ② 年代別

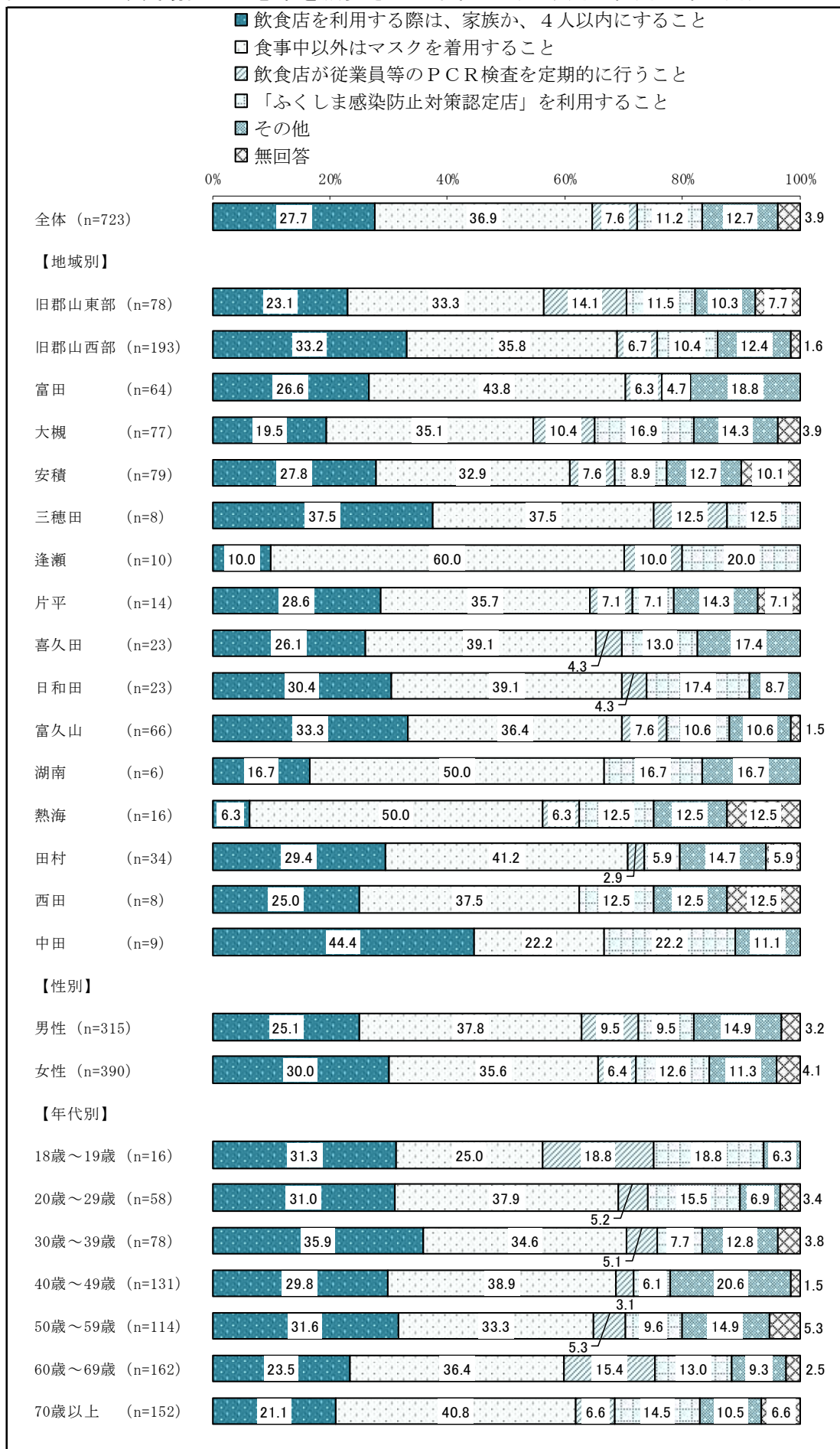
30代以外では「食事中以外はマスクを着用すること」の割合が最も高くなっています。30代では「飲食店を利用する際は、家族か、4人以内にする」の割合が最も高くなっています。

#### 【その他意見】

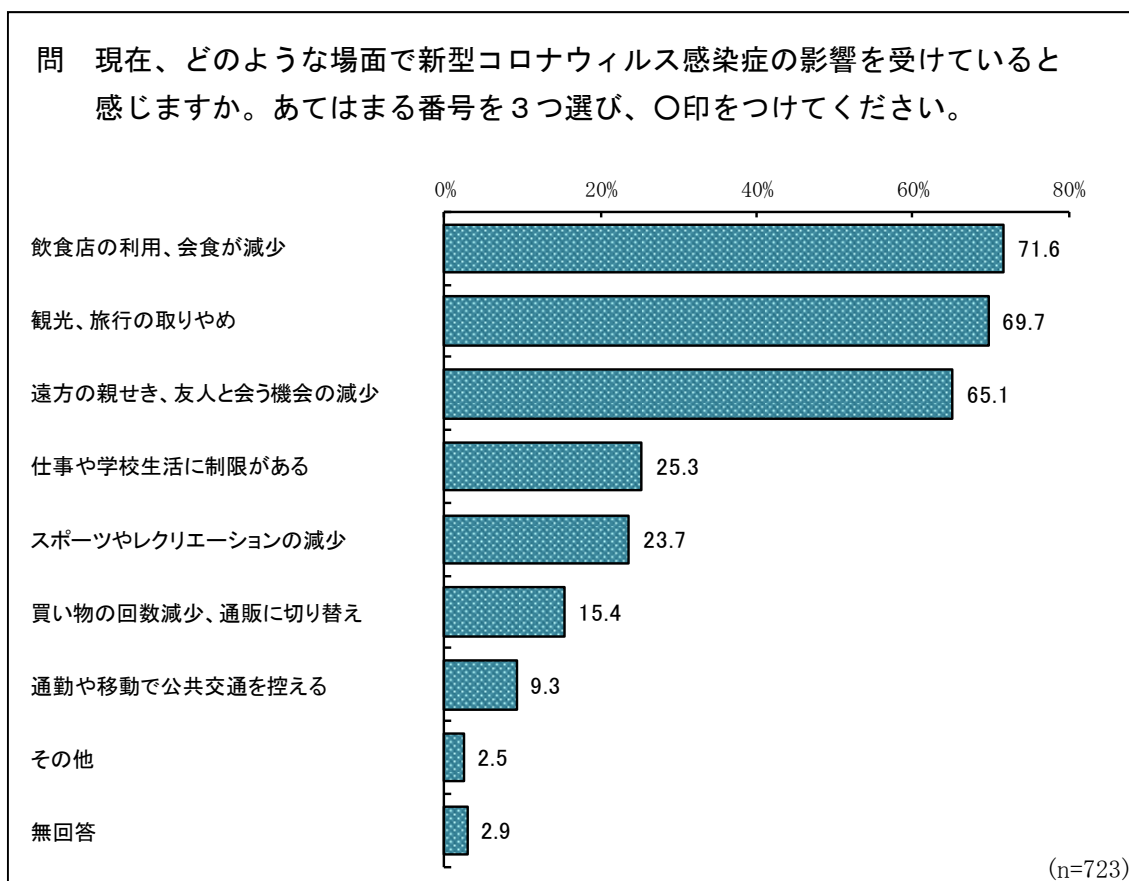
- ・一定期間休業。(女性・20代)
- ・なるべく飲食店を利用しない。利用する際は、テイクアウトを使う。(男性・50代)
- ・飲食店を利用する側への防止協力を強く求めるべきだと思う。(男性・70代以上)



図3-4 飲食場面での感染を減少させる取組み（地域別／性別／年代別）



## (5) 新型コロナウイルス感染症の影響（複数回答）



— 7割が「飲食店の利用、会食が減少」「観光、旅行の取りやめ」と回答 —

### 【全体結果】

新型コロナウイルス感染症の影響については、「飲食店の利用、会食が減少」(71.6%)、「観光、旅行の取りやめ」(69.7%)、「遠方の親せき、友人と会う機会の減少」(65.1%)となっています。

### 【属性別結果】(図 3-5 参照)

#### ① 性別

「遠方の親せき、友人と会う機会の減少」では、女性の方が男性よりも7.8ポイント、「スポーツやレクリエーションの減少」では、男性の方が女性よりも6.8ポイント高くなっています。

#### ② 年代別

20代、50代以上では「飲食店の利用、会食が減少」、30代から40代では「観光、旅行の取りやめ」が最も高い割合となっています。

### 【その他意見】

- ・ 葬儀、法事が制限される。(女性・60代)
- ・ 関連する業務の増加。(男性・40代)
- ・ 通院しづらい。(男性・40代)

図3-5 新型コロナウイルス感染症の影響～1/3～（地域別／性別／年代別）

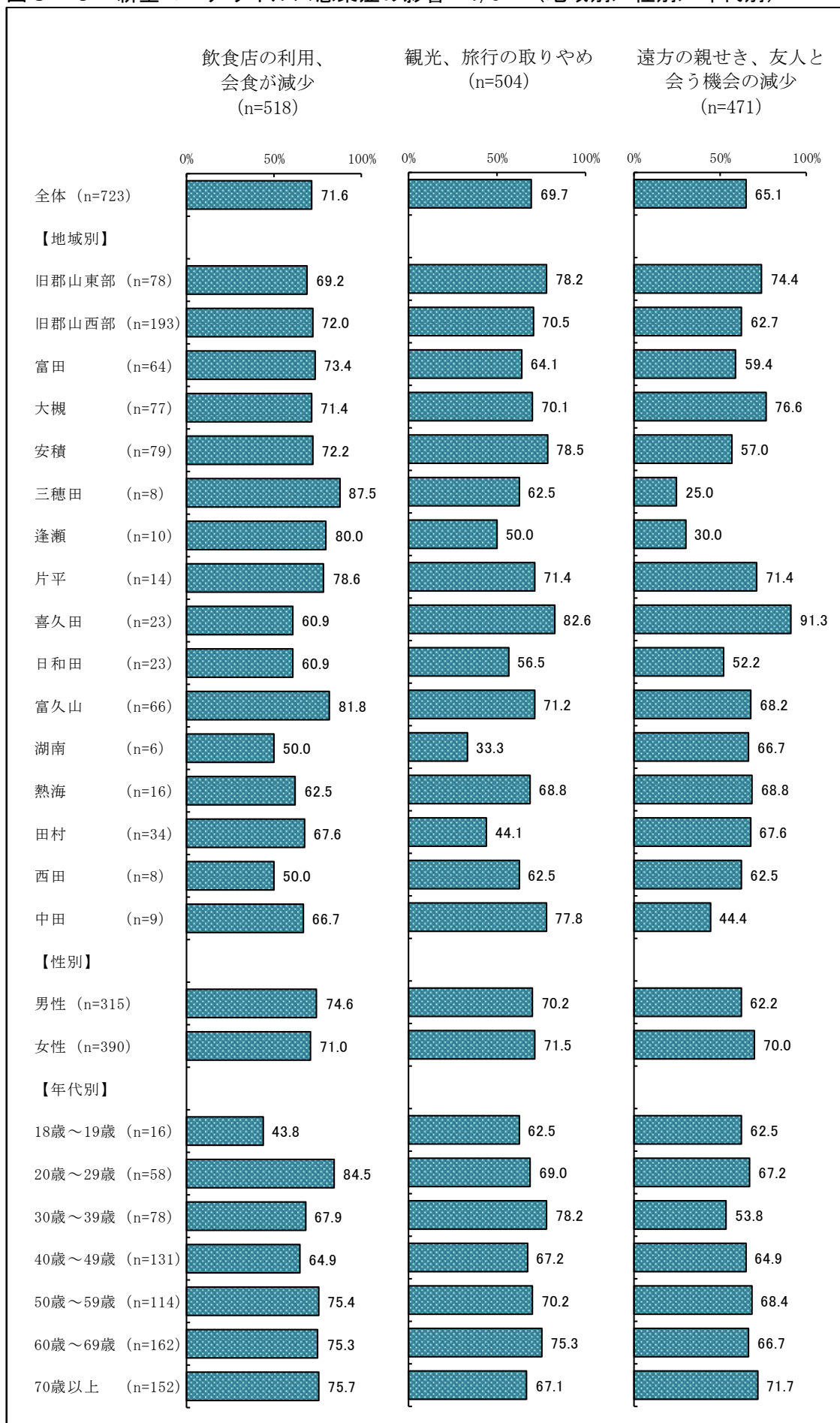


図3-5 新型コロナウイルス感染症の影響～2/3～（地域別／性別／年代別）

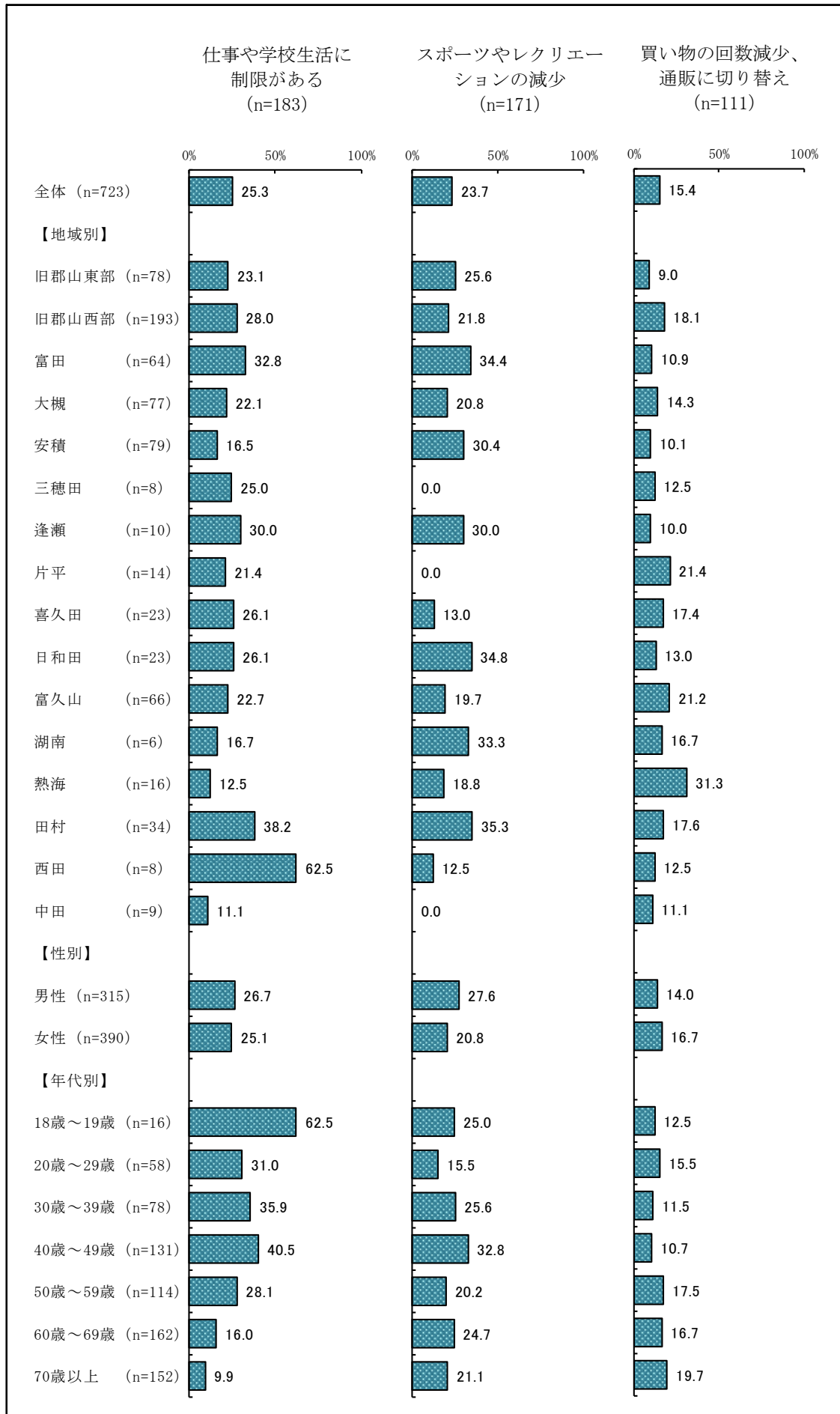
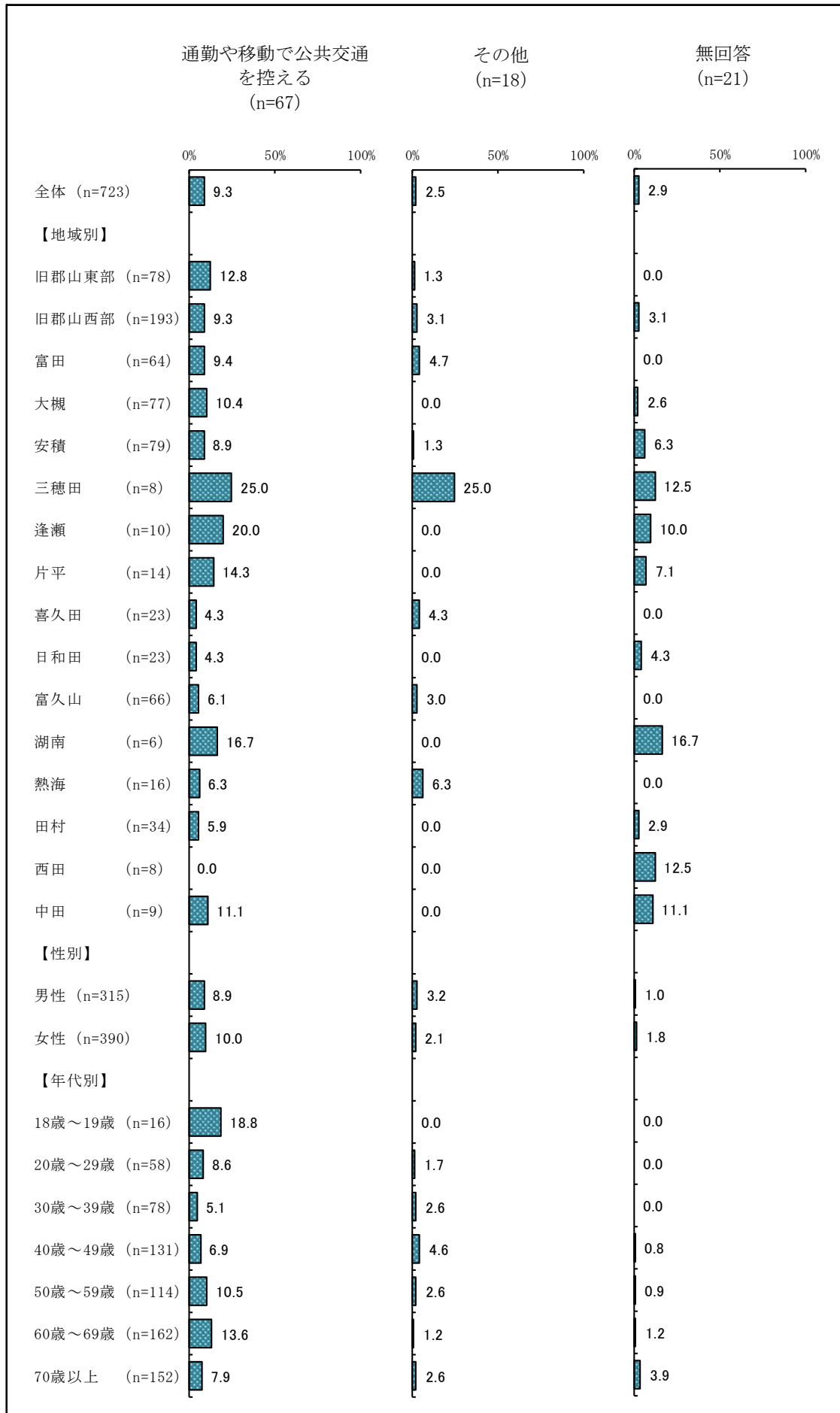
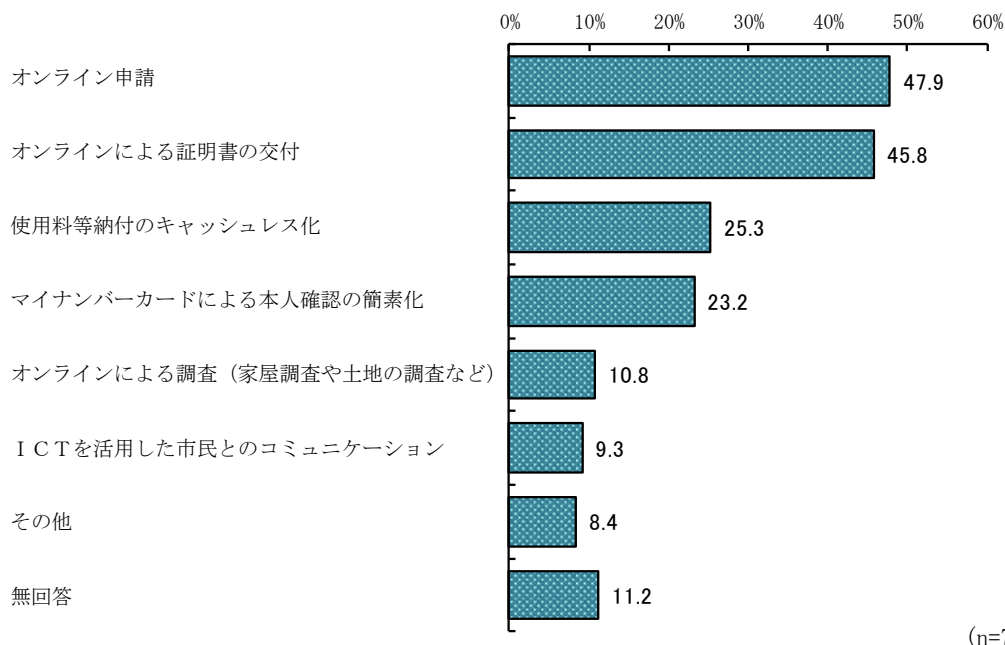


図3-5 新型コロナウイルス感染症の影響～3/3～（地域別／性別／年代別）



## (6) 必要だと思う行政サービス（複数回答）

問 感染防止対策の観点から、できるだけ人と会わない又は短時間で用件が済ませられるような社会の仕組みが求められています。行政サービスでもこういった仕組みの導入を検討していますが、どのようなサービスが必要だと思いますか。あてはまる番号を2つ選び、○印をつけてください。



— 4割以上が「オンライン申請」「オンラインによる証明書の交付」と回答 —

### 【全体結果】

必要だと思う行政サービスとしては、「オンライン申請」(47.9%)、「オンラインによる証明書の交付」(45.8%)の割合が高くなっています。次いで「使用料等納付のキャッシュレス化」(25.3%)と「マイナンバーカードによる本人確認の簡素化」(23.2%)が続いています。

### 【属性別結果】(図 3-6 参照)

#### ① 性別

男性では「オンラインによる証明書の交付」(47.3%)、女性では「オンライン申請」(52.1%)が最も高い割合となっています。

#### ② 年代別

30代、50代以外では「オンライン申請」が、30代、50代では「オンラインによる証明書の交付」が最も高い割合となっています。

### 【その他意見】

- ・PC環境が整っていない世帯へのきめ細やかな電話対応。(女性・40代)
- ・高齢者がデジタル化に対応できるようなフォロー。(女性・50代)
- ・オンラインですべてがカバーできるとは思えない。質問のような社会の仕組みが求められているとは思えない。(男性・30代)

図3-6 必要だと思う行政サービス～1/3～（地域別／性別／年代別）

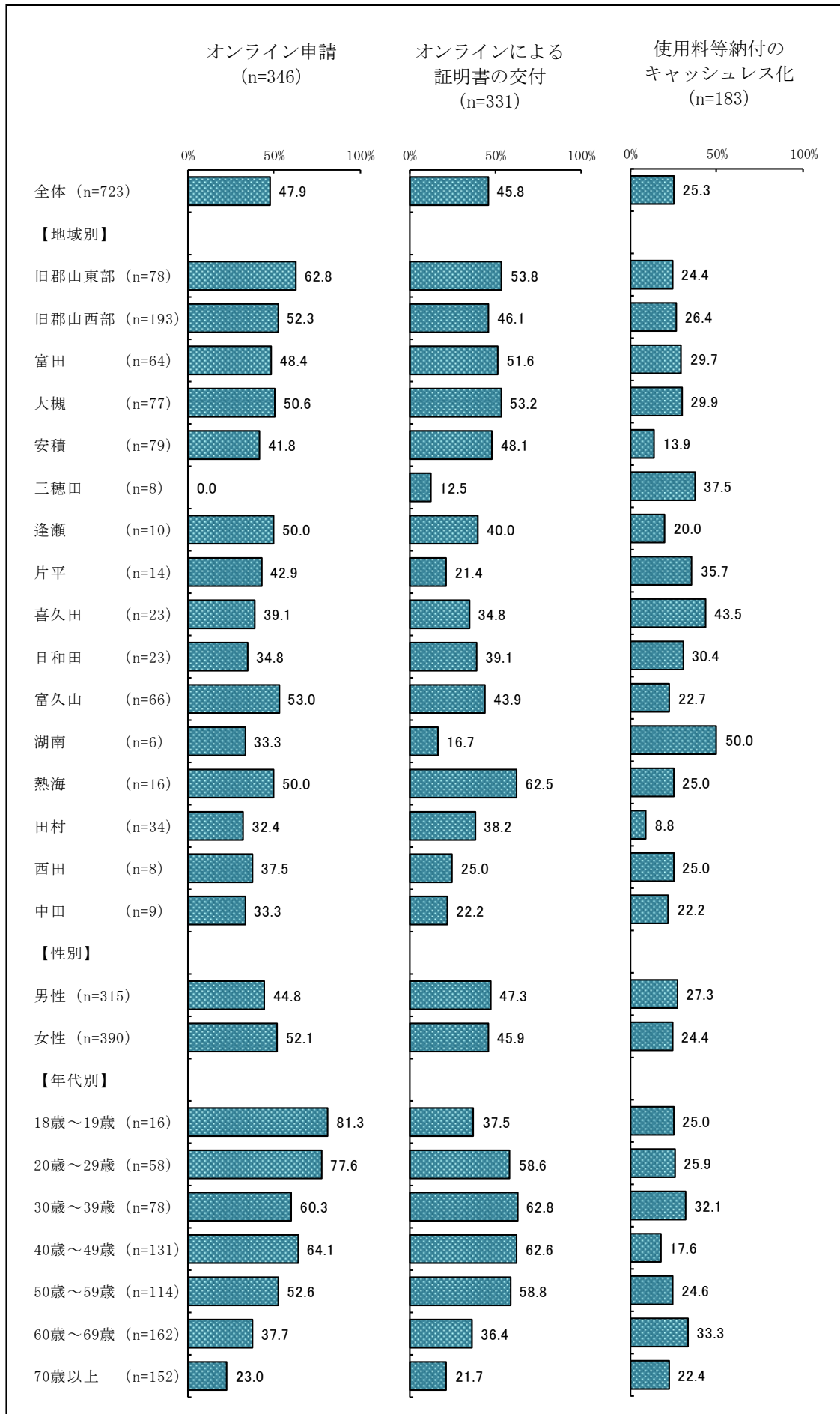




図3-6 必要だと思う行政サービス～2/3～（地域別／性別／年代別）

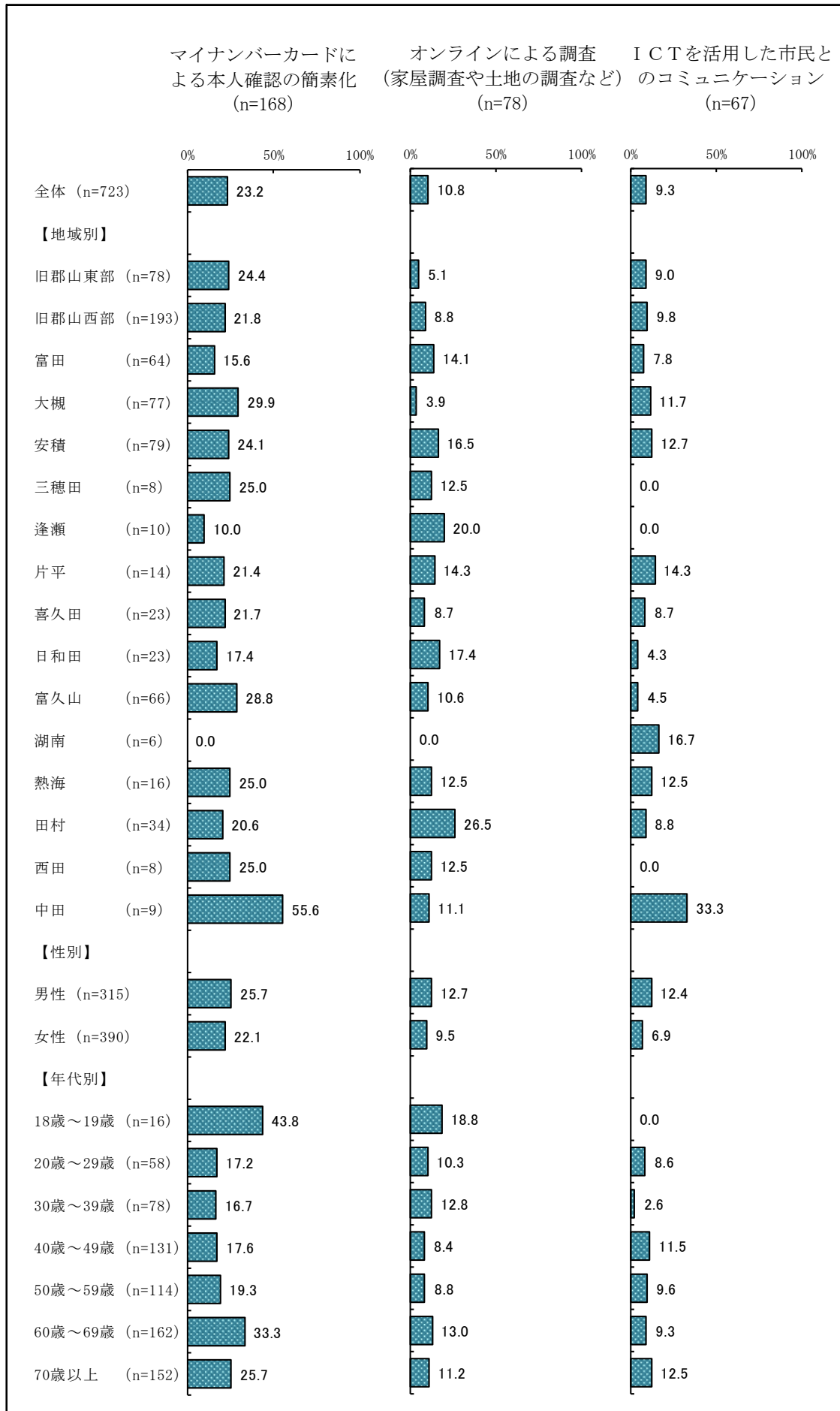
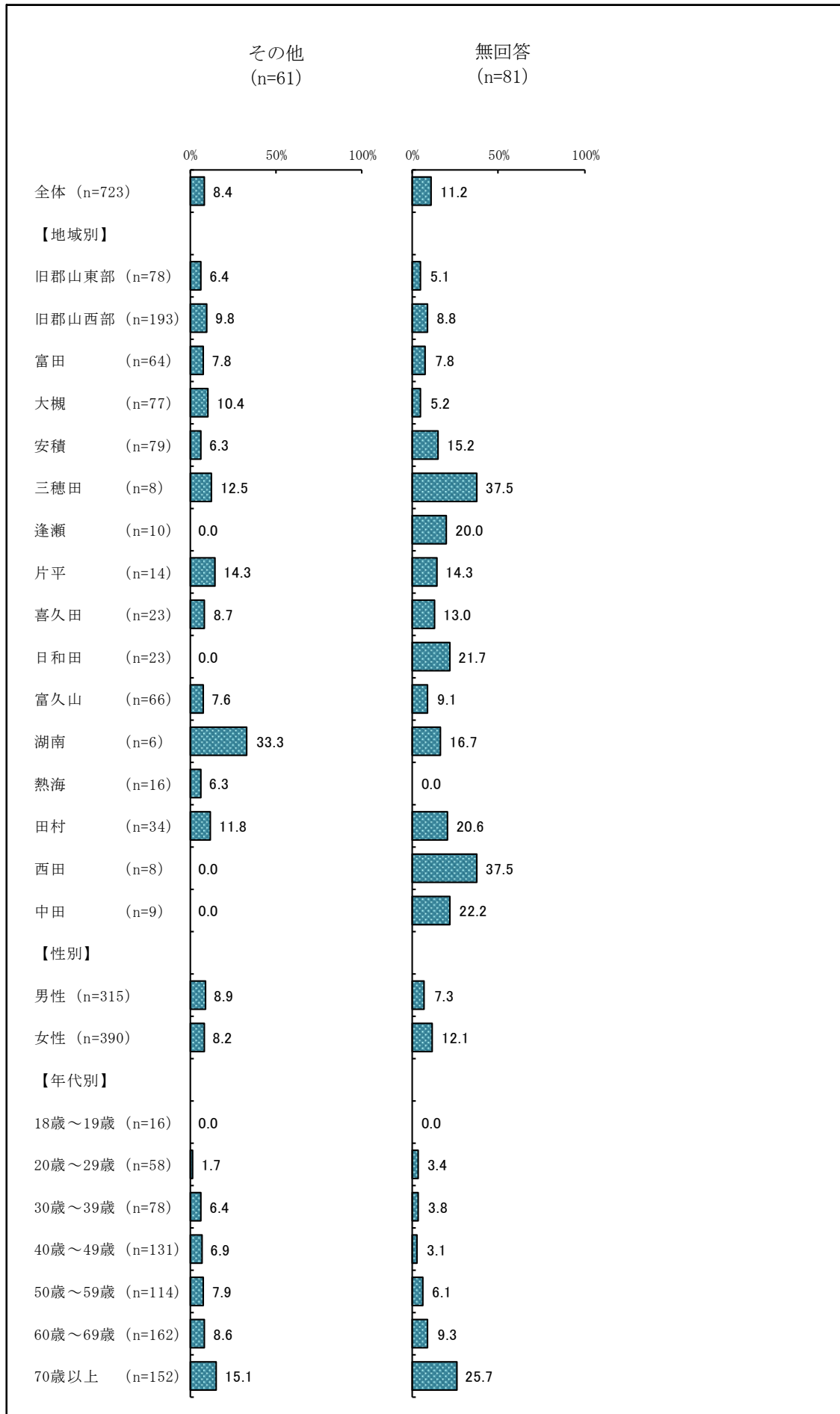


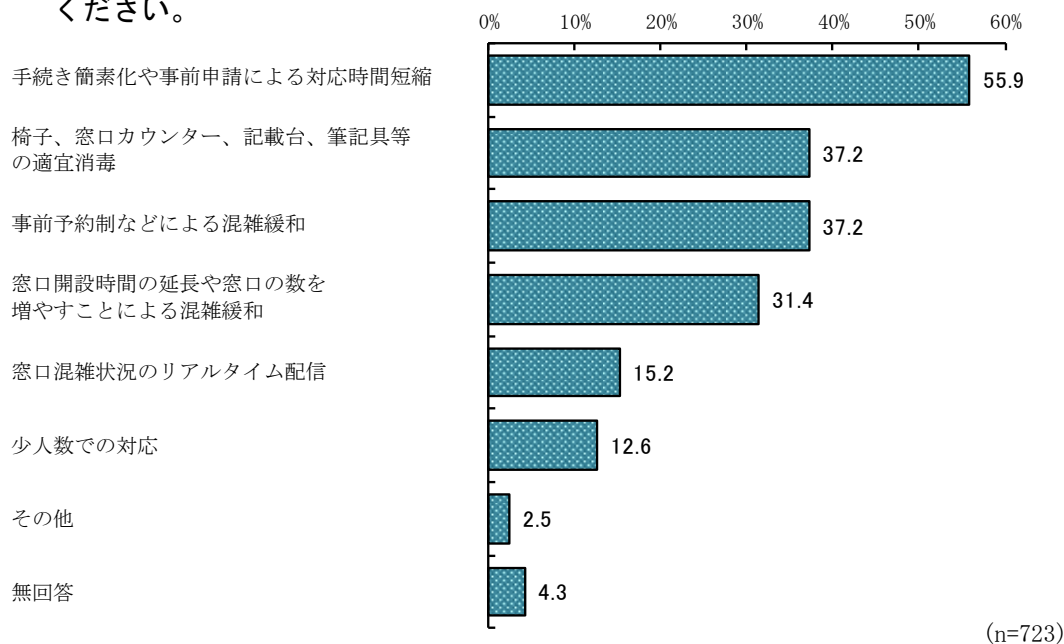


図3-6 必要だと思う行政サービス～3/3～（地域別／性別／年代別）



(7) 安心して行政サービスを受けるために重要な対策（複数回答）

問 行政サービスは、3密回避等の感染防止対策をとりながら行っていますが、  
 どのような感染防止対策が施されていればより安心してサービスを受けること  
 ができると思いますか。特に重要だと思われる番号を2つ選び、○印をつけて  
 ください。



— 5割以上が「手続き簡素化や事前申請による対応時間短縮」と回答 —

【全体結果】

重要だと思われる対策としては、「手続き簡素化や事前申請による対応時間短縮」(55.9%)が最も多く、次いで「椅子、窓口カウンター、記載台、筆記具等の適宜消毒」(37.2%)と「事前予約制などによる混雑緩和」(37.2%)、そして「窓口開設時間の延長や窓口の数を増やすことによる混雑緩和」(31.4%)が続いています。

【属性別結果】(図 3-7 参照)

① 性別

「椅子、窓口カウンター、記載台、筆記具等の適宜消毒」では、女性の方が男性よりも10.2ポイント高くなっています。

② 年代別

「手続き簡素化や事前申請による対応時間短縮」は、すべての年代で5割以上と高くなっています。「事前予約制などによる混雑緩和」、「窓口開設時間の延長や窓口の数を増やすことによる混雑緩和」は、20代で他の年代より割合が高くなっています。

【その他意見】

- ・ 予約の取りやすさ。(女性・30代)
- ・ 民間へのテレワークや時差出勤を推奨するだけでなく、行政も各種受付などは土日も行い分散させる。(男性・30代)
- ・ 早急にワクチン接種。(男性・40代)

図3-7 安心して行政サービスを受けるために重要な対策～1/3～  
 (地域別/性別/年代別)

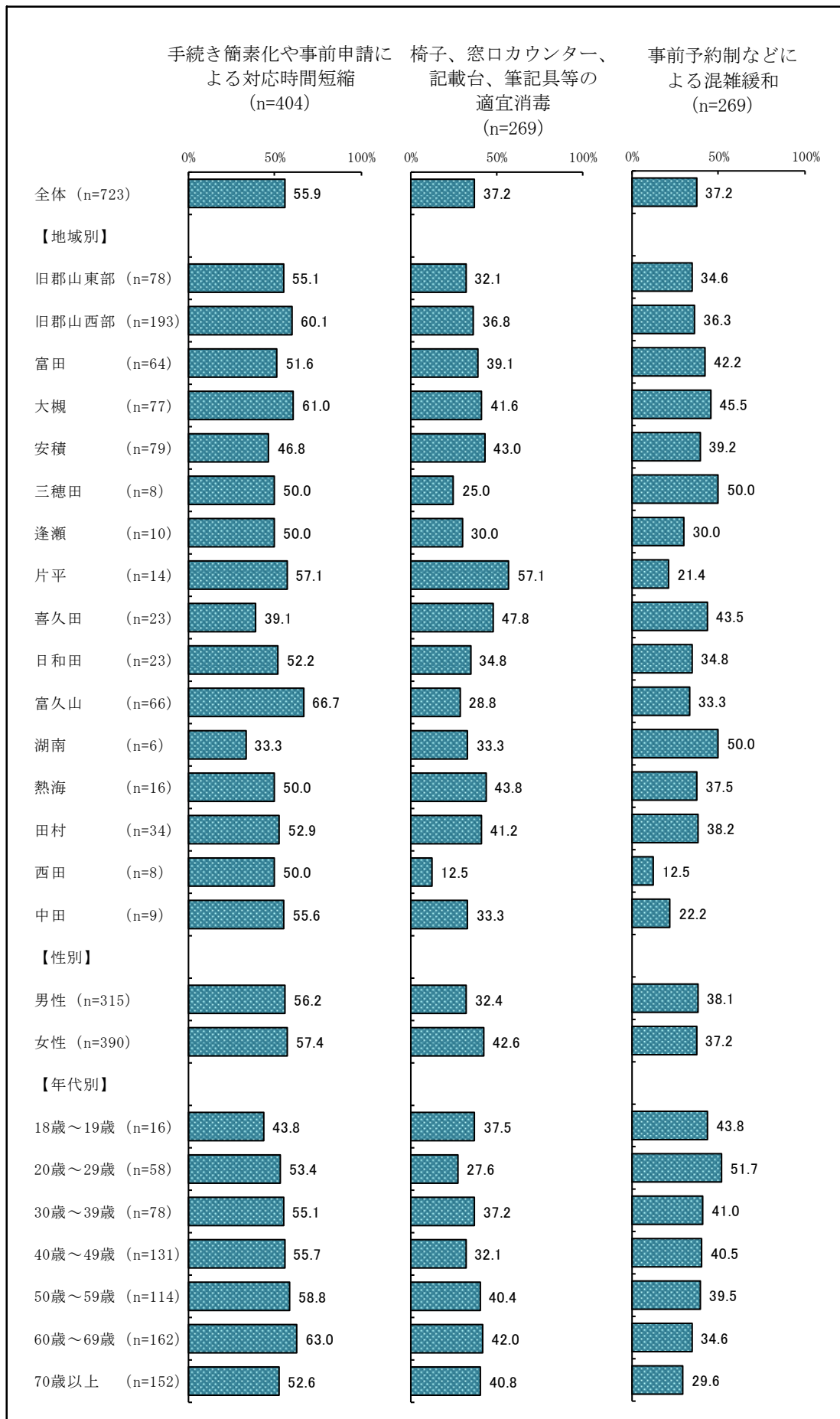
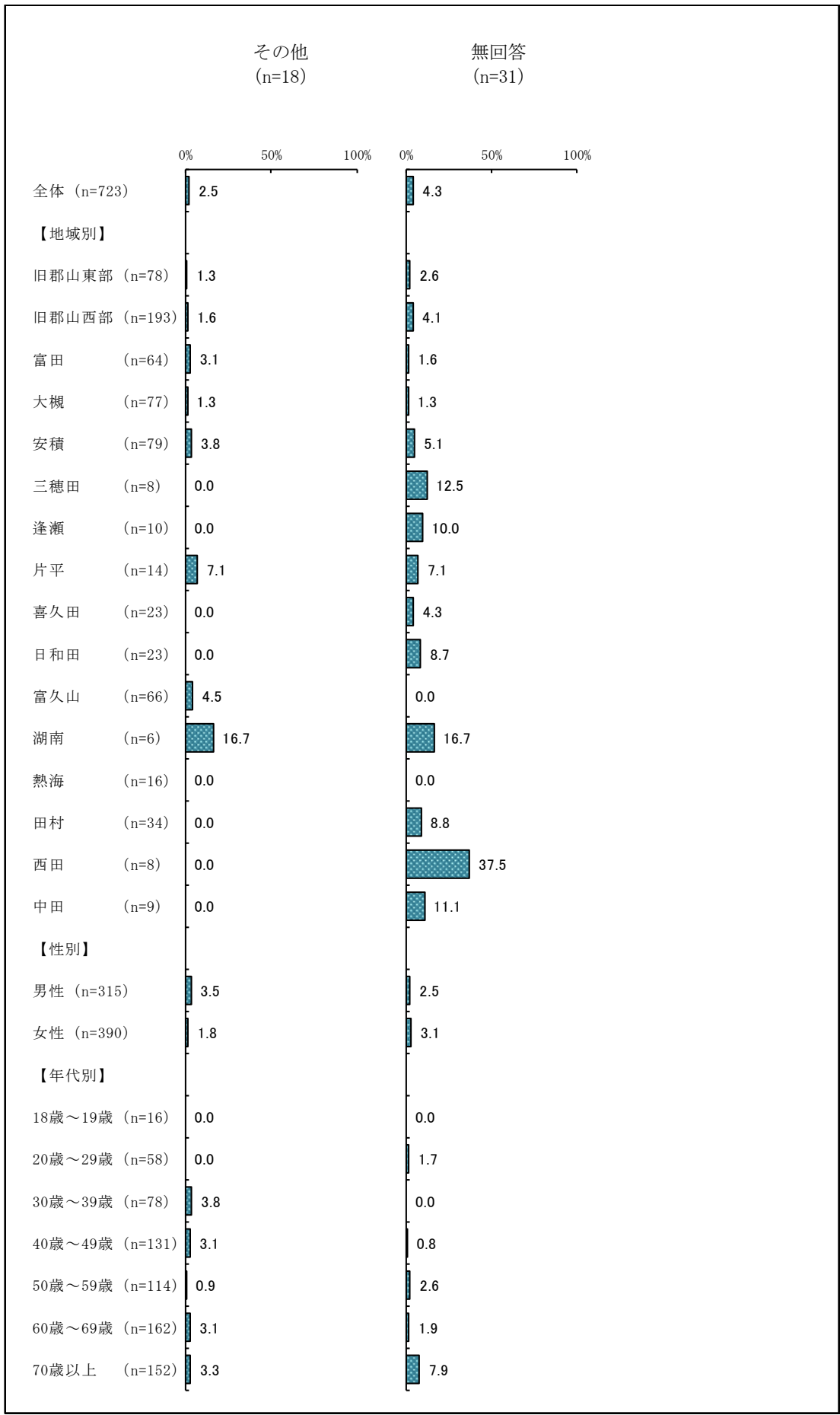


図3-7 安心して行政サービスを受けるために重要な対策～2/3～  
(地域別/性別/年代別)



図3-7 安心して行政サービスを受けるために重要な対策～3/3～  
 (地域別/性別/年代別)



## (8) 「新しい生活様式」の実現についての意見や提案

問 「新しい生活様式」の実現について、ご意見やご提案がありましたら、ご自由にお書きください。(自由記載)

「新しい生活様式」の実現についてたくさんのご意見が寄せられました。その中から、主な意見を抜粋し、掲載しました。

### 【広報関係】

- ・ 具体的にどう生活するかをPRすること。毎日PRしなければ、普及は難しい。(男性・50代)
- ・ 子どもを持つ親として、子どもの安心安全が一番大事です。制限がある中でも学校や先生方、子ども達は感染防止対策をしっかり守っています。子ども達にできて大人にできない事ではないので、対策を守らない一部の大人の意識が変わるような呼びかけを強化して欲しいです。(女性・40代)

### 【オンライン関係】

- ・ 高齢者は、オンラインなど必ずしもインターネット環境にあるとは限らないので、時代についていけない人も出てくる。(女性・50代)
- ・ オンラインなどは大変便利だと思いますが、年齢が高い者にとっては、何も覚えられません。広報紙などで詳しく説明などしてもらえたら、是非活用したいと思うのですが……。キャッシュレスの仕方なども。(男性・70代以上)

### 【対策関係】

- ・ コロナの影響による収入減対策として、行政としても策を出すなどして欲しい。→給付金や減税など。マスクやアルコール消毒液を購入した際の費用負担をやって欲しい。(男性・40代)
- ・ いつでも、どこでも気軽にPCR検査が無料で出来るようになれば、ありがたい。(男性・60代)
- ・ コロナワクチン接種が充分実施されないうちは、新しい生活様式をすすめても、安心して生活できない。まずは、医療の充実を考えて欲しい。(女性・50代)
- ・ 感染人数を発表するだけでなく、郡山市独自の対策を目に見えるカタチで動いてほしい。(男性・40代)
- ・ 飲食店への支援をもっとしっかりと行うべき。(男性・30代)

### 【行政サービス関係】

- ・ 行政サービスの変化は一時的なものだけでなく、長期的に考えていただきたいです。(女性・20代)
- ・ オンライン化、ICT、パソコン、スマホ、ケータイ等の申請しようにも、その手続き、手順が分かりづらいのに、ICT化しろと言われても、電話で問合せするし

かない。それが、混雑でつながらない。なぜ、スマホ、ケータイでしてくれないと  
思っておられるのでしょうか、その比率が低いのは、手続き、手順がヨコ文字で分  
からないからで、これをやさしく、詳しく、繰り返し告知しなければ、上昇しませ  
ん。低い比率の時は分からないから、できないので、比率が上昇しないにご判断く  
ださい。(男性・60代)

- ・ 行政サービスですが、オンライン申請だけでなく、申請内容をひとつにまとめて欲  
しいです。課ごとに名前や住所を何度も書かされる。名前や住所などは一度だけ記  
入(入力)して、あとは必要な申請内容を複数人チョイス出来るようなシステムを  
作って欲しい。(女性・40代)

#### 【その他】

- ・ 手洗いうがいマスク、密回避、清掃の徹底と消毒の徹底の継続を実施しています。  
(女性・50代)
- ・ 良くも悪くも保守的な県民性で新しい生活様式を推進する気がないところが多い。  
行政から指導されない限りやらないと思う。(女性・40代)

## 4. 市への意見や要望など

問 市に対するご意見等がありましたら、ご自由にお書きください。  
(自由記載)

現在、郡山市が進めているまちづくり（取組み）についてたくさんのご意見が寄せられました。その中から、主な意見を分野ごとに抜粋し、掲載しました。

寄せられましたご意見につきましては、ここに掲載していないものも含め、今後の市政運営に活用させていただきます。

### 【分野Ⅰ】産業・仕事の未来（商業・工業・雇用・農林業分野）

#### 【商業・工業】

- ・ 地元産業が人材不足なので、市役所職員に体験してもらい学校等で発信、体験学習等提案してもらおう。(男性・40代)
- ・ 高齢化社会に向かって、企業退職後に新たに起業する高齢者支援の摸索、歳をとってからの起業支援はいかがでしょうか。(男性・50代)
- ・ 企業誘致が少なすぎる。本宮等に流れる前に、西部工業団地で決められるようアピールをお願いします。(男性・40代)

#### 【雇用】

- ・ 所得格差が拡大している昨今、定年後の再雇用、再就職が重要視されます。もっと働ける環境を充実させて欲しいです。(男性・20代)

#### 【農林業】

- ・ 農業は高齢化が進んでおり、田畑を維持するために人に頼んでいる人も多い。荒地にしない為にも、人手の援助や、農業体験の場として利用するなど、何か対策が必要だと思う。(女性・30代)
- ・ 郡山伝統野菜や鯉に力を入れているのは知っているが、実際にどこで売っているのか。普段自分が利用している店ではあまり見かけた事がない。県外への認知度を高めるために、郡山駅内や駅近隣にお店を出店して欲しい（普通のお土産屋ではなく、コンセプトショップのようなもの）。(女性・40代)

### 【分野Ⅱ】交流・観光の未来（交流・文化・観光・シティプロモーション分野）

#### 【交流】

- ・ 市には3000人弱の外国人がいる。その人たちの出身国別のフェスティバルを定期的に開催してはどうか。彼らの食、文化、音楽、衣装を知る事でその国との友好が深まる。(男性・70代以上)

#### 【文化】

- ・ 「音楽のまち」というテーマは良いと思うが、一般市民がそれを実感できる場が



ほとんどないのはもったいないと思う。日常生活で誰もが音楽に触れる仕掛けを考えて欲しいです。(女性・40代)

#### 【観光】

- ・ 観光名所が少ない。コロナで今は実現できないとは思いますが、名所旧跡をめぐるバスツアー等を行うのも良いかもしれません。(女性・60代)
- ・ コロナ禍でもありますが多くの方に郡山に来てもらえるような観光、イベントなどの充実、郡山の良い所を知って貰うための広報に力を入れて欲しい。(女性・50代)

#### 【シティプロモーション】

- ・ YouTube、SNS 等を利用した動画プロモーションの作製、配信を利用し、交流や観光につなげてみてはいかがでしょうか？(男性・20代)
- ・ 郡山市は、とても魅力的なので、もっともっと知名度が上がり良いイメージが定着して広まって欲しいです。「音楽のまち」のイメージは強いですが、それ以外のイメージがいくつか定まると良いなと思います。(男性・30代)

### 【分野Ⅲ】 学び育む子どもたちの未来 (子育て・教育・地域学習分野)

#### 【子育て】

- ・ 将来、子育てをしたいと考えているが、今の状況は不安なことが多い。(女性・20代)
- ・ 安心して子どもを産める環境・経済支援が欲しい。生産年齢が子どもは、経済的にも1人か2人が良いと言っている状態。若い世代が2人以上は育てていくのが大変だと感じているため、少子化が止まらないのだと思う。(女性・20代)
- ・ 子ども達が(子ども達だけではないが)安全・安心して暮らせる郡山市にして欲しい。もっと保育所、幼稚園を作って欲しい。子供たちの笑い声・遊び声がいい。子ども達・親の支援はもちろんのこと保育の先生の支援もするべき。子ども・親御さん・先生方の三角関係は大切。(男性・20代)

#### 【教育】

- ・ 英語やICT教育というが、教員は負担が増えるばかりでしっかり子ども達に向き合う時間が減っている。教員に心のゆとりや時間的余裕がなければ、質の高い教育が出来ない。教員の負担を減らして子ども達の事をしっかり考える時間が持てるよう、独自の取組みを行うべき。子育てに優しい都市として人口増加した都市があるが、郡山市もそういったPRをもっとすべき。(男性・50代)
- ・ ICT教育に力を入れることも大切と考えますが、人と人の関わりを大切にしたい。コミュニケーションも忘れてはならないと思います。人としての基になる心づくりを大切にしたい教育が大切かと思います。(女性・60代)

### 【地域学習】

- ・ もっと農業・商業にふれるチャンスをふやして、将来郡山を出て行かないで地域に根付くように。(女性・60代)

## 【分野Ⅳ】誰もが地域で輝く未来 (市民協働・生涯学習・保健福祉・男女共同参画分野)

### 【市民協働】

- ・ 誰もが社会参加できるような器はある程度整っているかもしれませんが、実際、市民が「情報を知って」、社会参加するための「行動をおこしやすい」、環境でないと、一部の人だけにとどまってしまうような気がします。(女性・40代)
- ・ まだまだ郡山市をリードするための若い力がないように感じます。地域全体で若い人を育てるような地域づくりを期待いたします。(男性・30代)
- ・ 一部の献身的な住民により体裁は保たれているが、地域コミュニティは崩壊しつつあると感じている。要因の一つは、アパート、マンションが急激に増え、新しい住民とコミュニケーションが取れない事にある。うまくいっている先進的事例があれば、市民に提出して欲しい。(男性・70代以上)
- ・ マンション、アパートなどが多くなって町内会や地域コミュニティなど隣近所で互いに支え合う環境ではなくなっているように感じる。どんな人が住んでいるのか分からなく、不安に思うこともある。(女性・30代)

### 【生涯学習】

- ・ 市民が参加出来るイベントなどは、開催して欲しい。一度やったら終わりではなく、毎年参加して定期イベントにして欲しい。(女性・60代)
- ・ 生涯学習や地域活動の広報を強化して欲しいです。知らない方も多くいると思います。自宅から出られない高齢者の方、コロナ禍で外に出ていきたくても出られない方のためのオンラインなどを通して学び、活動の場を作って欲しいです。(女性・50代)

### 【保健福祉】

- ・ まわりに、新しい家がどんどんでき、若い人たちが多くなった。互いに支え合い、助け合う体制が整うどころか、希薄化している。お互いの立場の尊重と思いやりがなければ何も生まれない。(女性・70代以上)
- ・ 高齢者福祉については、高齢者の独居や老々介護など、通院やよりよいサービスの利用が難しい環境の方もいらっしゃるの、整っているとは言いきれないと思う。(女性・40代)
- ・ 障がいがあっても、生活しやすい町づくりをして欲しい。(男性・40代)
- ・ 青森県のだし活のような健康推進活動をしてよいのではないか。食品企業都市全体の一体感が出る取組みをした方がよい。(女性・20代)

### 【男女共同参画】

- ・ 男女ともに助け合うは、まだまだではないのかと思います。(女性・40代)

- ・ まだまだ女性の活躍する機会が少ない。(男性・70代以上)

## 【分野V】暮らしやすいまちの未来(環境・防災・市民安全・生活インフラ分野)

### 【環境】

- ・ 温暖化がこのまま進むと大変なことになるという危機感が薄いのではないか。(男性・70代以上)
- ・ 3R・エネルギーの点について、一部の民間事業者が実施している「リサイクル・ステーション」を市内の地域各所に設置・周知することで、リサイクルできるものを積極的にリサイクルし、資源の有効活用につながる一助になるのではと考えます。ご検討のほどよろしく申し上げます。(女性・30代)
- ・ 原発事故があった福島県だから、エネルギー問題は関心があります。自然エネルギーや省エネを心がけたいと思います。(女性・50代)
- ・ まちの中に緑地を増やすなど、日常的に癒される環境が欲しいです。子どもは減っていますが、子どもが外で遊べる公園がある所にはあるけれども、比較的少ない。子どもだけで行ける近所の公園的な所をもっと増やして欲しいです。(女性・40代)

### 【防災】

- ・ 水害は今まで何回も同じ場所で起きている。二度と起きない対策をして欲しい(中央工業団地など)。(男性・60代)

### 【市民安全】

- ・ 歩道の整備が必要。歩いてみると段差がひどく、車いすやベビーカーに乗った人には、歩きにくい場所が多くある。係の人達は歩行等して実際に歩いて調査も必要かと思います。車道については、安積町などは昔からの道が多く、道幅がせまいところが多くあります。生垣が車道にはみだしている所も多くあり、歩行者が見えない所も多くあります。また、側溝にフタがない所やステンレスの側溝フタは雨の時に歩行者は、すべりやすいので工夫が必要かと思います。(女性・60代)
- ・ ユニバーサルデザインについていえば、点字ブロックをキチンと整備して欲しい。道路工事や上下水道工事のたびにどんどん消滅している。(男性・70代以上)

### 【生活インフラ】

- ・ もう少し高齢者が街に出やすいように、タクシーの割引や地域バスを復旧させるべき。高齢者が引きこもりになりがち。(特に郊外の方)(女性・30代)
- ・ 郡山駅前周辺がもっときれいに整ってすてきな街になって欲しいです。(女性・40代)
- ・ 空家バンクがもっと活性化するとよいと思う。また、空き店舗をよく見かける。Iに関係するが、いつか空き店舗や古い空家を活用する起業家が来てくれたらうれしい。(女性・20代)

## 【分野Ⅵ】横断的取組（復興・創生の更なる推進）

### 【除去土壌の搬出】

- ・ 土壌の撤去は早かったと思う。子ども達には甲状腺検査の連絡が定期的にくるのでよいと思う。（女性・40代）

### 【健康管理】

- ・ 放射線内部被ばくに関して当時、検査対象とする人へのその後、検査の継続が確実に行われているのか心配です。甲状腺がんの罹患率について福島県の発生率をみると心配ないという報道を聞きましたが、正確な情報提供をして欲しいと思いました。（女性・50代）

### 【風評の払しょく】

- ・ 風評という言葉を使用しないで、郡山市の食文化の良さを前面にアピールして欲しい。（男性・60代）
- ・ 安全な食や住環境が整っているのに、まだ風評被害がなくなりません。安全性を報道などの手段で積極的に行ってください。（男性・40代）
- ・ 製品の安全性は、野菜だとしたら、パッケージにQRコードを付け、そこから数値が見れるなど分かりやすくした方がよい。（女性・30代）

## 【分野Ⅶ】基盤的取組（行政経営・セーフコミュニティ・連携中枢都市圏・SDGs）

### 【行政経営】

- ・ 国政は、報道で理解しているが、市政は、見えにくい。（男性・40代）

### 【セーフコミュニティ】

- ・ セーフコミュニティについて、毎年冬期には雪による交通の乱れや事故・ケガにつながる危険性がある地域にもかかわらず、およそ対策が講じられていると感じられる場面がほとんど見受けられないと毎年感じます。除雪車の細部地域にわたる出勤、道路をあたためて融雪させる等の設備を充実させる等、暮らしづらい場면을軽減していただくことで基本的な住みやすさが大きく変わってくると考えます。ご検討いただき、積極的に取り組んでいただけますようお願いいたします。（男性・20代）

### 【連携中枢都市】

- ・ 連携中枢都市圏の中心は郡山市だと思うが、郡山市は周辺市町村へ中心都市としての責任を果たしているのか不明。（男性・50代）
- ・ 特に隣の須賀川市を含めると、空港、駅など交通、物流は県内随一だと思うので、今後も効果的にインフラ整備して欲しい。（男性・40代）

### 【SDGs】

- ・ SDGsについて、もう2021年なのに、言葉は浸透してきているが、具体的な動

きが弱いように感じます。(女性・40代)

- TVやCMでよくSDGsに関して耳にするが、最近出てきた言葉だがもう少しわかりやすく説明が欲しい。それをすることで何ができるのか？何ができるのか？(男性・30代)
- SDGs…郡山市として(講座ばかりではなく)何を目標とするのかを明確に示して欲しい。(女性・60代)



(付) 調 査 票 様 式





# あなたの声をお聞かせください

～ 2021年度郡山市民意見レーダー～



## <ご記入に当たってのお願い>

- この調査は、市内にお住まいの満18歳以上の方々の中から、1,500人を無作為に選ばせていただき、本調査票にお答えいただく方法で実施いたします。
- この調査は無記名式で、回答は統計的に処理いたしますので、ご協力いただいた方を特定することやご迷惑をおかけすることは一切ございません。  
ぜひ、率直なご意見やご考えをお知らせください。
- この調査は、個人を対象にしていますので、あなた（あて名の方）ご自身の判断でお答えください。
- 回答は、質問ごとに用意した答えの中から、あてはまる項目の番号を○印で囲んでください。また、ご回答は、「あてはまる番号を1つ選び、○印をつけてください」「特に重要だと思われる番号を2つ選び、○印をつけてください」等と質問文に対応した内容でご記入をお願いいたします。
- ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒（切手不要）で、切手を貼らずに5月27日（木）までに、郵便ポストに投函してください。  
調査票や返信用封筒へは、お名前、ご住所の記入は不要です。

また、スマートフォン・パソコンからもご回答いただけます。  
右記のQRコード、又は下記の検索等でアクセスのうえご利用ください。

【アクセス方法】

ふくしま電子申請

検索

⇒「ふくしま電子申請」を検索



⇒「ふくしま県市町村共同電子申請システム団体選択-福島県ホームページ」  
をクリックし「郡山市」を選択 ⇒「2021年度郡山市民意見レーダー」を選択

【入力方法】

1. 「かんたん申請・申込システム」の画面に移行します。ひとつの画面入力が終わりましたら「次へ」をクリックしてください。
2. 内容確認の画面が出ますので、修正がなければ「送信する」をクリックしてください。
3. 「受け付け」の画面が出たら終了です。

※入力による回答は、5月27日（木）までをお願いします。

※ 入力できる時間は1時間以内です。入力から1時間過ぎますと送信できなくなりますので、その際は改めてはじめてから入力をお願いします。

- ご不明な点がございましたら、下記までお問合せください。

<お問合せ先> 郡山市政策開発部広聴広報課

電話：024-924-2061

Email: kocho@city.koriyama.lg.jp

## 1 郡山市の住みやすさについて

まちの住み心地や郡山市への愛着等について、どのように感じているか、あてはまる番号を1つ選び、○印をつけてください。

(1) あなたにとって、郡山市は住みやすいまちですか？

1. 住みやすい	4. どちらかといえば住みにくい
2. どちらかといえば住みやすい	5. 住みにくい
3. どちらともいえない	

↓

【「どちらかといえば住みにくい」または「住みにくい」とお感じになる理由をご自由にお書きください。】

(2) あなたは、今後も郡山市に住みたいと思いますか？

1. 現在の住所にずっと住み続けたい	4. いずれは市外に住みたい
2. 市内の別の地域に住みたい	5. 住みたくない
3. どちらともいえない	

↓

【「いずれは市外に住みたい」または「住みたくない」とお考えになる理由をご自由にお書きください。】

## 2 郡山市のまちづくりについて

現在、本市が進めているまちづくり（取り組み）について、どのように感じているか、それぞれにあてはまる番号を1つ選び、○印をつけてください。

【1. 産業・仕事の未来】 (商業・工業・雇用・農林業分野)	よ い	ど ち ら か と い え	ど ち ら か と い え	不 満	わ か ら な い
<b>1. 地域産業</b> 地域の中小企業のニューノーマル <sup>※1</sup> 対応による業態転換をはじめ、事業承継 <sup>※2</sup> やM&A <sup>※3</sup> など、産業の新陳代謝や持続的発展など活性化が図られているか <small>※1 新しい習慣や常識 ※2 会社等の経営を後継者に引き継ぐこと ※3 合併・買収</small>	5	4	3	2	1
<b>2. 起業支援</b> 創業・起業がしやすい環境が整っているか	5	4	3	2	1
<b>3. 産業創出・企業誘致</b> 研究開発機関や大学等との連携により、再生可能エネルギー <sup>※3</sup> や医療機器関連産業など本市の強みを活かし、新しい分野の産業や企業の育成、誘致・集積等、産業の振興が図られているか <small>※3 石油・石炭などの限りがある化石燃料に対し、太陽光や太陽熱、水力、風力、バイオマス、地熱など一度利用しても比較的短期間に再生するエネルギー源のこと</small>	5	4	3	2	1
<b>4. 雇用・就労</b> 市内企業の安定的な雇用があり、やりがいを持って就労できる労働環境が整っているか	5	4	3	2	1
<b>5. 農林業</b> 農林業の生産性向上、担い手の確保等により活性化が図られているか	5	4	3	2	1
<b>6. 特産品ブランド化</b> 食や農を生かした特産品がブランド化され、注目されているか	5	4	3	2	1
【1. 産業・仕事の未来】について、ご意見やご提案がありましたら、ご自由にお書きください。					

【Ⅱ. 交流・観光の未来】 (交流・文化・観光・シティプロモーション分野)	よ い	ど も も か い え	ど も も か い え	不 満	わ か ら な い
<b>7. 都市間交流・国際交流・関係人口 ※1</b> 様々な地域や国の人々との交流・活動を通じ、友好や相互理解を深める等、国内外に開かれたまちとなっているか ※1 移住した「定住人口」でもなく、観光に来た「交流人口」でもない、地域や地域の人々と多様に関わる者	5	4	3	2	1
<b>8. 歴史・文化遺産</b> 日本遺産など豊かな歴史に根ざした地域資源が適切に保存されるとともに観光のまちづくりに活かされているか	5	4	3	2	1
<b>9. 音楽のまちづくり</b> 音楽に触れる機会や環境が整い、音楽がまちづくりに活かされているか	5	4	3	2	1
<b>10. 観光</b> 観光誘客や観光資源の活用及びコンベンション ※2 の誘致により国内、インバウンド ※3 の観光客等が増加しているか ※2 企業の展示会や学会等の学術会議、国内外の研究者が集う国際会議等 ※3 入ってくるものという意味から転じて、外国（区域外）から訪れる旅行を指す。 対義語：アウトバウンド	5	4	3	2	1
<b>11. シティプロモーション ※4</b> 本市の魅力が広く内外に発信され、知名度が向上し、交流人口増加や移住・定住の促進が図られているか ※4 地域のイメージを高め、知名度の向上や地域への愛着を醸成する手法	5	4	3	2	1
【Ⅱ. 交流・観光の未来】について、ご意見やご提案がありましたら、ご自由にお書きください。					

【Ⅲ. 学び育む子どもたちの未来】 (子育て・教育・地域学習分野)	よ い	ど も も か い え	ど も も か い え	不 満	わ か ら な い
<b>12. 子育て</b> 安心して生み育てる環境が整っているか	5	4	3	2	1
<b>13. 乳幼児教育・家庭教育</b> 家庭、地域、企業そして子育て・教育機関が連携して、子育てや教育を学びあう環境が整っているか	5	4	3	2	1
<b>14. 青少年健全育成</b> 子どもたちの安全な居場所や地域での見守りなど、健全に育つ環境が整っているか	5	4	3	2	1
<b>15. 学校教育</b> 子どもたちの「生きる力」となる思考力、判断力、表現力等を育み、これからの時代に求められる英語やICT ※1 教育などの資質・能力を身につけられる質の高い教育環境が整っているか ※1 情報通信技術	5	4	3	2	1
<b>16. 地域学習</b> 子どもたちの地域への愛着を育む、地域活動への参加機会や地域の産業、生活、文化、歴史などを学ぶ環境が充実しているか	5	4	3	2	1
【Ⅲ. 学び育む子どもたちの未来】について、ご意見やご提案がありましたら、ご自由にお書きください。					



<b>【IV. 誰もが地域で輝く未来】            (市民協働・生涯学習・保健福祉・男女共同参画分野)</b>	よ い	ど も か か い え	ど も か か い え	不 満	わ か ら な い
<b>17. 市民協働</b> ※1 市民誰もが、知識や経験、個性に応じ、様々な社会参加ができる機会や場があるか ※1 市民・市民活動団体・企業・行政等が、お互いの立場や特性、目的を認め合い、役割を分担した上で対等の立場で協力し合うこと	5	4	3	2	1
<b>18. 地域コミュニティ</b> 町内会活動など地域コミュニティの活性化が図られているか	5	4	3	2	1
<b>19. 広聴広報</b> 市政に関する情報の公開や市民からの意見・提案の募集、市民参加のイベントなど市政への市民参画が図られているか	5	4	3	2	1
<b>20. スポーツ・文化・芸術</b> 多様なスポーツ、文化・芸術に触れる機会や活動する場などの環境が整っているか	5	4	3	2	1
<b>21. 生涯学習</b> 生涯を通じて、好きなこと、得意なことを学習でき、それらを地域社会で活かせる機会や場などの環境が整っているか	5	4	3	2	1
<b>22. 地域福祉</b> 地域や隣近所で互いに支えあい、助け合う体制が整っているか	5	4	3	2	1
<b>23. 高齢者福祉</b> 介護予防対策や介護サービスの充実、質の確保・向上など高齢者が住み慣れた地域で、安心して暮らせる環境が整っているか	5	4	3	2	1
<b>24. 障がい者福祉</b> 障がい者差別の解消や就労等社会参加の促進など障がい者の生活を支える環境が整っているか	5	4	3	2	1
<b>25. 健康づくり</b> 生活習慣病予防対策、健診体制や健康相談等、健康に暮らすための支援体制が充実しているか	5	4	3	2	1
<b>26. 医療</b> 必要なときに安心かつ適切な医療を受けられる体制が充実しているか	5	4	3	2	1
<b>27. 男女共同参画</b> 家庭や地域、職場において、男女が共に個性と能力を発揮できているか	5	4	3	2	1
<u>【IV. 誰もが地域で輝く未来】について、ご意見やご提案がありましたら、ご自由にお書きください。</u>					

【V. 暮らしやすいまちの未来】 (環境・防災・市民安全・生活インフラ分野)	よ	い	ど	も	不	わ
			ど	ど	調	か
			も	も		ら
			た	た		な
			い	い		い
			え	え		
<b>28. 環境活動</b> 温室効果ガス排出量の削減に向けた普及啓発等、環境負荷が少ないまちづくりへの取り組みが進んでいるか	5	4	3	2	1	
<b>29. 3R ※1 (資源の有効利用)</b> ごみ減量、リサイクルの推進等、ごみの発生を抑え、資源を有効に循環させる取り組みが進んでいるか ※1 「Reduce (発生抑制)」「Reuse (再使用)」「Recycle (再生利用)」の頭文字をとった言葉	5	4	3	2	1	
<b>30. エネルギー</b> 省エネルギーの推進や環境にやさしい再生可能エネルギー ※2 の普及に向けた取り組みが進んでいるか ※2 石油・石炭などの限りがある化石燃料に対し、太陽光や太陽熱、水力、風力、バイオマス、地熱など一度利用しても比較的短期間に再生するエネルギー源のこと	5	4	3	2	1	
<b>31. 自然環境</b> 豊かな自然が適正に保全され、それらと身近にふれあえる環境が整っているか	5	4	3	2	1	
<b>32. 防災</b> ライフラインの確保や情報の共有化、消防、救急体制の整備、自然災害対策等、防災に対する備えができていますか	5	4	3	2	1	
<b>33. 防犯・交通安全・消費者対策</b> 犯罪の未然防止、通学路や生活道路等の交通安全対策、消費者対策により、安心して生活することができているか	5	4	3	2	1	
<b>34. ユニバーサルデザイン ※3</b> 障がいの有無や年齢等に関わらず、誰もが快適に暮らすことができる取り組みが進んでいるか ※3 障がいの有無や年齢、国籍、性別などの違いに関わらず、はじめからできるだけ多くの人が使いやすい製品や建物、都市環境、サービス等の提供を目指そうという考え方のこと	5	4	3	2	1	
<b>35. 交通・道路</b> 生活に必要な拠点や施設へのアクセスが容易であるなど、利便性の高い交通体系が整っているか	5	4	3	2	1	
<b>36. 計画的な都市づくり</b> 「こおりやま広域圏」の玄関口として、中心市街地の活性化や地域特性を活かした魅力的なまちとなっているか	5	4	3	2	1	
<b>37. 住環境</b> 公園や生活道路、上下水道等が整備されているとともに、景観への配慮等、住環境が整っているか	5	4	3	2	1	
【V. 暮らしやすいまちの未来】について、ご意見やご提案がありましたら、ご自由にお書きください。						

【横断的取組】 (復興・創生の更なる推進)	よ い	ど も よ い と い え	ど も よ い と い え	不 満	わ か ら な い
<b>38. 除去土壌等の搬出</b> 除染により生じた除去土壌等の搬出が進んでいるか	5	4	3	2	1
<b>39. 健康管理</b> 内部被ばく検査や自家消費野菜等の放射能検査、心や体のケアに関する健康相談体制の充実等、健康管理が図られているか	5	4	3	2	1
<b>40. 風評の払しょく</b> 郡山製品の安全性のPR、販路の拡大及び観光誘客等により、風評の払しょくが図られているか	5	4	3	2	1
【横断的取組】について、ご意見やご提案がありましたら、ご自由にお書きください。					

【基盤的取組】 (行政経営・セーフコミュニティ・連携中枢都市圏・SDGs)	よ い	ど も よ い と い え	ど も よ い と い え	不 満	わ か ら な い
<b>41. 行政経営</b> ICT ※1 の積極的な活用、官民連携による様々な手法やノウハウの柔軟な導入などにより利便性の向上と効率的な行政経営の改善が図られているか ※1 情報通信技術	5	4	3	2	1
<b>42. セーフコミュニティ ※2</b> 安全・安心なまちづくりのため、地域全体でセーフコミュニティ活動を推進しているか ※2 「けがや事故は、原因を究明することで予防できる」という理念のもと、市民の皆さんと行政や関係機関、団体、組織等が協働で安全・安心に暮らすことができるまちづくりに取り組む地域のこと	5	4	3	2	1
<b>43. 連携中枢都市圏構想 ※3</b> 「連携中枢都市圏」の推進により、圏域全体の経済活性化や広域的な課題解決が図られているか ※3 一定要件を満たす連携中枢都市と近隣市町村との連携協約により圏域の活性化を図る構想	5	4	3	2	1
<b>44. SDGs ※4</b> 2015年に国連で採択された、2016年から2030年までの国際的な「持続可能な開発目標」であるSDGsの取り組みが進んでいるか ※4 SDGsとは、「Sustainable Development Goals」の頭文字を集めた言葉で、日本語では「持続可能な開発目標」と呼ばれています。	5	4	3	2	1
【基盤的取組】について、ご意見やご提案がありましたら、ご自由にお書きください。					

### 3 郡山市のこれからの取り組みについて

現在、本市が進めているまちづくり（取り組み）について、特に重要と思われるものの番号を1～44から5つ選び、その番号に○印をつけてください。

<p><b>【Ⅰ. 産業・仕事の未来】</b>  <small>（商業・工業・雇用・農林業分野）</small></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 地域産業</li> <li>2. 起業支援</li> <li>3. 産業創出・企業誘致</li> <li>4. 雇用・就労</li> <li>5. 農林業</li> <li>6. 特産品ブランド化</li> </ol> <p><b>【Ⅱ. 交流・観光の未来】</b>  <small>（交流・文化・観光・シティプロモーション分野）</small></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>7. 都市間交流・国際交流・関係人口</li> <li>8. 歴史・文化遺産</li> <li>9. 音楽のまちづくり</li> <li>10. 観光</li> <li>11. シティプロモーション</li> </ol> <p><b>【Ⅲ. 学び育む子どもたちの未来】</b>  <small>（子育て・教育・地域学習分野）</small></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>12. 子育て</li> <li>13. 乳幼児教育・家庭教育</li> <li>14. 青少年健全育成</li> <li>15. 学校教育</li> <li>16. 地域学習</li> </ol> <p><b>【Ⅳ. 誰もが地域で輝く未来】</b>  <small>（市民協働・生涯学習・保健福祉・男女共同参画分野）</small></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>17. 市民協働</li> <li>18. 地域コミュニティ</li> <li>19. 広聴広報</li> <li>20. スポーツ・文化・芸術</li> <li>21. 生涯学習</li> <li>22. 地域福祉</li> <li>23. 高齢者福祉</li> <li>24. 障がい者福祉</li> <li>25. 健康づくり</li> <li>26. 医療</li> <li>27. 男女共同参画</li> </ol>	<p><b>【Ⅴ. 暮らしやすいまちの未来】</b>  <small>（環境・防災・市民安全・生活インフラ分野）</small></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>28. 環境活動</li> <li>29. 3R（資源の有効利用）</li> <li>30. エネルギー</li> <li>31. 自然環境</li> <li>32. 防災</li> <li>33. 防犯・交通安全・消費者対策</li> <li>34. ユニバーサルデザイン</li> <li>35. 交通・道路</li> <li>36. 計画的な都市づくり</li> <li>37. 住環境</li> </ol> <p><b>【横断的取組】</b>  <small>（復興・創生の更なる推進）</small></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>38. 除去土壌等の搬出</li> <li>39. 健康管理</li> <li>40. 風評の払しょく</li> </ol> <p><b>【基盤的取組】</b>  <small>（行政経営・セーフコミュニティ・連携中枢都市圏・SDGs）</small></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>41. 行政経営</li> <li>42. セーフコミュニティ</li> <li>43. 連携中枢都市圏構想</li> <li>44. SDGs</li> </ol>
--	--



#### 4 「新しい生活様式」の実現について

新型コロナウイルス感染症の発現により、私たちの生活様式は一変し、長期間にわたり感染が拡大するのを防止するため、「新しい生活様式」という行動指針が示されました。郡山市では市ウェブサイト等にその実践例を掲載するなど、市民の皆さまに情報提供をしています。

日常生活や企業活動においても感染拡大防止を基本とした「新しい生活様式」による生活を習慣化させて続けていく必要があります。

そこで、以下の項目について、ご意見をお聞かせください。

- (1) 新型コロナウイルス感染症について、どのように感じていますか？  
あてはまる番号を1つ選び、○印をつけてください。

- |                  |
|------------------|
| 1. かなり不安である      |
| 2. どちらかと言えば不安である |
| 3. あまり不安でない      |
| 4. まったく不安はない     |

- (1) - 2 上の質問(1)で選んだ意見の理由をお書きください。

--

- (2) 新型コロナウイルス感染症の拡大を防ぐために、「新しい生活様式」の中での生活が求められていますが、あなたが日常生活で具体的に実践していることにはあてはまる番号を3つ選び、○印をつけてください。

- |                |                  |
|----------------|------------------|
| 1. マスクの着用      | 7. 毎日の体温測定・記録    |
| 2. 手洗い、うがい     | 8. 感染流行地への移動を控える |
| 3. 身体的距離の確保    | 9. 空いている時間に買い物   |
| 4. 3密の回避       | 10. 診療は遠隔診療      |
| 5. 不要不急の外出は控える | 11. 飲食は持ち帰り又は宅配  |
| 6. 接触確認アプリの活用  | 12. その他          |
| ( )            |                  |

- (3) 「新しい生活様式」のうち、社会人の方は「働き方の新しいスタイル」を求められています。あなたはどのような働き方に取り組んでいますか。  
あてはまる番号を1つ選び、○印をつけてください。

- |                      |                                  |
|----------------------|----------------------------------|
| 1. テレワークやローテーション勤務   | 5. 対面での打合せは換気とマスク                |
| 2. 時差出勤              | 6. 仕事の内容が新しいスタイルになじまないため、実施していない |
| 3. 密を回避するため職場内の配置の変更 | 7. その他                           |
| 4. オンラインによる会議や名刺交換   |                                  |
| ( )                  |                                  |

- (4) 最近の新型コロナウイルスの感染状況は、飲食の場面における感染が増えているとも指摘されています。どのような取り組みを行うと飲食の場面の感染が減少すると思いますか。  
あてはまる番号を1つ選び、○印をつけてください。

- |   |
|---|
| 1. 飲食店を利用する際は、家族か、4人以内にとすること                  |
| 2. 食事中以外はマスクを着用すること                           |
| 3. 飲食店が従業員等のPCR検査を定期的に行うこと                    |
| 4. 「ふくしま感染防止対策認定店」(県が適切な感染防止対策を確認した店舗)を利用すること |
| 5. その他 ( )                                    |



(5) 現在、どのような場面で新型コロナウイルス感染症の影響を受けていると感じますか。

あてはまる番号を3つ選び、○印をつけてください。

1. 仕事や学校生活に制限がある
2. 買い物の回数減少、通販に切り替え
3. 通勤や移動で公共交通を控える
4. 飲食店の利用、会食が減少
5. スポーツやレクリエーションの減少
6. 観光、旅行の取りやめ
7. 遠方の親せき、友人と会う機会の減少
8. その他 ( )

(6) 感染防止対策の観点から、できるだけ人と会わない又は短時間で用件が済ませられるような社会の仕組みが求められています。行政サービスでもこういった仕組みの導入を検討していますが、どのようなサービスが必要だと思いますか。

あてはまる番号を2つ選び、○印をつけてください。

1. オンライン申請
2. オンラインによる証明書の交付
3. 使用料等納付のキャッシュレス化
4. オンラインによる調査（家屋調査や土地の調査など）
5. ICTを活用した市民とのコミュニケーション
6. マイナンバーカードによる本人確認の簡素化
7. その他 ( )

(7) 行政サービスは、3密回避等の感染防止対策をとりながら行っていますが、こういった感染防止対策が施されていればより安心してサービスを受けることができますか。

特に重要だと思われる番号を2つ選び、○印をつけてください。

1. 椅子、窓口カウンター、記載台、筆記具等の適宜消毒
2. 少人数での対応
3. 窓口開設時間の延長や窓口の数を増やすことによる混雑緩和
4. 事前予約制などによる混雑緩和
5. 窓口混雑状況のリアルタイム配信
6. 手続き簡素化や事前申請による対応時間短縮
7. その他 ( )

(8) 「新しい生活様式」の実現について、ご意見やご提案がありましたら、ご自由にお書きください。

## 5 あなたご自身について

あなたご自身のことについてお伺いします。

(1)～(8)のそれぞれについて、あてはまる番号に○印をつけてください。

(1) 性別 <性自認は?> (あてはまる番号1つに○)

1. 男性	2. 女性	3. その他
-------	-------	--------

(2) 年齢 (あてはまる番号1つに○)

1. 18歳～19歳	5. 50歳～59歳
2. 20歳～29歳	6. 60歳～69歳
3. 30歳～39歳	7. 70歳以上
4. 40歳～49歳	

(3) 職業 (あてはまる番号1つに○)

1. 農業	5. 主婦・主夫
2. 給与所得者	6. 学生
3. 自営業者	7. 無職
4. パート・アルバイトなど	8. その他

(4) 郡山市での居住年数 (あてはまる番号1つに○)

1. 1年未満	4. 10～19年
2. 3年未満	5. 20～29年
3. 3～9年	6. 30年以上

(5) 居住形態 (あてはまる番号1つに○)

1. 持ち家	4. 社宅、公舎など
2. 民間の借家・アパート	5. 間借、同居、寮など
3. 公営住宅	

(6) 現住所の直前に住んでいたところ (あてはまる番号1つに○)

1. 生まれてからずっと現住所に住んでいる	4. 東京圏 ※1
2. 郡山市内の別の地域	5. その他 ※2 ( )
3. 郡山市外で福島県内	

※1 東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県      ※2 福島県、東京圏以外の居住地

(7) 上の質問(6)で、「2.～5.」に○を付けた方にお聞きします。

移転先として現住所を選んだ理由は何ですか? (あてはまる番号全てに○)

1. 生まれ育った場所だから	11. 病院・医院が近くにあるから
2. 自分や家族の持ち家だから	12. 住まいの周辺が静かだから
3. 寮や社宅に住むから	13. 自然環境が身近にあるから
4. 親や子、親族、友人などがいるから	14. まちなみや景観がよいから
5. 家賃や住宅の価格が手ごろだから	15. 賑わいや活気があるから
6. 交通(通勤・通学・買い物等)の便がよいから	16. 犯罪が少ないと感じているから
7. 日ごろの買い物などが便利だから	17. 街のイメージがよいから
8. 保育所・公園等の子育て環境がよいから	18. 郡山が好きだから
9. 学校などの教育環境がよいから	19. 市民の気質や感性が自分と合うから
10. 文化・スポーツ施設などが近くにあるから	20. その他 ( )

(8) お住まいの地域 (あてはまる番号1つに○)

1. 旧郡山東部 (芳賀・小原田・緑ヶ丘・東部地区など)
2. 旧郡山西部 (駅前・大島・久留米・菜根・開成・小山田地区など上記地区以外)
3. 富田
4. 大槻
5. 安積
6. 三穂田
7. 逢瀬
8. 片平
9. 喜久田
10. 日和田
11. 富久山
12. 湖南
13. 熱海
14. 田村
15. 西田
16. 中田

◆市に対するご意見等がありましたら、ご自由にお書きください。◆

---

---

---

---

---

---

---

以上で、質問は終わりです。皆さま方からいただきました貴重なご回答・ご意見等は、郡山市の今後の市政運営に反映させていきたいと考えております。

お忙しいところご協力をいただきありがとうございました。

※ お手数ですが、ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒(切手不要)をお使いのうえ、切手を貼らずに **5月27日(木)**までに、郵便ポストに投函してください。

調査票や返信用封筒へは、お名前、具体的な住所の記入は不要です。

2021 年度 市民意見レーダー  
調査結果報告書

令和3年9月 発行

郡山市政策開発部広聴広報課

〒963-8601 郡山市朝日一丁目 23 番 7 号

電話番号 024(924)2061

E-Mail:kocho@city.koriyama.lg.jp